

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
甲府市	小学校	山梨大学教育人間科学部附属小学校	夢・・・未来を拓く子どもたち	自分づくりマネージメントができる子どもたちの育成	変化の激しい社会の中では、価値観が多様化するなどして、必ずしも子どもたちが、「夢」を抱く時代とは言えなくなってきている。社会の諸問題に直面することで、「夢」を理想として、将来を見出すことに、不安や無力感を感じる子どもたちが増えてきている。そこで、厳しさが予想される世の中であっても、これからの世の中を生きる子どもたちに、「夢」を抱かせ、その実現に向けて生きる原動力としての目標を持たせたいと願っている。したがって、子どもたちに、自分の将来について、見通しをもちながら生きていくために必要な力(自分づくりマネー	初等教育公開研究会 2005年11月1日(金) 午後からの半日公開を予定
甲府市	小学校	北新小学校	生きる力を育てる教育活動の創造	命の大切さを学ぶ体験活動を生かして	①命の大切さを学ぶ体験活動の導入の在り方及び教育課程への適切な位置づけについて ②命の大切さを学ぶ体験活動のプログラム及び指導方法の開発について ③命の大切さを学ぶ体験活動の実施状況及び成果の分析について ④命の大切さを学ぶ体験活動の評価の観点や評価方法について ⑤その他命の大切さを学ぶ体験活動の推進に必要なと思われる事項	
甲府市	小学校	朝日小学校	楽しく生き生きと学びあう子どもの育成	「学ぼうとする意欲」を高める豊かな実践	昨年度までの研究(学力向上フロンティア事業)の継続と発展という形での取り組みをしていくことにした。つまり、よくわかる授業・より楽しい授業の展開、児童理解・生徒指導の充実、教材研究の深化という教科担当制の基本姿勢と複数教師による指導・支援が可能になるような校内の指導体制の中での研究である。 「学力」を本校では、「生きる力」ととらえ、「自ら生きようとする力」「自らを活かそうとする力」と考えてきた。そして、学びの原動力は子どもたち自身の「学ぼうとする意欲」であることに着目して、次のような授業実践や日常活動を積	0
甲府市	小学校	琢美小学校	豊かに表現できる子どもの育成	話す力を育てる指導法の工夫	○子どもの話し言葉についての分析 ○話すことに関する児童の実態調査①・分析 ○話す力を育てる話し方の指導について(文献研究・講師を招いての学習会) ○日々の授業での実践・評価(自己評価カードの作成) ○自分の思いを伝え合う活動を効果的に設定した授業研究 ○話すことに関する児童の実態調査②・分析 ○研究のまとめ	0
甲府市	小学校	貢川小学校	共創の学び	“かかわり”を拓く英語活動の教材開発	本校は、昨年度より山梨県教育委員会から「レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業」研究指定校に委嘱されている。昨年度の研究を継続し、本年度は、小学校英語活動における有効教材の開発を中心に研究を進めていく。具体的な授業実践を通して、小学校における英語活動のあるべき姿を模索すると同時に、その試案となるモデルプランを作成し世に問うていく。共に学ぶことの意義、学校で学ぶことの意義、他者とかわることの意義等について、英語活動を通して改めて問い直していくことを研究の主たるねらいとする。	(県)レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業
甲府市	小学校	富士川小学校	確かな学力を育む学習指導法の研究	“伝え合う力”(コミュニケーション能力)を高める指導法とその評価の方法	1. 児童の実態の把握 ・日頃の学習の様子や国語科学力診断テストの結果などから、富士川小の子ども達の学力の傾向を分析し、全ての教師が共通理解することで、何に重点を置いて本年度の研究を進めていくかを絞り込む手がかりとする。 2. 理論研究 ・国語科における『確かな学力』とは何か、また“伝え合う力”(コミュニケーション能力)とは何か、など、本研究を進めていく上で明らかにしておかなければならないキーワードについて、文献または先行研究等を参考にしながら研究し、本校なりの捉え方(概念)を導き出す。 ・国語科「話	0
甲府市	小学校	相川小学校	自ら気づき考え 生き生きと活動する子どもの育成	算数科におけるきめ細かな指導の在り方	算数科において、一人ひとりの子どものよい点や可能性、進歩やつまずの状況を的確に把握し、それに応じたきめ細かな指導の在り方を研究することにより、「自ら課題を見つけ、主体的・意欲的に解決し活動できる子ども」「判断力、行動力を身につけた子ども」の育成をめざす。 そのために、授業研究を通して、きめ細かな指導の具体的な手だてを探る。授業は、低・	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
甲府市	小学校	舞鶴小学校 穴切校舎	自ら学び考える子どもの育成	自己表現力・コミュニケーション能力の育成を通して	「各教科等で学習したことをまとめ、整理して発表する方法を身につけさせれば自己表現力、コミュニケーション能力を伸ばすことができ、自ら学び考える子どもを育成できるであろう」という研究仮説を立て、国語科を通してテーマに迫っていく。自己表現力・コミュニケーション能力の定義、それを育成するための手立て、実践例等の理論研究を進めるとともに、各学級において授業実践を積み重ね、実践報告を行う。また、詩や俳句、文学等の朗唱にも各クラスで取り組み、朗唱集会において発表を行う。また、 「心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業」の	心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業 10月19日
甲府市	小学校	新田小学校	豊かな心を持ち、生き生きと学び合う子どもの育成	～「思い遣る心」の醸成を願って～	・健康安全部会、異学年交流推進部会、地域交流推進部会、授業実践部会に分かれ研究にあたる。これら4部会において、研究テーマ「豊かな心を持ち、生き生きと学び合う子どもの育成」を図っていく。今年度は、「甲府の子どもの教育」の指定を受けた。思いやる心を醸成を願いながら、特に地域交流推進に視点をあて、富竹中学校との交流を模索する。授業実践部会では、道徳の授業公開に向けて、地域の道徳推進協議会と連携をとり研究を押し進めている。日常の諸活動を大切にしながら、心豊かな新田っ子を育てていきたいと考える。	0
甲府市	小学校	舞鶴小学校 (相生校舎)	「自ら学び考える子どもの育成」	～自己表現力・コミュニケーション能力の育成を通して～	各教科で学習する中で、学習したことをまとめ、整理し発表する方法を身につけさせれば、自己表現力、コミュニケーション能力を向上させることができ、自ら学び考える子どもを育成することができる。2校舎体制で研究する今年度、相生校舎では算数科を中心に基礎基本をしっかりと身につけ、考えなどを表現し、伝え合う活動を通して主題に迫っていき	0
甲府市	小学校	千代田小学校	たくましく生きる千代田の子の育成	国語力の向上を目指した、「学級の時間」の工夫	本校に設置されている「学級の時間」を中心に、教育活動全体において読書活動の習慣化や環境整備を行い、国語力向上のための基盤を作る。	0
甲府市	小学校	山城小学校	自ら学び主体的に問題解決に取り組む児童の育成	「学びを支える力」の向上を促す	「学びを支える力」として、国語力の面や健康・体力面、及び道徳的実践力の面に焦点を当てていく。日常的な取り組みのあり方と併せ、国語科及び体育科、道徳の授業における指導方法について「ひとつ上」を目指した実践が行えるような研究を実施していく。	0
甲府市	小学校	大里小学校	一人一人が育つ学びを創る	0	・教師一人一人が、自分の研究したい教科や解決したい課題を明らかにし、同じ教科や共通する研究内容を基にしてWG(ワーキンググループ)を作り、協力して研究を進める。①算数WG「楽しく学べる算数の授業作り」をテーマに、基礎基本の定着を図るための手立てや、多様な思考をさせる手立て等を研究する。②国語WG「書くことを通して、見たり、聞いたり、感じたりする力を伸ばす研究を行う。③体育WG「楽しい体育を目指して-できないことができるようになる道筋を見つけよう-」をテーマに学習カードを利用して研究をすすめる。音楽W	0
甲府市	小学校	里垣小学校	自ら健康的な生活を実践しようとする子どもの育成	生活を見つめ直して	研究主題に近づくために、 ①アンケート調査を行い、児童の置かれている状況や実態を把握する。 ②よりよい生活を送るための課題を明らかにする。 ③児童に課題や問題点を伝え気づかせる。 上記の項目を行い、児童が関心を持って、進んで健康的な生活を実践していくことができるよう指導の工夫をしていく。 また、健康的な生活を送ることは、学校生活だけでなく家庭での生活とも密接に関わっている。これをふまえ、過程・地域と連携して進めていきたい。	(甲府市教育委員会・甲府市学校保健会)健康増進研究指定
甲府市	小学校	石田小学校	確かな学力を育てる国語力向上の研究	学習の意欲かを図り、個に応じた指導を工夫することを通して(1年次)	①国語科の「基礎・基本」を培い、「指導と一体化した評価」ができるように、TTの活用や国語科の指導方法・形態など「個に応じた指導」を工夫すること。そのために、次の4つのことを研究し、日々の国語科の授業のあり方を研究していく。 A「国語科の基礎・基本リサーチ」 B「評価規準作成・活用推進」 C「カルテ活用推進」 D「TT活用推進」 ②「学習の意欲化」を図るために、次の4つのことを研究し、全校体制のとり組みとして何ができるかを研究していく。 A「地域・保護者との連携推進」 B「石田	(国)学力向上拠点形成事業(県)山梨県学力向上拠点形成事業

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
甲府市	小学校	大國小学校	すべての子どもが「書ける」授業づくりの研究	～国語力の基礎を培う日常的な指導を重視して～	(1)個人差に対応し書くための手だてを与えられる授業の研究 ①「書く」ことが苦手な子どもへの指導 ②「書く」ことが得意な子どもへの指導 ③大きな時間差への対応 上記を満たす授業の形態にはどのようなものがあるかを研究授業を行う中で検証する。  (2)「書く」ための基礎を培う指導の研究 ①「論理的思考力」を高める「書く活動」 ○意図的かつ継続的な取り組み(授業・学級活動など) ②「情緒力」を高める「読書活動」 ○読書量を増やす取り組み ○読書の	0
甲府市	小学校	池田小学校	心をたがやす国語力向上に関する研究	自ら本を手に取り、自己表現できる子どもの育成	昨年度の研究は、読書の習慣化と、自己表現の場の創造の二本の柱があった。子どもたちは、自ら本に手を伸ばすようになり、日常の様々な場面で、読書を楽しむ姿が見られるようになってきた。本年度の研究は、本を手取るようになった子どもたちの「読み」を深めることに焦点を当てていく。文学的な文章の読みである。文学的な文章を読み進める時に、「語彙」に注目し、活用することのできる児童の育成を目指す。一方で、表現活動をする上で、文法力の定着が思わしくないことがわかっている。文法力を補うための実践集の作成に取り組んで	(県)心をたがやす国語力向上事業拠点校 研究実践発表会 平成17年11月10日
甲府市	小学校	新紺屋小学校	たくましく創造性豊かな子どもの育成	国語科における「伝え合う力」の育成をめざして	・「伝え合う力」についての共通理解と児童の実態調査 ・「伝え合う力」についての具体的な指導方法、領域等の検討 ・「伝え合う力」についての指導内容系統表、評価規準の検討と作成	0
甲府市	小学校	甲運小学校	かがやく、みがく、未来を拓く	伝え合う力の育成を通して	児童にとって興味関心のある題材を選んで、単元の中に5つの言語意識を位置づけ、話し方・聴き方・話し合い方の基本型を教えながら、主体的に取り組ませ、互いの思いや考えを伝え合うことを積み重ねることにより、国語科における伝え合う力(表現力)を育てていく研	0
甲府市	小学校	湯田小学校	自ら学ぶ児童の育成	学び合う学級作りを通して	(1)学び合う学級づくり ○学級経営 組織、決まり、授業規律、学級文化、 ○授業のコミュニケーション 話し合い、発問、指示、発言、板書、ノート (2)指導に生きる評価 ○目標(身につけさせたい知識・技能)ー評価規準の明確化 ○一枚ポートフォリオ等を利用し、実態把握(診断的評価)ー学習履歴(形成的評価) ー 目標に対する到達(総括的評価) ○「おおむね満足」と評価できるための指導方法(体験的、問題解決的にこだわらない) ○教育課程実施状	国語力向上拠点形成事業
甲府市	小学校	玉諸小学校	豊かな心を持ち、生き生きと表現する子どもの育成	国語科の書くことと読書活動を通して(2年次)	平成16年度から始まった研究に継続して取り組んでいる。 1. 書くことに抵抗のある児童への支援方法を研究する。 2. ブロックごとにテーマを設定し、児童の実態を把握し、具体的な授業実践、日常化の実践を行う。 3. 1年間の実践を通して昨年作成した書くことのスキル表を見直す。 4. 新しい国語科の学習指導案について学習会を行う。 5. 読書活動を見直し、継続するための時間、場の設定、方法等を検討し、家庭との連携を図りながら読書活動の推進をする。	(市)甲府の子どもの教育総合推進校
甲府市	小学校	国母小学校	広い視野を持って自ら学びをひらく子どもの育成	(6月中旬ごろ設定されます。)	五つの部会で進めます。 道徳教育研究部会:「心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業」指定。 国語力向上研究部会:国語で自分の意思を明確に表現する能力の育成。 科学教育研究部会:科学自由研究、科学工作等の推奨と指導。 環境教育研究部会:リサイクル推進、持続社会を考える能力育成。 国際理解教育:グローバルな見方、考え方。異なる文化を持った人々との共生する能力育	(道)「心に元気をはぐくむ道徳推進事業」11月2日、父母、地域向けに公開

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
甲府市	小学校	東小学校	世界に目を向け、未来を拓く子どもの育成 ー英語活動の実践を通してー	0	① 英語活動を1年を通して計画していく。 ア 英語活動実施時数は、1～2年生 8時間、3～6年生12時間とする。 イ 業前学習は、月2回程度「えいごリアン」を中心に実施する。 ウ 今年度の展開案をもとに、児童の反応や学習環境に留意しながら、どんな内容が適切であり、どんな教材が有効であったのかという視点で展開案を柔軟に改良していく。 エ 各学年の実践を参観し、どんな内容の授業をしているのかを把握し、情報交換をしたり、必要に応じて学年間の調整をする。 ② 「担任がする(担任だけでもできる	レッツチャレンジ小学生英語活動
甲府市	小学校	千塚小学校	学ぶ楽しさを実感し、自ら進んで学ぶ子どもの育成	～学びの意欲を引き出す評価と指導の工夫を通して～	○理科と音楽科において目指すべき子どもの姿を明らかにする。 ○一人一人が学びの成果を実感できる評価方法の開発・実践から目指す子どもに迫る。 ○学びの意欲を向上させる学習指導について研究し、授業づくりを行う。 ○学びの意欲の向上につながる評価と学習指導の工夫を年間指導計画に残す。  という4点を17年度、18年度の2か年で明らかにしていく。	(県)学びの意欲向上推進事業 (理科・音楽科)
甲府市	小学校	羽黒小学校	ともに学び 考え 表現する子どもの育成	子どもの学び合いを高める指導の工夫	昨年度新しい知識を獲得していくような教材作りをどうしていくか、一人一人の子をどうとらえるか、子ども同士の話し合いを深める場をどう設けるのか、子どもたちの学習の様子を観察して適切な指導・支援をどう行うか等の課題を踏まえ、子どもたちの学習の様子を観察して適切な指導・支援をどう行うかを研究の柱に研究を進めていく。特に支援をどうするかを	0
甲府市	小学校	伊勢小学校	豊かな心と体を育み、自ら実践できる子どもの育成	～学校・家庭・地域が連携して行う、食に関する指導を通して～	①学校における食に関する指導の推進に関する研究。給食指導や栄養バランス等だけでななく、生産活動等も含む広い指導(今年度は授業実践を中心に行い、総合的な学習・生活科を中心に進めていく。またランチルームの設置等) ②正しい食事や望ましい食習慣の形成について、学校から保護者や地域の方々に対しての啓発や、情報の発信などどんなことができるか研究し、活動していくこと。(新聞の発行やHP作成等) ③保護者や地域の方々の協力を得て行う、食に関する体験活動や、食に関する講演など、	(国)学校を中心とした食育推進事業 (公開なし)
甲府市	中学校	上条中学校	主体的に考え、判断し、行動する生徒の育成	0	生徒の実態が分かるようなアンケートの作成。それをもとに分析し、集団作りについて具体的な方法を研究する予定です。今年度から、新しい研究になりますので、具体的な内容はまだ決まっています。	0
甲府市	中学校	山梨大学教育人間科学部附属中学校	かかわりを見いだす活動を重視した授業を創造する	0	0	平成17年度中等教育研究会 11月12日
甲府市	中学校	南中学校	学習や生活の課題に気づき、進んで解決しようとする生徒の育成	個人の伸びを大切にしたい到達度目標の設定と授業実践をとおして	教科教育の「評価」に着目し、まず各教科の具体的な評価規準を再確認する。その取り組みから、生徒や保護者に提示している「評価基準(本校では『学習ガイダンス』という名称)」をさらに分かり易い形式に変える準備を行いたい。評価基準を共有することで目標設定を行い易くし、生徒個人個人の「学習を能動的にとらえる力」の育成を目指して行きたい。「心に元気を育む道徳教育事業推進校」として日々の道徳教育実践に関しての研鑽を積んでいくことも本年度の課題である。	(県)心に元気を育む道徳教育事業推進校 10月(予定)
甲府市	中学校	北東中学校	自ら学び、自己実現を目指す生徒の育成	個に応じた指導の改善・工夫を通して	必修教科・総合的な学習の領域においては、個に応じた指導を工夫しながら指導計画・授業展開を考えていく。その際に、共通の視点として1枚式ポートフォリオを取り入れ、診断的・形成的評価を加えていく。また、学級経営の面でも、生徒一人一人を理解するための標準検査を実施し、個々の実態を把握するとともに、生徒同士の人間関係づくりを進めながら、個々への、あるいは集団への対応のあり方を考えていく。	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
甲府市	中学校	南西中学校	自ら学び、たくましく実践する心豊かな生徒の育成	0	各教科においては、生徒が意欲的に学習できるような、効果的な指導法の実践研究を行う。ひとり実践を基本とし、評価方法も含めて検討する。 学年研究としては、集団づくりに関する実践研究を行う。学級開きから組織作り、学級会の運営、行事の企画や取り組み方等、さまざまな実践に検討を加え、生徒がいきいきと活動できる集団づくりをめざす。 全体研究では、発達障害が懸念されるような、指導に配慮を要する生徒が見受けられるようになってきたことから、SCや外部の専門家等の助言も受けながら、事例研究を行うこととする。	0
甲府市	中学校	東中学校	自ら考え、学び、行動する生徒の育成	確かな表現力を育てる「書くこと」の指導	本校では「国語力」を〇人間関係をつくる力(コミュニケーション能力の基盤)〇学習活動を支える力(知的活動の基盤)〇心を育てる力(感性・情緒等の基盤)と捉えて昨年度より継続研究を行っている。今年度は、「書くこと」を授業(教科)に位置づけて確かな表現力の育成を目指して研究を進めていくことにした。	(県)心をたがやす国語力向上推進事業
甲府市	中学校	北中学校	「確かな学力」と「豊かな心」の育成を目指して	活力ある学校の創造	平成15～16年度の2年間、「山梨県基礎学力向上やまなしプラン授業推進校」に指定された。一昨年度は、各教科における基礎的な力をどう育てることが「確かな学力」と「豊かな心」の育成に結びつくかについて研究をすすめた。昨年度は、「自主活動の時間」における個々の言語能力の向上を目指し、指導内容及び指導方法について研究を深めた。昨年までの2年間、「確かな学力」に焦点をあて研究をすすめてきた。 本年度は、「心に元気を育む道徳教育推進校」に指定された。「豊かな心」に焦点をあて、心の教育の充実を深めることを目的にす	<県>心に元気を育む道徳教育推進校
甲府市	中学校	北西中学校	自ら意欲的に学ぶ生徒の育成	効果的な指導法の研究(検討中です)	教科研究において、生徒の意欲向上をはかる手立てを明確にして、効果的な指導法を研究する。今後、授業のねらいの明確化、指導方法や学習形態の工夫、評価の工夫、生徒と教師の人間関係づくりなどの中からさらに具体的な研究の焦点を検討している。県指定研究に関わって、授業のねらいの明確化、ねらいに対する評価、観点評価Cの生徒への指導の手立てなどを考慮して各教科の指導計画の整備をはかることも検討中である。	(県)学びの意欲向上推進事業(公開は来年度)
甲府市	中学校	城南中学校	自ら意欲的に学習する生徒の育成	意欲が向上する指導と評価のあり方	①教科研究を中心に意欲を高める指導と評価のあり方 ○関心意欲態度の教師の見取り方の研究 関心意欲態度が単元の学習過程において、どのような行動として表れるかという側面から観察可能な行動を洗い出し、直接評価するための工夫 ○研究主題にせまる授業展開、研究授業(各教科1実践) 意欲向上10項目を意識した授業展開を考え実践する。 ②選択教科の実践と資料の蓄積 ○選択教科の実践、年間計画の収集 ○城南中学校としての選択教科のあり方について	0
甲府市	中学校	富竹中学校	自立できる力を持った生徒の育成	基礎的な知識・技能の定着とルール感覚の育成を通して	①生徒を集中させ、熱中させ、確かな学力の定着を目指す指導の工夫 ②家庭学習の習慣化への取り組み ③ルール感覚の基盤となる「他者との共存」にかかわる道徳授業の研究	0
甲府市	中学校	甲府西中学校	「自ら学ぶ生徒の育成」	～学級力、授業の力を通して学力の向上を目指そう～	今年度の研究はH14～16年度までに行われた文科省指定「学力向上フロンティア」の研究を踏襲して行う。研究テーマ「自ら学ぶ生徒の育成」を目指すために1授業の力(学級づくり)2学級の力(授業研究)を柱として研究テーマに迫りたい。特に「学級づくり」においては、「生徒一人ひとりが集団の一員としての自覚をもち、自他共に高め合っていけるような主体的、民主的な集団をつくる。」ことであるが、学級集団形成をコミュニケーション力=「話し合い活動」の中に見出し、生徒の実践的な活動を仕組みながら、よりよい集団形成づくりのための	0
南アルプス市	小学校	若草南小学校	自分で判断し行動できる子どもの育成	学び合い高め合う関係づくりを通して	今年度は、3年目となる「地域ふれあい道徳公開」に新たに「心に元気をはぐくむ道徳教育推進」を加え道徳教育の推進に力を注ぐとともにテーマを主題として子どもの姿から学びを問い直すと共に、全教師が個人研究テーマを設定し、公開授業をして、学び合う。又、それぞれの分野から「めざす子ども像」を目指していく。アプローチの仕方として3つの分野(算数・国語・特別活動)からグループ毎、研究を進めていく。又、国際化・情報化の急速な進展など激しい変化が予想される社会では、これから出会うであろう様々な問題に対して何が課題で	(道徳)地域ふれあい道徳教育・心に元気をはぐくむ道徳教育 6月28日・11月25日

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
南アルプス市	小学校	若草小学校	主体的に学習活動に取り組み、基礎・基本の定着を身につける児童の育成	一授業力を高め、指導することを通して一	本年度は初任者研修とも関わり、教科・特別活動及び道徳において、教師が授業力(教材研究、指導技術、指導と評価の三点を定義)を高め学習指導することにより、教科等における基礎・基本の定着が相乗的に図られるであろうと考え、本年度の研究、実践とする。	初任者研修授業研究会実習校 6月3日、7月1日、10月7日、11月4日、12
南アルプス市	小学校	南湖小	生きる力をはぐくむ授業の実践	教科や総合的な学習におけるITの効果的な活用法の工夫	昨年度に続き、今年度の研究は、ITの環境を十分生かし、子どもたちに生きる力をつける方向を探りたい。教育課程の中でどんな単元のどんな場面にコンピュータの利用が有効なのかを探り、確実な理解につながる授業実践をさらに積み重ねていきたいと思う。また、昨年の実践記録の追試もできる限り行っていきたい。子どもたちがコンピュータに「触れ・慣れ・親しむ」ことを進め、既存のソフトの活用、インターネットを使ったコンテンツの活用、パワーポイントを使った教材作り、など授業の中にいろいろな形で取り入れていき、ITの効果的な活用法	0
南アルプス市	小学校	八田小学校	子どもが自ら課題をもち、追究する学習活動の創造	基礎・基本を大切にしながら	本校では過去6年間、「総合的な学習の時間」において、1「総合的な学習の時間」と「各教科」との関連について 2年間指導計画の作成について 3 評価のあり方について 4 地域・保護者の連携について など本校独自のスタイルを模索し、修正を加え研究を行ってきた。その中で、この学習を通し児童が「どんな力をつけたのか、もっと明確になる手立てはないのか」との声があがり、昨年度「評価のありかた」を考える中「ルーブリック」の作成に着手した。本年度はその「ルーブリック」に更に検討・修正を加え、子どもたちに「確か	0
南アルプス市	小学校	大明小学校	自ら学び自ら考える力を育てる学習指導	算数科における基礎・基本の定着を図る	1.学力テストを通して実態把握、客観的にどの力が足りないのかを知る。 2.算数科における「基礎・基本」の共通理解を図る。 ・本校の子どもの実態から何を基礎基本として身につけさせたいのか。 ・指導要領の確認 ・先行実践に学ぶ 3.日常の授業実践 4.研究授業・実践発表 5.教育課程の見直し編成 6.パソコン研修	0
南アルプス市	小学校	小笠原小学校	一人ひとりを大切にする授業の研究	子どもの思いや願いを生かした授業のあり方	①テーマに沿った授業の実践をする。②教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の中から各学年一つ、授業研究を行う。③充実した集会活動を行うために検討の時間を設け、内容の精選と充実を図る。④「総合的な学習の時間」の全体計画に基づいた実践をふりかえり、必要に応じて全体計画の見直しを図る。⑤全職員が初任者に必要な研修分野を分担して、示範授業を行う等指導を行う。⑥本校児童の実態に即した教育相談に関する学習会を行う。⑦先進校の視察を行い、研修を深める。⑧教育課程の還流報告を行い、学習する。 ※南アルプス市「国語力向	(南アルプス市)国語力向上推進事業
南アルプス市	小学校	白根源小学校	ひとりひとりが生き生きと追究し、学び高め合う授業の研究	国語力を向上させることを通して	「ひとりひとりを生かす授業の研究」をテーマに、本校は数年来問題解決的な授業作りに取り組んできた。その結果、個に応じた授業作りの成果を積み上げることができた。さらに、本校の目指す子どもの姿をより具体的にイメージしていくことの必要から、昨年度より研究テーマを「ひとりひとりが生き生きと追究し、学び高め合う授業の研究」と改め研究を進めている。主な研究内容は、「個に応じた授業作りの研究」と「国語力を高めるための研究」である。ひとりひとりの子ども理解の上立った問題解決的な授業作りに、授業研究を中心にしながら取り	0
南アルプス市	小学校	白根東小学校	地域に根ざし、地域と共に生きる人間性豊かな児童生徒の育成	「五本の木」のさらなる充実をめざして	◎学校全体で取り組む道徳教育の推進 ◎道徳的価値の自覚を深める道徳の時間の指導の工夫 ◎地域の人材を活用し、家庭や地域社会との連帯による開かれた道徳の充実 ◎児童生徒の心に響く教材の活用・開発 ◎小学校・中学校の連携による道徳教育	(国)平成16・17年度児童生徒の心に響く道徳教育推進事業 11月11日

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
南アルプス市	小学校	白根百田小学校	友だちと関わりながら学び、高め合う子ども		教師が考える「学力」とは、いかに漢字が書けるか、いかに計算ができるか、いかに覚えているか……という「知識(技術)の習得」だけでなく、いかに社会が変化しようと、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動することでよりよく問題を解決できる資質や能力を身につけることができるかということである。すなわち「生きる力」である。「生きる力」を育てることを考える場合、授業のあり方は「教える」だけでなく「子どもたちが自ら学ぶ」ことにある。学力は「学び」の中で身に付けられていくものだ登考えられる。すなわち、子どもたちが「獲得」するものである。本年度は共に学び合いながら、自分の考えを友だちに伝えたり、友だちの考えも聞き入れることでお互いの考えを認め合い、共に高め合うことができるよ	
南アルプス市	小学校	櫛形西小学校	心豊かな人間性を育む授業作り	伝え合う力「話すこと・聞くこと」の指導を通して	国語科における、伝え合う力「話すこと・聞くこと」の基礎・基本を明確にする。さらに、子どもたちにとって、必要感のある場を工夫した学習指導を行うことで、自分の思いや考えを伝え合う力を高め、心豊かな子どもを育成する。	0
南アルプス市	小学校	白根飯野小学校	学び合い 高め合う 子どもたち	子ども一人一人が思考力や表現力を高めるための授業のあり方	学び合い高め合う中で、子どもたち一人一人の思考力・表現力を育てる授業の創造 ◎「つかみ・生かす子(抽出児)」を大切に、記録をとっていく中で深く理解し、授業における教師の願いを明確にし、そのための手だてを講じていく授業を創造する。 ○なぜその子を「つかみ・生かす子」に抽出したのか、どんな願いがあるのかを明確にする。 ○「つかみ・生かす子」の考え方・感じ方をつかむための方法の工夫。記録の工夫。 ○そこから授業を創造していく。「つかみ・生かす子」の疑問、行き詰まりなどに対する手だ	0
南アルプス市	小学校	芦安小学校	自分の考えを表現する力を育てる国語科指導の工夫	書こうという気持ちを引き出す作文指導	3つの段階を設定し、子ども達が自分たちの考えを豊かに表現できるようにしていく。 1 子ども達の言語環境を豊かにする 国語の授業時間に限らず、朝の会でことわざの紹介をしたり、帰りの会でその日印象に残ったことを「五七五作文」に表し、発表し合ったりする。また、朝読書の時間に全職員が読み聞かせを行うなど、学校生活全般で言語環境を豊かにする取り組みを行う。 2 表現力を付けるために、レトリックを取り入れることを意識した日記指導を行う ただ、何となく日記を書くのではなかなか表現力は身に付かない。「比喩を	0
南アルプス市	小学校	櫛形北小学校	自ら学び、考え、判断し、行動する子どもの育成	「心のノート」を活用した道徳教育の実践を通して	(1)「心のノート」を活用した道徳教育の研究を行い、実践する。 (2)教育課程に関する学習会、先進校視察や各講習会、個人研究などで得た学習成果を報告し 合い、全体のものに広げる。 (3)夏季休業中等、時間的に余裕のあるときを利用して、パソコン研修を実施し、技術の向上を目指す。 (4)各学年の「総合的な学習の時間」の今年度の活動の情報交換を通して、これまでに培ってきた北小の「総合的な学習の時間」の研究の継続を図る。	「子どもと親の相談員」調査研究委託事業
南アルプス市	小学校	豊小学校	人間性豊かな児童の育成をめざして	コミュニケーション能力をつけるために、外国の人や文化に親しもう ～「国際理解教育」の一環として、英会話を取り入れる～	○総合的な学習等の時間の中で「国際理解教育」の内容を充実し、実践する。 ○「国際理解教育」の一環としての「英語活動」を教育課程に位置づけ、身近な英会話を学びながら、コミュニケーション能力を培う。 ○ブロック研究(低・中・高) 指導内容、指導法の工夫、教材開発、年間指導計画の実践及び修正 ○全体研究会 ・指導方法(担任のみの指導方法の開発も)・教材開発 ・講師を招いての指導法学習会・職員の英語研修・授業研究会・各ブロックの実践報告 ・コンピュータ研修	レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業

地区	校種	学校名	主題	副主題	内 容	公開日
南アルプス市	小学校	落合小学校	「自ら学び 課題を解決しようとする子どもの育成」	一課題解決的な授業実践を通してー ー地域・父母と連携した生活づくりを通してー	(1) 保健体育科に関わりを中心に、各教師が実践を公開する。 (2) PTA活動と連携した生活づくり。 4月のPTA部会までにアンケートをとり、子どもの学習を支える日常生活のあり方を考える。教育を語る会につながるような実践やPTA新聞づくり・保健だよりなどの通信による啓発活動を行う。 (3) 各教師のこだわりから生まれる授業を ①保健体育の授業 ②各教科から健康や体・生物にかかわる授業	山梨県学校保健会
南アルプス市	中学校	白根御勅使中学校	生きる力を育てる教科指導の研究	学習過程の組み立てや効果的な発問の工夫を取り入れた授業をととして	昨年度からの継続で、教科指導の研究をする。「生きる力」を、新しい学力観に基づいて育てていこうとする研究。学習過程の構成の工夫と効果的な発問の工夫を研究の重点におく。導入からはじまり、まともに至るまで、どのような過程が効果的なのか。どんな発問をすれば子どもは興味・関心をもち、意欲的に考え、能力を伸ばせるのかを研究していく。各教科ごとに柔軟性をもたせ、その教科の特性をいかしながらすすめていく。この研究をすすめていくことで、より興味・関心・意欲を高め、思考力・判断力・表現力を身につけ、またその能力を伸	(市)地域ふれあい道徳教育推進事業 (市)体育健康教育推進事業 (県)交流教育提携校
南アルプス市	中学校	若草中学校	主体的・創造的に活動できる心豊かな生徒に育成	意欲を喚起する指導法の研究	* 意欲を喚起する指導法の研究・実践・検証として授業の提案。初任者研修授業実習校であることから、初任者の教科(国語、社会、数学、英語、理科、音楽)と道徳、学活から、各一実践・提案を行う。指導案検討の事前研究会と授業参観、授業後の研究会をもつ。また、「地域ふれあい道徳」の一環として、地域・保護者へ道徳の授業公開をする。 * 「総合的な学習の時間」の年間計画に基づく実践および検証。 * 特別支援教育についての啓発学習を行う。	初任者研修授業実習校(6/3道徳、7/15国語・数学、9/30社会・理科、10/7英語・音楽、11/18学活)
南アルプス市	中学校	芦安中学校	望ましい人間関係を築くことができる生徒の育成	道徳の授業を中心にして	1 道徳の授業の在り方について、地域人材の活用や小規模校の特色を生かしての全校道徳の持ち方などを中心に研究する。また、心のノートの活用や総合単元的な道徳の授業の持ち方も視野に入れて研究を進める。  2 基礎基本の定着を目指し、各教科で実践を伴った研究を行う。	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進校 11月12日
南アルプス市	中学校	櫛形中学校	一人ひとりが主体的に取り組める授業に関する研究	意欲を喚起し、基礎・基本を定着させる学習指導の工夫を通して	生徒に「確かな学力」や「生きる力」を育むために、「一人ひとりが主体的に取り組める授業」を展開することを目指す。新主題1年目の本年度は、各教科において、「意欲を喚起するための学習指導の工夫」と「基礎・基本を定着させる学習指導の工夫」に焦点を当てて研究を	0
南アルプス市	中学校	白根巨摩中学校	地域に根ざし、地域と共に生きる人間性豊かな児童生徒の育成	0	第1年度の実践を生かし、さらに家庭や地域社会との連携を図りながら、地域人材等の活用を通して、児童生徒の内面に根ざした道徳性を養う。そのために、以下のような点に焦点を当てて研究を進めていきたい。 ・ 心に響く道徳教育の推進のため、道徳の授業を中心に全教育活動を通して道徳教育を積極的に進めていく。 ・ 地域人材の積極的な活用と同時に、その効果的な活用法の研究を進めていく。 ・ 教材化に結びつく資料の収集と人材発掘を継続していく。 ・ 小・中学校の連携(児童生徒の交流、教師の連携等)、地域	(国)児童生徒の心に響く道徳教育推進事業 11月8日



地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
南アルプス市	中学校	八田中学校	自ら学ぶ意欲を高め、確かな学力の向上に努力する生徒の育成	指導体制や指導方法の工夫、および創意の時間の取り組みを通して	①学習会の実施 ・学習会の内容(形成的評価、ルーブリック、座席表指導案、個に焦点を当てた研究校の実績等)講師を招いた講習など ②授業研究の実施 ・教科の授業(二回実施していく・・・本年度は国語科と数学科) ◎次の観点を以て、授業研究を行う ○一人ひとりに合わせた学習、授業 →形成的評価や座席表指導案の実践研究 ○わかる授業の工夫と教材研究 (課題解決的な学習方法や、TTの利用法などの実践) ○	0
南アルプス市	中学校	甲西中学校	「基礎・基本の定着を図り、確かな学力を身につける指導の工夫」	個々の学力の向上を保証する授業と教育システムの構築に向けて	本校では、昨年度までの2年間、生徒の学力の保証を目指して、現行教育課程に対応する立場、学校教育目標を具現化する立場、本校生徒のよさや可能性を生かす立場、これらの3点から「基礎・基本の定着を図る学習指導と評価の工夫」を研究主題とし、その具現化を目指し、日々の実践に取り組んできた。本年度は、昨年度からの継続した取り組みに加え、その総括をもとに、さらなる研究の深化と発展を意図し、以下の内容に取り組む。 ・授業の改善と教師の力量の向上を図る取り組み ・生徒の個々の実態に応じ、個別指導の体制を充実させる取り組み	(国)
甲斐市	小学校	玉幡小学校	心豊かに、自ら学び、自ら考える児童の育成	コミュニケーション能力を高めるための国語力向上をめざしてのアプローチ	・心をたがやす国語力向上のための基礎研究。 ・児童の国語力に関わる実態調査。 ・学校教育活動全体を通して、国語力を伸長させる実践への取り組み。 ①国語力向上をめざしての授業改善。 ②読書活動の推進 ③温かい学級作り(学級経営)の推進 ④家庭・地域との連携の推進 ⑤言語環境の整備	心をたがやす国語力向上推進事業拠点校
甲斐市	小学校	敷島小学校	主体的・創造的に考える子どもの育成	～算数科の基礎・基本を定着させる学習指導の工夫を通して～	教科を算数科にしぼり、算数科の基礎・基本の定着の指導を通して、主体的・創造的な子どもの育成を目指したいと考える。学習を自ら深めたり、発展・応用したりするためにも、その根幹となる基礎・基本の定着は必要不可欠である。算数科において、主体的に学ぶ機会の充実や創造的に考え学ぶ習慣化を図りながら、一人ひとりの子どもの基礎・基本となる力を定着させていきたいと考える。算数科の系統別の学習内容における各々の基礎・基本とは何か、その定着のためにどんな指導を展開するかを中心に考えながら、子どもたちのわかつ	平成17年度心に元気をはぐくむ道德教育推進校
甲斐市	小学校	敷島南小学校	算数科における確かな学力の育成	～考える力を育てる学習指導の工夫を通して～	昨年度に引き続き、2年次目の研究。昨年度は、算数的活動を中心にした自分たちでつくる授業により、多くの児童が、算数の楽しさや考えることの楽しさに触れることができた等の成果があった。今年度は、その成果をふまえ、特に考える力を育てることに着目し、児童が考えを深め合うような場を工夫し設定することにより、算数科における確かな学力を育てていくことがてできるかどうかを授業実践を中心に検証していく。具体的には、①子どもたちが、考えを深め合うような場の設定と教材を工夫する。②次時への還元を意図する学習感想を	該当なし
甲斐市	小学校	竜王小学校	基礎基本を充実させる学習指導法の研究	国語科の授業を通して	・「確かな学力」につながる基礎基本の充実を図る。 生きる力を知の側面からとらえた「確かな学力」は「知識・技能がしっかり身に付いたものにする」「実生活で生きて働く力とすること」「思考力・判断力・表現力や学ぶ意欲を育てていくこと」ととらえられている。この「確かな学力」につながる基礎基本をとりあげていく。 ・国語科の基礎基本を充実させる授業づくりを進める。 ねらいを明確にした国語科の授業づくりをしていくために、どのような指導過程で、どのような言語活動を工夫し、指導に生かす評価をどのようにしていくか(指	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
甲斐市	小学校	竜王南小学校	研究主題 国語科基礎学力の向上	研究副主題 基礎学力向上やまなし(国語科)プランの趣旨を生かした実践を通して	◎国語科における「書く」領域における指導について、本校の児童の実態を踏まえて「書き方」指導の系統性を低中高学年ごとに南小プラン(仮称)を作成し、その中で必要なところを決定し授業研究をして検証していく。 ○説明文をもとに論理的な構成や取材を中心とした研究を行う。具体的には、低学年では、書くためにどんな取材の方法があるのか。また、どのように構成(組み立て)をしていけばよいかを研究する。中学年でも、系統性を重視した作文指導を行う。特に、意見文・記録文・報告文を取り上げる。高学年では、作文の中でも論理的な作文	(国)「生徒指導推進協力員」活用調査研究委託事業
甲斐市	小学校	竜王東小学校	人間性豊かで主体性に富んだ児童の育成をめざして	学ぶ意欲を育てる授業の創造をめざして	算数の基礎学力を確かなものにするための学習方法の研究と検証。 個に応じた指導のあり方を研究する。特に、ティームティーチングが有効な単元や学習内容について研究と検証を行う。 地域の協力を仰ぎながら、児童の心を育てるための道徳の授業の研究を行う。	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業
甲斐市	小学校	竜王西小学校	『子どもの学びが響き合う学校の創造』	～学びの楽しさ、学びの大切さが実感できる算数科の授業を目指して～	今年度、本校では「学びの楽しさ、大切さが実感できる算数科の授業」を実践するため、その手だてとして、授業方法の工夫・改善、学習評価の工夫を中心に、子ども一人一人の学びを大切に、学び合い練り上げられていく学習を目指していく。また、算数科における基礎・基本の定着を図るとともに、子どもたちが学ぶ楽しさを味わえるようにすることもねらっている。 具体的内容として、次の項目に沿って研究を進めることを確認した。 ・児童の実態把握 ・授業改善 ・学習評価の工夫	山梨県教育委員会 指定「心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業」
甲斐市	小学校	双葉西小学校	主体的・創造的に考える子どもの育成	算数科における基礎基本の充実と思考力の育成をめざして	・H16年度算数科学力テストによる児童の実態把握(今ある子どもの実態と高めたい子どもの実態) ・児童の実態をふまえての研究領域の決定 ・検証単元の基礎基本の捉え方とその実践について ・子どもの思考力を育てる授業の具体案の構築(教材開発、指導法、評価等の工夫)	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業 11月21日 (3・4・5年生) 1月24日(1・2・6年)
甲斐市	小学校	竜王北小学校	相手を意識して、豊かに言語活動を展開する児童の育成	～国語科の学習「話す・聞く」を中心にして～	昨年に引き続き、研究主題「相手を意識して、豊かな言語活動を展開する児童の育成」を掲げ本年度は、国語科の「話す・聞く」領域にしぼり、研究を深めていくことにした。具体的には、 (1)国語科の言語活動の理論研究 (2)国語科の検証授業(低・中・高・特教の4ブロック) ・教材開発 ・授業の展開の工夫 ・評価 (3)全校体制での取り組み ・今月の詩	0
甲斐市	小学校	敷島北小学校	基礎・基本の定着をめざした授業の創造	国語科の学習を通して	・国語科(読むこと)における基礎・基本を再確認し、本校児童につけたいカー一覧を作成する。 ・「読むこと」領域の年間指導計画を作成する。実践記録の形で、今年度の終わりに完成させるようにする。2学年のまとまりで作成したい。 ・言語活動の実践例を研究し、授業に生かす。 ・授業研究により、基礎・基本の定着のさせ方や言語活動のあり方を明らかにする。 ※各学年学級において、つけたい力に準拠した評価規準の設定をし、“B”評定に到達しなかった児童についての手だてでもできるだけ記しておくようにしていきたい。	0
甲斐市	小学校	双葉東小学校	生き生きと自ら学ぶ子どもの育成	基礎・基本を重点とした指導法の研究	(1)児童対象の実態調査(含む学力検査)実施と分析(読み・書き・計算) (2)基礎基本を身につけさせるための指導法の研究(国語・算数) (3)基礎基本を身につける指導を組み込んだどの子にも「わかる・できる・楽しい」授業実践と研究授業の実施(国語・算数)	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
甲斐市	中学校	竜王中学校	自ら学び、心豊かで、たくましく生きる竜中生の育成	体験的、実践的な生き方学習を深める支援の工夫を通して	竜王中では、三年間を見通した進路学習を実践する中で、より実践的・体験的な生き方学習を意図的に組み込むことにより、主体的な進路選択をする力や生きる力がはぐくまれ、生き方学習を深めることができるだろうと仮定した。また、昨年度までの研究を継続する内容を含め二つの内容を研究の柱とした。 一に、「教科における興味・関心を興す授業の工夫の研究」。二に「キャリアウィークを考慮した進路学習」である。具体的な研究は以下の通りとなる。 ア文科系、理科系、技能系のグループごとによる授業の工夫と観察の実施。 イ専門	TRUE
甲斐市	中学校	竜王北中学校	自ら学び ともに学び合う生徒の育成	確かな学力と豊かな人間関係を両輪として	各教科ごとに基礎基本を定着させる教材や指導法を研究、実践する。 教科での研究や実践を高めるために、校内授業公開を積極的に行い、お互いに学び合う。学習の基礎となる学級の雰囲気向上させるために、行事(特に学園祭)を教師の意図と戦略を持って研究、実践する。 生徒個人や学級の変容をより客観的にとらえ、指導の手助けとするために、1学期と2学期に、個人意識調査、学級雰囲気調査を行い、結果を比較検討する。 キャリア教育、特別支援教育、情報教育などの今日的な教育課題に対しての勉強会を行う。	0
甲斐市	中学校	敷島中学校	自ら考え、学び、行動する生徒の育成	教育課程の実践と検証を通して	(1)各教科では、基礎・基本を重視しながらも、教師主導から生徒主体の指導方法を工夫し、授業研究をする。 (2)・道徳教育の充実(心の教育の充実)を図る。週一時間の「道徳の時間」を実践に努める。 ・学級・学年・学校についての情報交換や行事を通して、生徒を育てていく学級づくりをする。また、学級活動を重視し、心の居場所づくりに努め、学級の時間、短学活を有効に使う。 ・各学年ごと「総合的な学習の時間」の年間指導計画を実践し検証する。その際、3年間の	0
甲斐市	中学校	玉幡中学校	『生きる力を育む学習指導』	～国語力の向上を意識した実践～	(1)実態調査の昨年度との比較 ・CRT(「観点別学習状況」到達度診断)10月実施  (2)国語科で ・漢字ドリル、語彙テスト、スピーチ、朗読、暗唱など ・観点表を作成し、今後の指導に役立てる。  (3)学校教育活動全体で ・3領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)を意識して、各教科や学年でできることを考え、実践し発表する。 ・一人一人の言語能力を高める指導を重ねる。 ・道徳や特別活動の中でも	心をたがやす国語力向上推進拠点校
甲斐市	小学校	竜王北小学校	相手を意識して、豊かに言語活動を展開する児童の育成	国語科の学習「話す・聞く」を中心にして	今年度は、昨年度と同じ研究テーマを掲げ、サブテーマを『国語科の学習「話す・聞く」を中心にして』と狭め研究を進めました。豊かな言語能力を獲得していくことは、「生きる力」そのものを獲得していくことであると考え、本主題を設定し、低・中・高・特教の4ブロックごとに研究をすすめ、検証授業を計画した。 さらに、「特色ある学校づくり」をめざし、家庭や地域との連携を図りながら、日常生活の中で読書活動や歌声活動、今月の詩の音読などを通して、豊かな感性を育てることや、子どもたちを取り巻く言語環境を整え、学校教育全体の	0
中巨摩郡	小学校	三村小学校	「学びをひらく子ども」の育成	基礎・基本の徹底を踏まえて	本校では子どもたちを中心に据えた学校作りを目指している。子どもたち一人ひとりに、基礎・基本を定着させ、子どもたちの持っている可能性や自ら学ぼうとする力を伸ばしていくことに重点を置いている。最近の教育的な課題として「学力低下」や「個人差」の問題がクローズアップされているが、三村小の子どもたちの実態と見比べる中で基礎・基本を定着させ、「学びをひらく」という、三村小のめざす子ども像と結びつけて研究をしていきたい。次のような観点から授業実践を通して研究をしていく。 A 学習課題のありかたを考え、こどもが自ら	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
中巨摩郡	小学校	玉穂南小学校	自ら学ぶ子どもの育成	子どもたちが主体的にかかわる学びを目指して	①学校ピオトープ「たまなんトープ」を教材として活用しながら、「たまなんトープ」の維持・管理のためのマニュアル作りとガイドブックづくりを行う。 ②「個に応じた指導のあり方」について理論研究を行い、本校の実態に即した効果的なT・Tのあり方について研究を深める。また、研究授業を実施し、日常の実践に役立てる。	なし
中巨摩郡	小学校	田富南小学校	主体的に生き生きと学習する児童の育成	「確かな学力」の向上を目指した習熟度別授業の実践	①研究授業 ・低中高ブロックごとに各一本ずつTTの習熟度別研究授業を行い、研究授業をしない学年は実践報告を行う。 ・日本語教室の授業公開をお願いしたい。 ②さわやかタイム(業前10分間の学習) ・現状の「さわやかタイム」のプリント学習に習熟度別を取り入れる。 ・基本問題と応用問題のプリントを複数用意し、それぞれの学年に追加されている教務の	0 なし
中巨摩郡	小学校	押原小学校	確かな学力を身につけた児童の育成(第2年次)	数学的な考え方を育む算数的活動のあり方	昨年度、算数科を研究教科として選択し、子どもたちに身につけさせたい「基礎・基本」について探って、研究主題にある「確かな学力を身につけた児童の育成」を図った。その結果、「考える力をどうやって伸ばすか」という点に、研究上の課題意識が高まった。これを受け、2年次である本年度は、学習指導要領のねらいの一つである「数学的な考え方」を育むために、算数的活動をどう構成し、どのような手だてをもって指導を展開していくべきかということについて探っていく。研究を進める際は、片桐重男氏による数学的な考え方の類型を学びな	0
中巨摩郡	小学校	三村小学校	学びをひらく子どもの育成	基礎・基本の徹底を	本校では子どもたちを中心に据えた学校作りを目指している。子どもたち一人ひとりに、基礎・基本を定着させ、子どもたちの持っている可能性や自ら学ぼうとする力を伸ばしていくことに重点を置いている。最近の教育的な課題として「学力低下」や「個人差」の問題がクローズアップされているが、三村小の子どもたちの実態と見比べる中で基礎・基本を定着させ、「学びをひらく」という、三村小のめざす子ども像と結びつけて研究をしていきたい。次のような観点から授業実践を通して研究をしていく。 A 学習課題のありかたを考え、こどもが自ら	0
中巨摩郡	小学校	西条小学校	優れた知性を持ち、心豊かに、主体的にコミュニケーションする児童の育成	英語活動などの指導を通して	①コミュニケーション能力を育成する活動への取組み 日常の活動の中で学年毎にコミュニケーション能力を伸ばす活動の取組みを行う ②英語活動における年間指導計画の作成 ③学習環境の整備 図書・掲示物等の工夫、CD、ビデオなどを利用し、英語活動などをより主体的に促す学習環境の在り方ををを探る ④授業内容の工夫 ⑤授業実践 研究仮説に基づき、授業実践を行い研究の実証を行う ⑥国際理解集会の実施	レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進校(平成16年度～平成17年度)
中巨摩郡	小学校	田富北小学校	生き生きと学ぶ子どもを育てる教育活動の展開 ～かかわり合って学ぶことを通して～	0	「確かな学力」をつけるため、児童一人一人が意欲をもち、人やものとのかかわり合いの中で学ぶことのできる学習活動をさぐり、日々の実践に生かす。 ・学習環境 ・学習内容 ・学習形態	(国)学力向上拠点形成事業
中巨摩郡	小学校	常永小学校	「確かな学力」を身につけた子どもの育成	総合的な学習の時間及び生活科の一層の充実を通して	次期学習指導要領改訂においても「総合的な学習の時間」は残るであろうという見通しの中で、「確かな学力」を育む「総合的な学習の時間」のカリキュラム整備と、授業実践に取り組みたい。また、単年度計画ではなく、複数年計画の中で、中央の教育改革の流れに即応させながら、スムーズに次期改訂を迎えられるように、準備に取りかかりたい。	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
中巨摩郡	小学校	田富小学校	自ら学びをひらき 知を創造する児童の育成	児童と教師がともに育つ授業の実践を通して	(1)主題に迫る単元作り ○単元の目標の明確化 ●内容レベルの目標から単元レベルの目標、さらに本時レベルの目標へと、具体化する。 ○内容を学びながら、学び方、ものの考え方、問題解決能力を育てる工夫 ●体験的な学習、問題解決的な学習の充実 ●合科・関連的な指導の充実 ○指導に生かす評価 ●個に応じた指導、補充・発展的指導の充実 ●意図的・計画的な評価の実施(いつ・どこで・だれが・何を・どうやって) (2)児童理解に関する研修 ●LD、ADHD、高機能自閉症児などへの理解	0
中巨摩郡	中学校	玉穂中学校	粘り強く課題に向かう生徒をめざして	(1)個の自立を促す民主的な集団づくりの実践 (2)基礎学力の定着と向上を図る指導の実践	(1)集団づくりに関すること ①小集団を中心とした活動→自治的・能動的な集団の形成②生徒の指導力の育成→指導者・被指導者の人間関係づくり③民主的な原理の確立→討議・決定・実行の行動原則の確立④心情に訴え感性を高める活動→生きた知恵と美しい心の実現 *「玉穂中教育を語る会」実施 (2)教科指導に関わること ①学習目標・評価の設定と分析→生徒の学習目的・学習課題の明確化と意識化②授業形態・授業展開の工夫→認識への発展段階・目標への到達段階③教材の選定と精選→資料	(県)「心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業」11月8日学校開放日に地域・保護者参観授業実施予定
中巨摩郡	中学校	押原中学校	自他を尊重し、共感する力を育てる、生命の教育の推進	道徳・教科・特別活動の系統的な連携を通して	【研究目標】 ① 道徳、教科、特別活動の連携による「命の教育」のカリキュラム作り ② 自他を尊重し、共感する力を育てるための教材の開発(発掘) ③ 性教育等に関する教職員の研修  【研究仮説】 道徳、教科指導、特別活動などの全般にわたって系統的に「生きる喜びを味わえる」「命のかけがえのなさを学ぶことができる」生命の教育を推し進めていけば自他を尊重し、共感する力が育ち、生きる喜びを持って生活していける生徒が育成できるであろう。	0
中巨摩郡	中学校	田富中学校	「生きる力」につながる「よりよく生きる」生徒の育成	「環境(人・自然)」とのかかわりを生かした体験活動と評価方法の構築	本校ではここ数年、「生きる力」を視野に入れた授業の展開と、以前より検討・実施している絶対評価をより適切に構築する研究を行ってきた。しかしながら、「生きる力」の核となる「豊かな人間性」への取り組みや活動は教育課程全般で行われてはいるものの、その在り方や各領域での連携、活動に対する評価方法などの構築は充分であるとはいえない。また、本校は、本年度より2年間、「命の大切さを学ぶ体験活動推進事業」を山梨県教育委員会指定として受けることとなった。この機会に、もう一度「生きる力」の根本に立ち返り、その核とな	(県)命の大切さを学ぶ体験活動推進事業
塩山市	小学校	奥野田小学校	自ら学び自ら考える児童の育成	個に応じた、きめ細やかな指導法の開発	(1)個に応じた学習についての学習理論研究、学習会 (2)児童の実態調査 (3)個に応じた学習指導方法の工夫・教材開発 研究授業、ノート指導、ポートフォリオ指導、学習規律の確認、評価の工夫開発 (4)地域人材活用のあり方 (5)保護者説明について	0
塩山市	小学校	玉宮小学校	生き生きと学び合う子どもの育成	伝え合う力を育てる指導の工夫	国語科を中心に、話す力と聞く力を伸ばし、伝え合う活動を効果的に仕組み、伝え合う力を育てる指導の工夫について研究する。豊かな心と豊かな表現力の育成を図り、国語力の向上にもつながる読書活動の充実や表現活動の充実を教育活動全体を通して進めていく。児童の実態調査や理論研究や研究授業を行い研究を深める。	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
塩山市	小学校	塩山南小学校	意欲的に生活を創り出し実践していく子どもの育成	国語科・道徳の実践を通して、基礎・基本の定着を図り、豊かな心を育てる。	国語科 (1)児童の実態把握・・・国語科に対する児童の実態を調査し、課題を明らかにする。 (2)国語科についての理論研究・・・講師を招聘しての研修会や文献・先進校の実践から研究していく。(3)基礎・基本の確実な定着を図る指導と評価の研究・・・評価規準をもとに「それぞれの学年でどのような力を育てるか」を明確にするとともに、指導方法を研究し、授業研究によって検証する。(4)読書活動への取り組み方の研究・・・読書に親しむ態度を育成するための取り組みや学校図書館を活用した読書活動の推進。 道徳 (1)児童	0
塩山市	小学校	神金小学校	豊かな心と確かな学力の育成	伝え合う力を育てる国語の授業づくりを通して	全ての教育活動は、もともと人と人との「伝え合い」の上に成り立っている。従って、国語教育はすべての教科の基礎となる中心的な役割を担っているわけであり、その持つ意味は大変重要であると考えられる。平成17年度山梨県学校教育指導重点でも、特別留意事項の中で、「国語力の向上」を掲げ、読書活動の充実や、国語の授業はもちろん全教育活動を通して学びの基礎となる国語力の向上に努めることが述べられている。本校では、確かな学力の育成のために、国語の授業の中で「伝え合う力」をのばすことを通して、国語力の向上を	0
塩山市	小学校	塩山北小学校	心豊かで、確かな学力と伝えあう力を持つ児童の育成	一人ひとりを生かしたコミュニケーション活動を通して	1国語科の授業研究 一人ひとりを生かしたコミュニケーション活動を工夫した授業づくり 2国語力向上を支える基礎基本の活動を一人ひとりを生かすコミュニケーション活動と いう視点で取り組む ①ことばの時間(言葉遊び、詩の暗唱、群読、伝えあう力の練習) ②言語環境づくり(ことばの窓、校内掲示) ③読書活動の推進 ④家庭地域と連携した活動の推進	心をたがやす国語力向上推進事業の拠点校 10月21日
塩山市	小学校	松里小学校	子どもたち一人一人の確かな学力を高める研究	学びの意欲を高める指導の工夫を通して	まず、アンケートと自己教育力指導検査(SET)を行い、本校の児童の学習意欲(学びの意欲)をとらえる。また、教職員間の学習意欲、学ぶことの意義、算数と図工のおもしろさ、評価感についてに理解を同一にする。 学校課題解決の主たる方法は、「適切な評価を用いれば、子どもに自ら学ぶ意欲を育てることができる」(「指導と評価」2002年5月号 桜井茂雄氏)という理論と、本校での前記取り組み、学びの意欲向上事業の研究内容から自己評価を含む評価の研究実践とする。 課題を解決するために、さしあたって、以下(1)～(6)	(県)学びの意欲向上推進事業
塩山市	小学校	井尻小学校	「意欲的に取り組み、自ら追究する児童の育成」	～ 個に応じた学習指導方法の充実を通して ～	(1) 教師の共通理解と理論研究 身につけさせたい力 子どもの願い、保護者の願い、教師の願い 発展的学習の内容と取り扱いについての検討 ルーブリック評価 国語力向上に向けての方策 (2) 児童の学習・生活の実態の調査 (3) 指導体制の工夫・改善 弾力的運用に適したTT体制づくり 単元内容の分析とTTの必要性の吟味 (4) 個に応じた学習指導方法の工夫	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
塩山市	小学校	大藤小学校	主体的に学習できる児童の育成	確かな学力を育てる国語力向上の手だての工夫	1. 理論研究及び学習を通して、共通理解を図り具体的な指導法を探る。 ・音読・視写・読書・読むについて、学ぶ。 2. 確かな学力を育てるための国語科の授業改善を行う。 ・日常の活動に・音読・視写・読書を重視して取り入れる。 ・読みを深めるための有効な指導法について学び、授業に生かす。 3. 読書活動の推進を図る。 ・読書についての実態調査及び考察をもとにして実践に結びつける。 ・朝読書の取り組み方を考える。 4. 家庭との連携 ・学年便り等で、知らせる。	0
塩山市	中学校	塩山中学校	生きて働く国語力の定着を図る指導	0	*「伝え合う力をつけるということを念頭に置き、言語活動(「話す・聞く」「書く」「読む」)の場面を、学校教育活動全体を通して意図的に仕組み、実践させる。 ○全国標準検査などを使い、生徒の国語力についての実態を調査・把握し、指導に役立つ。 ○国語科の基礎・基本の確かな定着を図るため、実態をふまえてきめ細かな指導を行う。 ○習得した国語力を、学校教育活動全体を通して、さらに伸長させる実践を行う。(横断的な実践)	(県)心をたがやす国語力向上推進事業 10月26日
塩山市	中学校	塩山北中学校	自ら学び、進んで活動できる生徒の育成	確かな学力を育てる学習活動の実践を通して	・新しい学習(指導)方法、新しい学習(指導)形態に関する研究と実践 ・確かな学力を身につけるための研究と実践 ・国語力、読解力向上に関する研究と実践 ・総合的な学習の時間の内容の検討と見直し及び国語力向上との関連についての研究と実践	0
塩山市	中学校	松里中学校	生きる力を育成する教育の創造	豊かな心を育み 基礎学力を定着させる指導と評価の工夫	(1)基礎学力・表現力向上の取り組み (2)豊かな心を育む道徳教育の推進 (3)よりわかりやすく、客観的信頼性を高める評価の取り組み	0
塩山市	高等学校	塩山高等学校	「知のパイオニア推進事業」確かな学力推進事業のために 生徒一人一人の習熟度に応じた密度の濃い指導の実践を継続する中で、確かな学力を定着させ、自己実現を図るための教育	自ら学び、理解し発表する力と表現する力をつける授業の研究	生きる力を知の側面からとらえた「確かな学力」向上の取り組みを平成16年度から3か年計画で実施する。目標に準拠した評価の実践や個人内評価の工夫、指導と評価の一体化、評価方法の工夫と改善など学校全体として取り組む。また生徒一人一人の進路希望実現のために必要な学力の育成を通して「確かな学力」の向上を図る。取り組み内容については①分かる授業②個に応じた指導③全校体制の3つから現状を把握することからはじめ、(平成16年度)今年度はさらに実践活動を強化していく。特に分掌・学年・教科については今年度の研究主題に基づき	(県)研究指定校 知のパイオニア推進事業
山梨市	小学校	後屋敷小学校	自ら授業を創る子どもの育成	「国語力」を育てる国語の授業づくりを通して	・国語力についての研修会 ・子どもたちの国語力についての学習状況の把握と分析 ・つけたい力を明確にした国語科の授業実践 ・特別支援教育についての研修会	0
山梨市	小学校	加納岩小学校	豊かな学力の育成	子どもの学びの実感を求めて～国語科・算数科の学習を通して～	昨年度まで2年間の「学習指導カウンセラー支援事業」での成果を生かし、子どもに学びを実感を持たせるために、・子どもにとって学びがよい教材作り・子どもに学びの実感を得られる評価の改善・授業カンファレンス・確かな子ども理解、を意識し、自己の課題意識に即した授業づくりに取り組み、教師としての力量を高める。	0
山梨市	小学校	牧丘第二小学校	主体的に学ぶ児童の育成	伝え合う力の定着を目指して	・伝え合う力の定着を図り、子ども達が主体的に学ぶことができるような指導の工夫の実践と検証を行う。(授業研究と授業公開・学習過程や支援のあり方・評価のあり方) ・伝え合う力の育成に必要な基礎基本との関連を図った授業の実践を進める。 ・伝えう力を高めるための全校的な取り組みについて継続した指導をする。 ・主体的なまなびができるようにするための学習環境の工夫を実施していく。 ・伝え合う力を育てるための具体的指導内容や系統的な指導目標の確認をし、指導に生かす。	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
山梨市	小学校	八幡小学校	生きる力を支える確かな学力を育むための指導の工夫	調査に基づいた児童の実態の把握と基礎・基本の定着をめざして	調査に基づいて児童の実態をしっかりと把握することによって、それぞれの学年や一人一人の児童の問題点を明確にしていく。そしてそれに応じた指導の工夫をしていくことで、基礎・基本の定着を図り、確かな学力の向上につなげていく。	0
山梨市	小学校	堀之内小学校	「自ら学び、生き生きと活動する児童の育成」	英語活動を通して	①ALT・JTE・担任三者の特質をうまく生かした授業作りについての研究 ・10月、11月に検証授業を行う。 ②英語活動における学力と評価の研究 ・英語活動における学力の視点を明らかにすると共に、具体的な評価方法を研究し、その後の実践に活かす。 ③子ども達が楽しむ「学びの時間」の英語活動の研究 ・「学びの時間」(月・水・金の3回、15分間)、ビデオやCDなどの利用の他に担任一人でのような英語活動ができるかの研究 ④英語活動の環境を整える ・チャレンジルームの教材・教具・掲示物	(県)レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業
山梨市	小学校	山梨小学校	子どもたちの意欲を高める評価方法の工夫	自己の学習の変容が自覚できる評価方法の十実践を通して	昨年度は「指導と評価の一体化」を図るため、子ども達に求められる学力が、知識や技能のみならず、思考力・判断力・表現力や学ぶ意欲など、ペーパーテストでは評価しにくいとされる力を含めた、子ども達の確かな学力の総合的な状況を的確に把握し、それに基づいた評価方法を考えていった。そのことにより児童に適切な支援を行うことができ、基礎基本の定着が図られた。しかし、課題として、評価が煩雑であり、子どもも教師も労力がかかりすぎる点、また、子どもの中には学習に対する意欲を喪失している児童もいるということが挙げ	0
山梨市	小学校	日下部小学校	「確かな学力」を保障する指導の研究	「思考力」「判断力」「表現力」における基礎・基本の定着をめざして	3年計画の2年目なので、昨年度、部会(低、中、高)ごとに作成した系統表や研究結果を今年度に生かしながら研究を進めていく。したがって今年度(2年次)においても3つの部会ごと、昨年度と違う「力」の系統性について研究を深めて。研究仮説として「表現力、思考力、判断力における基礎・基本を明確化、細分化して系統的に配列し、討論的授業を視野に入れた授業実践を試みることで、『確かな学力』を保障し、生きる力としての学力を定着させることができるであろう。」を設定した。具体的内容は、①当該学年における3つの力(表現力、思	0
山梨市	小学校	牧丘第三小学校	主体的に取り組む児童の育成	～基礎学力の定着を図る指導を通して～	研究の具体的内容と方法 (1)学習カルテを使っての児童の実態把握と個に応じた指導の取り組み (2)主体的な学びのための自己評価カードによる児童の自己評価と家庭学習の記録への取り組み (3)望ましい学習習慣及び学習態度の育成を図るための指導や工夫 ・朝読書の実践、家庭学習の実践、朝の会・帰りの会の内容や進め方の工夫など (4)個に応じた指導とわかる授業の実践 ・国語・算数を中心に授業研を全員で行う。 ・要望に応じて授業や活動を公開し、お互いに学び合う場を多く持つよう	0
山梨市	小学校	岩手小学校	生き生きと学習する児童の育成	伝え合う力の向上をめざして	昨年度の「生き生きと学習する児童の育成」の研究をさらに深めながら、基礎・基本の定着を図るために、しこうの発信・受信をより豊に行う「伝え合う力」を育てると共に、円滑なコミュニケーションを図り元気に生活するための道徳教育の実践を進めることにより「生き生きと学習する児童の育成」というメインテーマに迫りたい。これらのことから、「伝え合う力の向上をめざして」をサブテーマとし、研究を進めていく。	(県)心に元気を育む道徳教育推進事業(10月23日)
山梨市	小学校	三富小学校	主体的に学び、生き生きと活動する児童の育成	一人ひとりを生かしたコミュニケーション能力の向上を目指して	昨年度に引き続き、同様のテーマを掲げ子ども達のコミュニケーション能力の向上を目指して研究を深めることにした。 今年度は、昨年度の研究内容を引き継ぎながら本校児童の課題である「自己表現しようとする意欲を向上すること」や「相手に伝えようとする気持ちを持つこと」といった意識の部分より高めていきたいと考えた。 山梨県学校教育特別指導重点事項・重点施策にも国語力の向上と読書活動が掲げられ、学びの基盤となる国語力の向上が求められている。 そこで、「コミュニケーション能力」の向上をさらに目指し、学校全体	0



地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
山梨市	小学校	日川小学校	学び合い、生き生きと活動する児童の育成	「伝え合う力」を育てるための指導の工夫	子どもたちが生き生きと活動するための「伝え合う力」(コミュニケーション能力)について共通理解を深め、本校の実態を明らかにした上で、「伝え合う力を高める」指導法などを学習し、指導していきたい。また、子どもたちに「伝え合う」をつけることは、コミュニケーション能力を高め、人との関わりをスムーズに持てることで、子どもたちの自他の肯定感を育てるものと考えられる。自分の思いや考えをどのように表現するか。またそれを受けてどう返すかという学習はどの教科にも通じることであり、教育活動全般において進めていきたい。	0
山梨市	小学校	牧丘第一小学校	主体的に学び、いきいきと活動する子どもの育成	ルーブリックを活用した効果的な授業の工夫	自分で考えたり、判断したり、表現したりする力などの「生きる力」を育み、主体的に学ぶ児童の育成を目指し、研究主題を「主体的に学び、いきいきと活動する子どもの育成」とし、ルーブリック評価を校内研究の柱とし研究を積み重ねてきた。本年度はその二年目にあたり、昨年度の成果と課題をふまえ、自己評価能力を伸ばす、評価活動をどのようにするかについて、また、ルーブリック評価を活用した効果的な授業の工夫をめざし、研究を進めていく。	0
山梨市	中学校	笛川中学校	豊かな心を持ち、自己実現をめざす生徒の育成	0	* 地域に根ざしたカリキュラム作り。* 学校・家庭・地域が連携した道徳の授業、道徳的実践活動の推進 * 基礎基本の確実な定着をはかる教科指導法及び評価方法の研究 * T.Tの有効な指導法の研究を中心とした、きめ細やかな教科指導法の研究 * 生徒の主体性や創造性を引き出す特別活動の推進 * 学年部会を中心とした「総合的な学習」の実践と検証 * 情報活用能力の育成 * 生徒指導の三つの機能(「自己存在感」・「共感的人間関係」・「自己決定の場」)を生かした教科指導や学級作りの実践	心に元気をはぐむ道徳教育推進事業 11月4日
山梨市	中学校	山梨北中学校	確かな学力の向上を目指す学習指導に関する研究	学ぼうとする力を高めるための指導を通して	(1)一人一人の個性を大切にす学級経営 (2)基本的な生活習慣と学習習慣の確立 (3)個に応じた教科指導	なし
山梨市	中学校	山梨南中学校	『真理を求め、自ら考え、正しく判断し、進んで学習する生徒の育成』	～探求心をはぐむ学習活動の推進～	【具体的内容】 (1)思考力・判断力・表現力・問題解決的な資質や能力の育成 ①生徒同士が豊かにコミュニケーションを展開し、課題を探究していく授業の創造 ②知識や技能などがかかわらせながら思考・判断する学習により思考力・判断力を高める工夫 ③関心・意欲の高まる課題解決的な学習を設定することにより、問題解決的な資質や能力を高める工夫 (2)指導と評価の一体化を図り、フィードバックを充実させることによる基礎・基本の定着	学力向上拠点形成事業
東山梨郡	小学校	東雲小学校	「自ら考え、判断し、実践できる子どもの育成」	「基礎・基本の確実な定着をめざして(国語科)」	国語科の3領域の中から「話すこと・聞くこと」に焦点をあて、子どもたちの「話すこと・聞くこと」の力の育成を育むこととした。研究1年目なので、理論研究が中心となるが、年2回の授業実践を通して、「話すこと、聞くこと」の指導法の研究、指導と支援の方法、年間指導計画の作成、言語環境の整備、有効な図書室利用の方法等の研究を進めていく。	0
東山梨郡	小学校	菱山小学校	意欲的に活動する子どもの育成	自分の考えを豊かに表現する力の育成を通して	研究仮説「学年や児童の実態にあった指導法を工夫することにより、言葉による表現力を身に付け、道徳教育を推進し児童の心を豊かに育むことができれば、自分の考えを豊かに表現できる子が育成できるであろう。」 15年度から「自分の考えを言葉で表現すること」に焦点を当てて研究を進めてきた。今年度は、表現する主体である子どもの豊かさにも目を向け、より一層「自分の考えを豊かに表現すること」に取り組んでいきたい。自分の考えを豊かに表現するという事は、全ての教科に共通し基礎となる大切な力の一つである。児童一人ひとりの、	(県)心に元気をはぐむ道徳教育推進事業 2006年1月21日(予定)
東山梨郡	小学校	大和小学校	学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成	国語力向上のための学習指導の工夫	児童の国語力に関する実態調査し把握する。それに基づいた国語力向上のプラン作りを教科と教科外の活動を含め教育活動全体から行う。先進校視察や学習会を開き理論研究を行う。国語力向上を目指した学習指導の工夫について、授業実践を通して実践検証する。	なし

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
東山梨郡	小学校	祝小学校	豊かな心を持ち、よりよく生きようとする子どもの育成	一道德の時間の充実を通して	豊かな心を持ち、よりよく生きていくために、道德の時間の充実を図り、内面に根ざした道徳性を育み、日常生活における具体的な実践に生かせるように研究を進めていきたい。 ・実態把握と共通理解 ・理論研究(道德の指導計画について、各種道徳の実践例について等) ・授業研究 ・学習会・研究会への参加 ・講師を迎えての研修	心に元気を育む道徳教育推進事業
東山梨郡	小学校	勝沼小学校	自ら学び、考え、主体的に判断する子どもの育成	知の総合化をめざして	1. 昨年度に引き続き、総合的な学習と教科との関連を明らかにするための研究を行う。2. 昨年度見直した総合的な学習のカリキュラムを実践、検証し、カリキュラムの改善を行う。3. 評価にかかわり、本校で作成したルーブリックを学年に応じた使いやすい形にして活用し、さらなる改善を行う。4. 総合的な学習を支える教科学習の基礎基本の定着を図るための研究を行う。具体的には、本校児童学力の実態を明らかにそれを教科の指導に生かし、総合的な学習をより充実したものにしていく。	0
東山梨郡	中学校	勝沼中学校	基礎学力をはぐむ教育活動に関する研究	個に応じた指導を通して	(1)基礎・基本を身につけるための個に応じた指導に関する指導方法・指導形態を工夫する。 (2)関心・意欲を高めるための工夫をする。 (3)評価方法の改善とその評価を生かした指導の工夫をする。 (4)授業実践を実施する。	0
東山梨郡	中学校	大和中学校	「確かな学力を身につけた、心豊かで思いやりのある生徒の育成」	0	(1)教科学習において、基礎、基本の定着を図るための研究 ①国語力の向上 ・実態調査と分析 ・読書活動の推進 ・大和タイム(火曜日6校時帯)の活用 ・各教科領域での取り組み ②個に応じた指導 ・生徒個々のつまずきの把握 ・学習方法、家庭学習の指導 (2)豊かな心の育成を図るための研究 ①学級集団づくり	0
笛吹市	小学校	境川小学校	生き生きと活動し、基礎基本を身につける子どもの育成	自分で考え表現できる力を育てる指導と評価の工夫を通して	算数科(全領域)・国語(説明文)において、子どもが考える場や交流する場がある授業を展開し、他者の解決方法を自分の言葉で表現したり、解釈する活動を組み入れ、学びの過程でノートを活用し、学びの終末では学習感想を書く。以上のような取り組みのもと、「課題を受け止め、学習に取り組む子ども」「課題について自分で考え、自分の考えを表現できる子ども」「学びについて振り返りのできる子ども」といった子ども像に迫っていこうとするものである。 そのために、	0
笛吹市	小学校	一宮南小学校	「生き生きと学習する子どもの育成」	0	・授業構造仮説(科学モデル)において、仲間同士の関わりを育む有効な手立てを明らかにし、子どもたちが進んで学習に参加する授業のあり方を探る。 ・授業観察の視点に基づいた教師全員による授業分析とその考察を行い、「自己・他者肯定感」と「自己達成感」をキーワードに、仮説を検証する。 ・「自己・他者肯定感」と「自己達成感」をキーワードに、授業づくり部会の仮説と関連させながら、様々な活動を通して集団を分析し、ともに育ち合う学級集団・異年齢 集団づくりに取り組む。	0
笛吹市	小学校	石和東小学校	自ら学び、自ら考え、生きる力を持つ児童の育成	算数香の課題解決的な学習に、仲間とかかわりあう活動を通して	1.仲間とかかわりあう活動の共通理解とそれを取り入れた授業安作り、及び授業実践 2.仲間とかかわりあう活動の児童実態に合わせた系統性ある具体的な手立ての作成 3.学習習慣、学習規律の共通理解と実践	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
笛吹市	小学校	八代小学校	生き生きと活動する子どもの育成	～伝え合い響き合うための活動をとおして～	「学習活動に、伝え合い響き合うための活動を仕組むことにより、生き生きと活動する子どもの育成がはかれるであろう」の仮説に基づく研究。「生き生きと活動する子」とは、「めざす学力」を身につける子を育てることにつながる。子どもの視点で言い換えると「教科等の基礎基本を確実に身につけ自分の考えをもち、学級の仲間との豊かなコミュニケーション活動を深める活動を進めていくことで、確かな学力が身につく」と考える。伝え合い響き合うための活動とは、以下の4つの活動を想定している。(1)子ども一人ひとりがこれまでの経験や知識を	(県)レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業 10月26日
笛吹市	小学校	春日居小学校	主体的に取り組む児童の育成	豊かな心を育む道徳の指導を通して	1 道徳の時間の充実 道徳の指導は学校の教育活動全体を通じて行われるが、主に道徳の時間を充実させ、教師の指導力を高める。地域公開をする。 2 児童理解を図る 児童の自己評価「ふりかえりカード」を作成する。 教育相談を充実させる。 3 家庭・地域との連携を図る。 今までの地域人材活用、施設利用などの活動を継続し充実させる。 家庭での具体的な取り組みを提案し、家庭の教育力を生かす。 地域ブロック研究を生かしながら中学校とお互いの授業を見合うなど連携を図	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業 11月27日
笛吹市	小学校	一宮北小学校	よく考えて行動し、物を大切にすることの育成	金銭教育への取り組みを通して	金銭教育において、学習内容・活動・指導法・教材等はどうあるべきかを明らかにし、実践を積み重ねることによって、よく考えて行動し、物を大切にすることの育成を図る。 ①金銭教育についての共通理解を図る。 ②金銭教育に関わる実態・意識を把握する。 ③金銭教育に関わる年間指導計画の作成をする。 ④金銭教育に関わる実践授業を行い研究を進める。 ⑤家庭・地域との連携や保護者への啓発に努める。	(県)金融広報委員会)金銭教育研究校
笛吹市	小学校	富士見小学校	確かな学力を育む学習活動の創造	算数科における、基礎・基本の定着を図る指導方法と、学び合いの場の工夫を通して	①基礎・基本の確実な定着を図る指導方法の工夫。 ・児童の実態把握と単元の指導目標設定より、単元を通して習得させる基礎・基本の内容を明らかにする。 ・朝の学習の充実、TT方式・少人数指導等学習形態の工夫を行う。 ②学び合いの場の工夫。 ・子どもの思考を深め、課題を解決する学び中で、お互いの思いや考えを交流し、高め合う学習の場の工夫を行う。 ③評価活動の工夫。 ・授業の流れの中で、子どもの学びを受け止め、学び合う関わりを支える評価活動を進める。	(国)学力向上拠点形成事業(確かな学力育成の実践研究事業)
笛吹市	小学校	一宮西小学校	「自ら考え、学びあう子どもの育成」	～算数科における、問題解決的な学習課程と評価活動の工夫を通して～	・算数科の授業づくり ①問題解決的な学習の推進：・解決への意欲を高める問題提示、場面の設定。・興味を引き出す教材の開発。・目的意識を持ち、思考をともなう作業や体験活動の実践。・指導計画や単元構成の工夫。 ②一人ひとりの学びをうけとめ、一人ひとりの学びを励まし合うあう関わりを支える評価のあり方と、指導方法の工夫 ・学級集団づくり 「開かれた学級集団づくりを目指して」研究を進める。・集団づくりについての学習。・学級づくり案の作成と修正、実践レポートにおける交流。・集団性各調査の	心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業 9月29日
笛吹市	小学校	石和北小学校	自ら学び、自ら考える子どもの育成	基礎基本を身につけさせるための手立てを取り入れて	形成的評価の結果を生かし、授業の改善策として『補充学習』『再学習』『指導計画の変更』などの手立てや個への支援として『助言』『ヒントカード』『再学習』を行い、児童に基礎基本が身につくように取り組む。	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内 容	公開日
笛吹市	小学校	石和南小学校	豊かな心をもち自ら行動する子どもの育成	一人一人の学びを深める活動と個に応じた指導・評価を通して	授業づくり部会 算数に置いて学びを深めるかつどうを仕組み、個に応じた指導と評価を行っていけば、豊かな心をもち自ら行動する子どもが育つであろう。 算数科における個別指導、TTの効果的なあり方 教材教具の開発 教育環境作り部会 給食 保健 図書館教育 集団づくり部会 学級分析を通しての学級集団づくりの研究 学年目標を達成するための見直しをもった学年集団づくり 6年生を追跡調査しながら、全校を高めていく全校集団づくり	0
笛吹市	小学校	御坂東小学校	生命の大切さを実感できる児童の育成	0	(1) 道徳の時間の充実 学級の実態に応じて、資料を選択したり、他の教育活動と関連させたりしながら実践する。 ・多様な形式の読み物資料 ・体験 ・各教科との関連を持たせた学習指導 ・複数時間扱いの学習指導 ・家庭や地域社会との関連を図った学習指導 など (2) 「生命」に関わる総合単元的なカリキュラムの作成	0
笛吹市	中学校	春日居中学校	「生きる力」をはぐくむ教育課程の創造	確かな学力の定着と豊かな心の育成をめざして	「確かな学力」の育成に向けた取り組みのひとつとして「国語力」の向上をめざす研究をメインに、平成17年度「心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業」推進校に指定されたことを受けて、学校・家庭・地域が連携し、道徳的実践活動を通して、生徒の心に元気をはぐくむ道徳教育の研究・推進を図り豊かな心の育成をめざす。	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業
笛吹市	中学校	石和中学校	主体的によりよく生きようとする生徒の育成	仲間と共に高まる集団の育成、学びの姿勢をつくる授業づくりの工夫	ひとりひとりの学びや活動の充実をめざした集団づくりや授業づくりの場で、個と集団への指導・支援の効果が、互いに絡み合って広がりをつくっていくような実践をめざして、次のような視点で意見交換、実践交流、実践の工夫を行い、学び合う。 (1) ひとりひとりの居場所があり、民主的な話し合いや活動のできる生徒集団、ひとりひとりの学びが保障される生徒集団育成のための、マナー・規律の確立、意欲を引き出し達成感の味わえる日常的な活動づくり。 (2) 学びへの姿勢をつくるための、規律の確立、意欲や学力を高めるための導	(県)初任者研修授業研究会実習校
笛吹市	中学校	御坂中学校	基礎学力の定着と向上を図るための教科指導法の実践的研究	生徒理解に基づいた学習指導法の工夫を通して	○「授業に生きる子ども理解」の視点を共通理解する。 ○研究授業を通して、それらの視点を授業に生かすためのとらえ方の検討、確認をすることにより子ども理解を深め個々の課題を把握する。 ○把握した課題をふまえ、指導内容・方法の工夫、教材・教具の工夫、発問の工夫など、生徒の実態に即した学習過程を工夫する。 ○「わかる・できる」喜びをもてる授業をつくることによって生徒の学ぶ意欲を高め、基礎学力の定着、向上をねらう。	(県)勤労生産学習推進校
笛吹市	中学校	一宮中学校	課題に気づき、主体的に活動する生徒の育成	学びの意欲向上を図るための指導と評価の一体化を通して	授業づくりにおいて (1) 教科・・・①より効果的な評価方法の工夫 ②生徒の学習の改善につながる指導と評価の一体化にたった実践(個に応じた指導の一層の充実) (評価を生かした指導の充実) ③評価から評定への結びつきの検討 ④教育課程・評価基準の実践と見直し(適切な評価を位置づけた特色ある年間指導計画の編成) (2) 総合的な学習 (3) 授業実践 集団づくり・・・生徒の良さを認めていく	学びの意欲向上推進事業
東八代郡	小学校	中道北小学校	豊かな心を持ち、自ら実践する子どもの育成	肯定的なコミュニケーション活動を通して	(1) 肯定的なコミュニケーション活動を通じた「自己表現できる授業づくり」 (2) 肯定的評価とソーシャルスキルをいかした「おだやかな集団づくり」 (3) 地域や保護者から信頼される「地域・父母との連携づくり」	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
東八代郡	小学校	芦川小学校	自ら学び、自ら考え、主体的に活動する子どもの育成	体験的学習で問題解決力や関わり合う力を育てることを通して	「生活科」と「総合的な学習の時間」において、体験的学習プロセスを取り入れた授業作りを行う。また、児童一人ひとりの実態を把握し、形成的な評価（ルーブリックなど）を取り入れた指導と評価の一体化にも取り組む。さらに、芦川の地域を生かし、地域素材を活用した授業作りを行い、地域や保護者の方々とも連携した学習の展開を図っていく。このような実践を行いながら、児童の問題解決力や関わり合う力を育てていく。	0
東八代郡	小学校	中道町立南小学校	『「生き生きと取り組み、わかる」授業づくり』を目指して	一人ひとりの学習に寄り添った算数科の授業を通して	算数科の授業を通して、TTを活用し、算数的活動や評価活動を仕組みながら、一人ひとりの学習に寄り添うことで、『「生き生きと取り組み、わかる」授業』をつくっていくことを目的とし、研究を進めていく。 (1) TTの有効利用・通信票について、指導主事より学ぶ。 (2) 算数科における中道南小の子どもの実態を把握・分析し、今後の指導に役立てる。 (3) 算数科における目的に沿った授業実践を行い、研究授業を行う。 (4) 人として、教職員としての教養を高めるため、個人発表を実施し、学び合う。	0
東八代郡	小学校	豊富小学校	学びの意味に気付き、自ら学びともに学ぶ豊富な子ども	学ぶ意味に気付かせる評価の実践を通して	学びの意味に気付き、自ら学びともに学ぶ子どもを育成することを目的とし、学ぶ意味に気付かせる評価のあり方を研究する。 ◇研究内容 (1) 学ぶ意味に気付かせる評価のあり方 ①一枚ポートフォリオの作成 ②一枚ポートフォリオ評価を中心とした学ぶ意味に気付かせる評価のあり方 ③研究仮説の検証 〈研究仮説〉 子どもの学びに、学ぶ意味に気付かせる評価を取り入れることにより、学びの意味に気付き、自ら学びともに学ぶ子どもが育つだろう。 ※学ぶ意味	(国)豊かな体験活動推進事業（国）省エネルギー教育推進モデル校
東八代郡	小学校	石和西小学校	「生きる力」を育む学習活動の創造	互いの思いや考えを交流し、共に学び合う活動を通して	三部会構成で研究を行うことにより、生きる力を学校教育活動や家庭教育中でバランスよく育んでいくことをめざす。授業づくり部会においては、原理やよりよいものを追究する学習と、学習したことがらを定着させる学習とを効率よく取り入れ、児童が積極的に自分の意見や思いを表現し、友だち同士による交流や意見交換をし、お互いにかかわりあいながら学び合っていく活動が行われることにより、確かな学力の向上をめざしていきたい。そして、それらの学習を行いながら、学ぶ意欲や思考力・表現力を高め、自己学習力の育成も図りたい。 集団づくり	0
東八代郡	中学校	浅川中学校	確かな学力の育成	個に応じた指導の充実をとおして	1. 研究内容 (1) 個に応じた支援や指導の工夫 (2) 学習過程（プロセス）に合った教材と指導方法の工夫 (3) 少人数クラス、TTの効果的な指導体制の工夫 (4) 道徳指導の充実 2. 研究方法 (1) 全職員個々の発想を大切に、共通理解を図る中で研究主題、研究目標、研究内容、研究方法を設定する (2) 研究小委員会を組織し、研究を推進する (3) 教科主任を中心とした教科研究の時間を設定し、授業研究を深める (4) 研究授業をとおして、全職員で学び合うとともに、生徒理解	0
東八代郡	中学校	笹南中学校	課題に気づき、主体的に学ぶ心豊かな生徒の育成	基礎基本の定着をはかり、学習意欲を高めるためのルーブリックを取り入れて	昨年度まで3年間にわたり、適切な評価と支援をふまえた授業作りを目指した研究を進め、各教科や道徳での実践を通して成果を上げることができた。本年度は今までの研究の積み重ねから学びながら、基礎基本の定着をはかり、生徒が目的意識を持って学習に臨めるような評価指標（ルーブリック）の理論研究を行い、基礎的な理論の構築を考えている。	0

地 区	校 種	学校名	主 題	副主題	内 容	公開日
東八代郡	中学校	芦川中学校	地域に根ざし、生きる力をもつ生徒の育成	教科指導と集団を生かした特別活動の取り組みを通して	(1)「教科指導」において ①本校生徒の実態の分析をふまえた、各教科の基礎・基本及び身につけさせたい力の確認 ②基礎・基本定着のための具体的手だての検討 ③個を生かす指導、意欲を高める指導を目指した授業実践(1人1実践) (2)「特別活動等」において ①集団づくりの観点からの芦川中学校諸活動の見直し ②年間指導計画の作成	0
東八代郡	中学校	浅川中学校	確かな学力の育成	個に応じた指導の充実をとおして	・研究内容 (1)個に応じた支援や指導の工夫 (2)学習過程(プロセス)に合った教材と指導方法の工夫 (3)少人数クラス、TTの効果的な指導体制の工夫 (4)道徳指導の充実 ・研究方法 (1)全職員個々の発想を大切に、共通理解を図る中で研究主題、研究目標、研究内容、研究方法を設定する (2)研究小委員会を組織し、研究を推進する (3)教科主任を中心とした教科研究の時間を設定し、授業研究を深める (4)研究授業をとおして、全職員で学び合うとともに、生徒理解を深め、手だ	0
西八代郡	小学校	市川東小学校	思いや考えを豊かに表現できる子どもの育成	「書く力」をつける指導を通して	○「書くこと」を中心とした適切な表現力を身につけさせる授業の工夫・改善 1 児童の変容を把握するための実態調査実施 2 「書くこと」を日常化させる指導・評価の工夫 3 「書く力」を高めるための学習指導過程の工夫 4 「書く」領域でのつきたい力を明確にした年間指導計画の作成 ○「書くこと」を中心にして、自らの考えを豊かに表現するための教育活動の工夫・改善 1 日常活動での「書くこと」の意識付け 2 言語環境の整備	心に元気を育む道徳教育推進校
西八代郡	小学校	市川小学校	自ら「見つめ、調べ、まとめ、表現する」子どもたちの育成を目指して	評価と指導の一体化を図った授業の創造	本校では、昨年度までに各教科及び総合的な学習の評価規準の作成を終えている。今年度は、評価規準の有効な活用方法と、評価活動を生かした指導方法や指導形態のあり方を探りながら、個に応じた支援を充実させることで、指導と評価の一体化を図っていきたいと考える。 このような考えで研究を進めることにより、基礎・基本的な内容の定着が図られると共に本校の研究主題である、子どもたちの「見つめる力、調べる力、まとめる力、表現する力」をさらに育成できるであろう。	(国)
西八代郡	小学校	精進小学校	伝え合う力を高め、豊かな心と考え方で学ぶ児童の育成	国語科の「話すこと」「聞くこと」の指導の工夫を通して	○国語科の「話すこと」「聞くこと」の領域において、各学年ごとの目標と指導内容を明確にし系統化する。 ○学年に応じた指導法の工夫。 (教材開発、評価の工夫、学習環境の工夫)	0
西八代郡	小学校	六郷小学校	「学びを問う～かわりって学ぶ授業めざして～」	豊かな授業づくりのプラン化とその具体化	昨年度に引き続き、子どもたちの「算数への興味や関心」を大切にしながら、本校児童の課題と考えられる「数学的な考え方」「表現・処理」の両面を伸ばしていきたいと考える。本年度は、研究副題「豊かな授業づくりのプラン化とその具体化」とし、次のような内容に研究を焦点化していきたい。 単元全体をに見通し、子どもたちの思考を深め練り上げる場面と習熟を図る場面を意識的に構成し、時間の使い方を工夫することにより、「思考と表現」の両面を育てるようにしたい。	山梨県数学教育研究(西八)大会 11月18日

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
西八代郡	小学校	市川南小学校	ひと・こと・ものとのふれあいを通して、道徳的実践行動をする児童の育成	さまざまな体験や地域の人との交流を通して	昨年度から文科省の「児童生徒の心に響く道徳推進事業」推進校の指定を受け研究を進めてきた。研究目標を「学校教育で培った道徳的実践力をもとに地域社会の中で人々とのふれあいや体験活動を通して、自己を肯定的にとらえるとともに他者への思いやりの心を育み、一人一人が人間としてよりよく生きる道徳的実践行動力のある児童の育成を図る。」とし、今年度は、昨年度の研究に基づき ①さまざまな体験活動や地域の人材を活用した道徳の授業の更なる充実 ②さまざまな体験活動や地域の人材活用を生かすため、各教科、特別活動、総合的な学習	(国)児童生徒の心に響く道徳推進事業 11月15日
西八代郡	小学校	富士豊茂小	生き生きと学ぶ合う子ども	～伝え合う力を育てる活動を通して～	昨年までは、地域性を生かした本校独自の教育過程の再編成と評価基準の作成をし、地域の実態を生かした教材の発掘や、児童の主體的に学習する力や態度を育ててきた。しかし実践する中で、まとめ、表現するためには、その基礎となる言語の力が必要であるという課題が出てきた。そこで今年度は、教科を国語に絞り、伝え合う力を育てるための研究を進めていくことになった。対象に分かるように伝え、お互いの考えや気持ちを交流し合うことで、お互いを理解することができる。国語力は生きる力を支えるもととなる力である。今年度は研究	0
西八代郡	小学校	大塚小学校	心身ともにたくましく主体的に活動する子どもを目指して	—— 人やものを大切に にする学習を通して——	金銭教育の指定を受け2年目である。金銭教育というと、お金・物といった即物的な感覚を抱きがちだが、日常用いている物や金銭を通じて、具体的な日常生活に密着してものを大切にする心、人を大切にする心、つまり「心の教育」を行うことになる。それは、人間らしい心を育て、力強く生きる児童を育成することになる。本校では、金銭教育を「人やものを大切に学習」ととらえ、教育課程に位置づけ実践していきたい。具体的な研究内容としては、①「人やものを大切に学習」についての学習内容・活動・指導法・教材等はどうあるべきか	金銭教育指定校 7月8日
西八代郡	小学校	市川小学校	自ら「見つめ、調べ、まとめ、表現する」子どもたちの育成を目指して	指導と評価の一体化を図った授業の創造	本校では、昨年度までに各教科及び総合的な学習の評価基準の作成を終えている。今年度は、評価基準の有効な活用方法と、評価活動を生かした指導方法や指導形態のあり方を探りながら、個に応じた支援を充実させ、指導と評価の一体化を図った授業作りをしていきたいと考える。さらに、基礎・基本的知識や技能の習得を目指した教材開発を積極的に行いたい。 また、研究対象とする教科を算数とし、学力分析を実施しながら研究の成果と課題を考察していきたい。	(国)学力向上拠点形成事業
西八代郡	小学校	上九一色小	自ら学び心豊かに生きる児童の育成	国語科における基礎・基本の確実な習得をめざして	(1)国語科の「読むこと」の領域における基礎・基本についての理論研究 (2)各学年の言語事項での基礎的事項習得の計画(効果的な漢字学習について) (3)「読むこと」の領域で基礎・基本の確実な定着を図る指導と評価の研究 (4)コンピュータ等教育機器の活用を高める研修	0
西八代郡	小学校	上野小学校	自ら生き生きと学習に取り組む子どもの育成をめざして	実践をとおして伝え合う力をどう育てるか	「話し合い活動を日々の授業に取り入れた教材研究、聴き合い・受けとめ合う関係作り、書く活動での思考過程を探った実践を工夫することにより、一人ひとりの子どもたちに伝え合う力が向上し、生き生きと学習に取り組む児童が育つであろう。」 以上の研究仮説をたて、研究授業を中心に仮説の検証をしていく。	0
西八代郡	中学校	六郷中学校	心豊かで意欲的に活動する生徒の育成	・確かな学力を身に付ける指導方法と学習形態の工夫と改善 ・心身の健康問題を解決する力を育てる保健教育の充実	(1)確かな学力を身に付ける指導方法と学習形態の工夫と改善の実践 ①「確かな学力」への指導の手だての明確化と実践 ②指導方法の工夫、学習形態の工夫、評価・支援の工夫の具体化 (2)心身の健康課題を解決する力を育てる保健教育の実践 ①西八プランの内容と学習指導要領の内容を照らし合わせて、生徒たちの内面にせまる保健の授業を実践していく。 ②今日的な健康問題である心の健康について取り上げ、より充実した保健指導を実践していく。 ・心の健康については、スクールカウンセ	(山梨県数学教育連合会) 公開授業(数学) 11月18日(金)

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
西八代郡	中学校	三珠中学校	主体的な学習活動を促す指導の工夫	自己評価と学習指導の工夫	各教科などの指導において、生徒一人一人がより主体的に学習に取り組むために、学習内容の理解の定着を基にした適切な評価や指導の工夫を明らかにする。学習の振り返り、学習の評価をより具体的にを行うための指導法の開発。	0
西八代郡	中学校	市川中学校	人間性あふれる生徒の育成	～「確かな学力」育成のための学習活動の充実～	「確かな学力」を育成するために本校生徒の学習にかかわる実態を把握し、そのデータをもとに、ブロック研究、全体研究を通して研究を深めたいと考えている。 ①本校生徒の学習における実態調査及び分析(学力分析テストの実施、学習意欲、学習実態等)の調査および分析等) ②教員の実践的指導力向上のための方法の研究開発(先進事例の研究、TT授業の研究、少人数指導の研究、研究授業における課題設定等) ③家庭学習の定着、学習意欲の向上、ノートの取り方等、家庭学習を含めた学習スキル育成の方法の研究開発等	(国)学力向上拠点形成事業
西八代郡	中学校	上九一色中学校	自ら学び、考え、主体的に行動することのできる生徒の育成	「総合的な学習の時間」における上九中プランの実践と検証	・昨年度作成した「総合的な学習の時間」のカリキュラムについて、授業実践を等しての検証に取り組む。 ・学習会や授業準備で得た資料と授業実践で使用した教材を幅広く収集し、共有の財産とする。	0
西八代郡	中学校	市川南中学校	「自ら考え、判断し、主体的に活動できる生徒の育成」	～豊かな人間性を育む道徳教育と「確かな学力」の向上のための実践を通して～	研究仮説①各教科指導において、個に応じたきめ細やかな学習指導を工夫することによって学習意欲が高められ、「確かな学力」の向上が図られるであろう。研究仮説②道徳の時間において、生徒の感性に訴える「心に響く道徳の時間」を創造することによって、生徒は心を動かし、自己を振り返り、自分の生き方を考えていくことができるであろう。内容1. 「確かな学力」の定着につながる各教科の授業の研究と実践 各教科における「確かな学力」を身につけさせるための手だて・工夫を考え、実践する。内容2. 豊かな人間性や社会性を育む道	心に元気を育む道徳教育推進事業 11月26日(日)
西八代郡	中学校	久那土中学校	「学び」を中心にした授業の創造	なし	「学びから逃走する生徒」を一人も出さないことを目指して、すべての生徒の学びを保障することに日々の授業の中で取り組んでいく。全職員が研究授業を提供し、「生徒の動き」を中心に授業研究会を行いながら研究を深めていく。	0
南巨摩郡	小学校	増穂南小学校	主体的に活動し 共に学び合う子	自分の考えを伝え会える子どもを育てる	「言葉(話し言葉)で伝え会える子どもを育てる」ことを研究の中心に据えて、①自分の思いを伝えられる(信頼関係を築く)②学習に対する意欲を持つ(子どもの興味関心を高める)③自分の考えをしっかりと持つ④意見交換の場を授業の中で設定する⑤自己評価をする⑥子ども一人ひとりに視点を当て、個の考えや変容をみとる指導を研究の柱として全教科で取り組んでいく。また低学年では興味関心を高めることに重点を置き子どもが課題に対して意欲的に向き合う姿勢を育て、高学年では課題を自分のものとしてとらえ、子ども同士で話し合い	0
南巨摩郡	小学校	五開小学校	夢を育む「生活科」と「総合的な学習の時間」の充実	一国語科との関連の研究を通して一	○「生活科」「総合的な学習の時間」の学びを支える国語力の充実 ○「生活科」「総合的な学習の時間」と国語科との関連の見直し ○ねらいを達成するための「生活科」「総合的な学習の時間」と国語科の単元設定 ○「生活科」「総合的な学習の時間」と各教科の発展的内容との関連	0
南巨摩郡	小学校	身延南小学校	豊かな人間性の育成をめざす教育	子ども一人ひとりに生きる力を育む授業の創造	(1)生きる力を育む授業づくりをする ○個を生かす授業の創造(低中高のブロックごとに組織作りをする。研究計画の作成に基づいて授業案作りをし、授業案の検討・研究授業を主題に迫る研究をする。) ○絶対評価の研修(評価基準・指導と評価の一体化を図る等) (2)コンピュータの研修をする(夏休みを利用して実施) (3)教育課程の見直しをする ○教育目標達成の方向に向けて収束するよう共通理解を図り、今年度の実践を基にしてH18年度の教育課程を編成する。	豊かな体験活動(命の大切さを学ぶ体験活動)
南巨摩郡	小学校	西鳴小学校	「学ぶ意欲を支える授業の創造」	～算数科・生活科の授業づくりの研究を通して～	主題に則った研究を通して、子どもたちの「創意工夫しようとする心」「問題に気づき、解決しようとする心」を育む指導の手だてを探る。 授業研究を通して、互いにアイデア、指導方法を学び合い、力量を磨き合う中で効果的な授業展開の在り方を発掘し、積極的に仮説提供をする。 研修として、各界の様々な取り組みを研究し、授業に生かせる指導法や素材、学習形態などを積極的に研究に取り入れる。	県・「学びの意欲向上推進事業」



地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
南巨摩郡	小学校	鰺沢中部小学校	豊かでたくましい心を持った子どもの育成	自然や地域に学ぶ道徳教育の推進	道徳教育を中心にして「豊かでたくましい心」を育てる教育を充実させていく。地域や家庭とも相互連携を図りながら道徳的実践活動を通して児童の心に元気をはぐむ道徳教育の充実を図っていく。具体的な研究内容として ◎体験活動を生かした指導の実践 ・推進◎家庭・地域と連携しての道徳的実践活動の推進◎道徳全体計画や年間指導計画の見直し * 道徳の時間と各教科・総合的な学習の時間などとの関連を図る * 道徳の授業の進め方 * 研究授業の実践 * 資料の開発と指導法の研究 等を行っていく。	(県)心に元気をはぐむ道徳教育推進事業
南巨摩郡	小学校	増穂西小学校	確かな学力を育てる授業の創造	教科学習における、楽しさと充実感のある学びを通して	●教科学習(国語)における「楽しさと充実感のある学び」を目指した学習指導のあり方 * 国語科で育てる学力と基礎・基本の明確化 * 「授業作りの視点」の検証 * 小規模校の特性を生かした授業作り ●複式学級による学習指導のあり方 ●国語力向上を目指した全校的な取り組みの充実(読書の時間・スピーチ集会など)	増穂町研究指定校2 年次目 10月2 8日(金) 授業公開 のみ
南巨摩郡	小学校	栄小学校	豊かな心を持ち、生き生きと活動できる子どもの育成	国語力を高める、確かで豊かな「読む力」の育成	1 確かな読み、豊かな読みを育てる指導法の工夫 2 国語力についての理論研究と共通理解 3 「読むこと」における意図的、計画的な単元構想の構築 4 指導と評価の一体化	0
南巨摩郡	小学校	富河小学校	自ら学び、たくましく生きぬく子どもの育成	自分の思いや考えを生き生きと表現できる子ども	「自己表現力」の育成を中心に研究活動を推進する。具体的には、①各教科、指導過程における意図的な場の設定 ②支援のあり方、学習形態、評価方法の工夫 ③研究主題に関わる学校行事、児童会活動、日常の諸活動の充実 の研究に取り組む。	0
南巨摩郡	小学校	静川小学校	「一人ひとりに適切な教育支援の在り方」	支援の積み重ねを大切にしたい体制づくりを通して	・実態把握のための観点として、学習・行動・コミュニケーション・対人関係等、項目 や内容を検討し、調査を実施する。 ・児童のさまざまな実態に応じた支援・指導法について、研修する。 ・児童が学習や生活の中でつまずき、抱いている「困り感」の背景を解明し、適切な具体的支援の手立てを探る。 ・支援・指導を繰り返し行い、児童に自信をつけさせる支援を探る。 ・「生きる力をもった子ども」とは、学校教育目標にある「夢や希望をふくらませ、未来を拓く生きる力をもった子ども」と捉え、具体的には、つまずいていることや困	0
南巨摩郡	小学校	鰺沢小学校	心豊かに、たくましく生きる力を育てる教育の創造	コミュニケーション能力を高める指導を通して言葉を育てる言語指導を通して	・各学年毎にコミュニケーション能力に関する到達目標を作成する。 ・到達目標に関して、検証授業を行う。 ・教師、児童を対象にコミュニケーション能力に関するアンケート調査を行う。 ・コミュニケーション能力についての理論学習を行う。	0
南巨摩郡	小学校	万沢小学校	「基礎的学力」とは何か、を求めて	算数科の授業の中での基礎的学力を明らかにする。行事の充実をはかり、地域とのつながりを深める。	「算数の基礎的な学習内容をより理解させるための指導」を工夫した授業づくりを行う。また、昨年度から取り組んでいる算数カルテ案を具体的に実践し、算数科における基礎・基本事項の整理(再確認・再構成・精選)、一人ひとりの算数の学力を確認し、基礎学力を保障する手立てとする。行事の充実では学校行事「ひいらぎ祭」を中心に地域の素材や学習内容を生かして、脚本作り、劇作りに取り組む。	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
南巨摩郡	小学校	睦合小学校	自分の思いを表現し、心豊かに伝え合う睦っ子の育成	0	本年度は「心をたがやす国語力向上推進事業」の拠点校としての指定を受けての2年目にあたる。昨年度の研究の成果を生かしながら自己表現に焦点をあて、次の4点を研究の中心において「心ゆたかに伝えあえる睦っ子」の育成を目指していく。 ・国語科の授業の中で「読む」「話す・聞く」「書く」のそれぞれの領域から一領域を選び、その中で自己表現について考える授業を行う。 ・全校的な活動の中で培われる表現について考え、活動を充実させる。 ・家庭・地域との連携を密にし、協力を得ながら研究をすすめる。 ・各教科	心をたがやす国語力向上推進事業
南巨摩郡	小学校	原小学校	豊かな心を持ち、自立を目指す子どもの育成	共に学び高め合う算数科の授業を通して	(1)基礎基本の定着について ・基礎基本を定着させるために、昨年度の研究を継続し児童の学力における実態を明らかにするとともに、一人ひとりの児童への支援方法をさぐる。 (2)教材の開発について ・子どもの興味を惹きつけ、単元の本質に迫る教材を開発していく。どんな教材にどう出合せ授業をどう構成するか研究する。 (3)学び合う関係づくりについて ・子ども同士の学び合う関係性をどう構築していくか、授業研究を通して研究していく	0
南巨摩郡	小学校	増穂小学校	実感のある学びを育む授業の創造	「総合」・生活科の学びの視点を生かした授業活性化をめざして	・これまでの積み上げにより明らかにしてきた「総合」「生活科」の学びの視点を生かした授業づくりについて、理論(大学研究者招聘)と実践(生活科・総合・国語科・算数科の授業実践)両面から研究していく。 ・「総合」「生活科」のカリキュラム開発と地域・保護者の学習参加を生かした授業づくり研究。 ・授業研究会の質的向上をめざす研究。(リフレクション研究・フリーカード活用研究) ・特別支援教育研究(大学研究者等招聘)～通常学級の在り方も含め ・各教科における基礎基本の定着についての実践研究	0
南巨摩郡	小学校	早川北小学校	自ら学び、行動する児童の育成をめざして	「確かな学力」の定着を目指した国語力の向上	研究の内容 (1)本校の国語科評価規準の有効活用の方法を探る。 (2)「自ら学ぶ力」の裏付けとなる基礎基本を明らかにし、その徹底を図る。 (3)朝活動の漢字と読書の時間を活用する。 (4)特別支援教育について、全職員の共通理解のもとに指導が行われるよう学習会を持つ。 (5)道徳教育についての学習会を持ち、各学年の指導案を作成し実践する。 (6)総合的な学習の時間に位置づけている「わらべどんぐり祭りの劇づくり」について今年度も継続して、実施記録を残し、共有の財産とし	0
南巨摩郡	小学校	身延北小学校	「生きる力を育む教育活動の創造」	かかわり合い、学び合う授業づくり	1. 授業づくり 子どもたち一人ひとりが主体的に、また、より発展的に学びを深めていくことをめざして、授業づくりを中心として研究をすすめていく。子どもたちが学ぶ力を高めるために「かかわり合う」と「学び合う」ことに焦点をあてて授業をつくる。 ○低、中、高学年ブロックごとに研究計画をたて、主題にせまる授業づくりを行う。 ・「かかわり合い・学び合い」を重視した授業づくり ・子どもたち	0
南巨摩郡	小学校	下部小学校	自ら考え、主体的に学ぶ児童の育成	かかわり合い、学び合う授業づくり	今年度は、昨年度行った3つの段階での授業研究「合同の授業研究」「授業」「授業後の学習会」を続ける中で、授業作りを中心として研究を推進していきたい。また、子どもたちが学ぶ力を高めるために、「かかわり合う」ことに焦点を当て授業を考えていきたい。「かかわり合う」対象としては、もの・人・自分が考えられる。教材や社会(人・事象)自分とのかかわり、友達の考え方と自分とのかかわりを意図的に授業に仕組むことによって、自分と他者との「学び合い」が生まれる。このことにより、主体的に学ぶ子どもの姿が期待できるだろう。また、子	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
南巨摩郡	小学校	身延東小学校	異文化を学び、共に生きようとする子どもの育成	国際理解教育(英語学習)を通して	①本校なりの国際理解教育(英語学習)のめざす目標の明確化 ②国際理解教育(英語学習)のカリキュラムの検討と再構築 ③ALTと学級担任の英語学習授業における役割分担や関わり方の研究 ④学級担任にもできる英語指導の方法や教材の研究 ⑤国際理解教育と地域との関わり方の研究 ⑥国際交流会の企画・運営 ⑦基礎・基本の学力の明確化と実践 ⑧「生命の教育」の推進	レッツチャレンジ小学生英語活動推進校
南巨摩郡	小学校	身延西小学校	学びを楽しむ子どもの育成	読む力を高める指導の研究	主体的に学びを楽しむ児童を育てるために、基礎学力、中でも「読む力」に焦点を絞って、 ①「読む技術」を習得させるための指導の研究 ②「本を読みたい。」「最後まで読み通したい。」という意欲を持たせるための指導の研究。 ③「読書環境の整備」の手立ての研究。 に取り組む。	0
南巨摩郡	小学校	早川南小学校	「自ら取り組み、生き生きと活動する児童の育成」	～小規模校の特性を生かした学習活動の工夫～	(1)小規模校の特性を生かした「国語力」をつける学習活動工夫 ・教育活動全般(教科、道徳、総合的な学習の時間、児童会活動、吹奏楽)における指導の在り方 ・基礎基本(言語能力)を身につける学習活動の工夫 ・個に応じた学習指導方法の工夫 ・学習意欲を高める自己評価の工夫 ・読書活動の工夫(全体活動) ・「学びっこタイム」の継続研究(全体活動) (2)高度情報通信設備の特性を生かした授業作りのためのしよくいんコンピュータ研修	0
南巨摩郡	小学校	久那土小学校	響き合い、共に育ちあう授業をめざして	個人研究・国際理解教育にどう取り組むか	①個人研究テーマの設定とそれに基づく個人研究。 ・各自が本年度挑戦すべき課題を明確にし研究に取り組む。 ・個人研究について交流し、互いに学びあう。 ・各自が1年間に1回以上授業を公開する。 ②国際理解教育の充実。 ・週1回の「国際」の時間の活動作りに取り組む。 ・国際交流活動に取り組む。 ・国際理解教育を充実させるための環境作りに取り組む。 ・英語活動について学習を含める。 ③子どもの学びと教師の対応を中心課題とした授業研究会の企画。 ・教師一人	(県)レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業
南巨摩郡	中学校	南部中学校	自ら学び、進んで活動できる生徒の育成	伝え合う力を育む生徒活動をめざして	○「国語力の向上」のための指導や学習方法を探る。 ○生徒の「伝え合う力」の実態を明らかにし、実態を考慮した指導方法の工夫改善を図る。 ○互いの立場や考えを尊重しながら「伝え合う力」の育成を図るための学習方法を探る。 ○日常生活の中で「話す力、伝え合う力」を身につけるための方策を探る。 ○話す場・伝え合う機会を増やし、討議のあり方を探る。 ○伝え合うことに関心・意欲を高め、自分の伸びを実感できる評価のあり方を探る。 ○言語環境の整備に努め実践を重ねる。 ○「学校だより」の発	(県)心をたがやす国語力向上推進事業 公開はしない(ただし近隣校にはオープンスクールとして案内を出す予定)

地区	校種	学校名	主題	副主題	内 容	公開日
南巨摩郡	中学校	増穂中学校	「主体的に学び、活動する生徒の育成」	生徒の学習意欲を高める授業づくりを中心にして	組織と活動 ①授業研究を中心に進め、全体研修と学年研修の2つの研修を組み合わせで行う。 ②教科部会と専門部会の2つの部会を設け、全員が所属する。 ③教科部の活動は適宜教科部会を開き行う。 ④専門部の活動は責任者を中心に年間活動計画に則り活動していく。 ⑤本校生徒の生活の実態を把握するために、「家での過ごし方調べ」を実施し、年度の本校データおよび全国データとの比較を行う。 ⑥本校生徒の学力の実態を把握するために、NRTを実施し	昨
南巨摩郡	中学校	鯉沢中学校	活力にあふれ、人間性豊かな生徒の育成	生徒に基礎的・基本的学習内容を理解させるために指導の研究	授業研究を中心に、個に応じた教材の開発や指導方法の工夫などを研究していく。	0
南巨摩郡	中学校	身延中学校	『自ら学び意欲的に活動する生徒の育成』	確かな学力の向上をめざす、個に応じた学習指導の工夫	(1)個に応じた学習指導について 個に応じた学習指導(教材の開発、指導方法、指導体制)は、授業研究の柱として、継続研究していく。また、これらを含めた、単元構想づくりを進める。 (2)評価について ア 各教科において、単元の始めのガイダンスで、授業計画や評価の観点を提示する。 イ 授業での評価をどのようにしたら有効であるか、自己評価や相互評価などを改善しながら、学期末の評価につなげていく。 ウ 学期末には、学習評価表を作成し、生徒、保護者向けに提	0
南巨摩郡	中学校	万沢中学校	「生きる力の基盤としての豊かな心の育成」	「表現力の育成を通して～自己を知り、他者を認める集団づくりの実践～」	本校の教育目標は「豊かに生きることのできる力を持つ生徒の育成」である。「豊かに生きる」とは、「いかに他者と分かち合えるか」ということだと定義されている。本校では、その教育目標に基づき、同一研究主題のもと、毎年違う角度から具体的な研究を進めている。平成15年度からは、「生徒の自主性、自己表現力の弱さ」という課題点を克服するため「表現力の育成」をテーマに「豊かな心の育成」に迫る研究を行っている。この年は、「表現力とは何か」という理論研究と「『発表力』の向上」を中心に研究を行った。平成16年度は、前年の研究を	0
南巨摩郡	中学校	下部中学校	確かな学力をもつ生徒の育成をめざして	授業を核とした学びの創造	(1)教科での確かな学力の定着(授業を通して実践)(教師サイド的研究) (2)学びの原因作り(アンケートなどを通して検証)(生徒サイド的研究) 文部科学省で定義している「確かな学力」は本校の教育目標とも合致しており、今年度本校では授業を核とする中でこの確かな学力をつけさせていきたい。全職員が研究授業を行いながら研究を進め、深めていきたい。	0
南巨摩郡	中学校	下山中学校	自ら考え主体的に判断し、行動できる生徒の育成	セルフ・エスティームを育む教育活動を通して	(1)エスティームカードや心理検査等を手がかりに、全職員が一人ひとりの生徒理解をする。個々の生徒理解をもとに、様々な場面での指導に生かす。 (2)授業や学級経営、特別活動などの場面で、セルフエスティームを育む手だてを積み重ねるとともに、それらの実践を研究会の場で交流し、共通のものとする。 (3)授業研究会を実施する。 (4)「クエスチョンタイム」「校内検定(英単語・計算・漢字)」などを実施する。 (5)「ようこそ先輩！」を設定し、進路学習を充実する。	0
南巨摩郡	中学校	中富中学校	わかる授業・生き生きとした生活の創造	新しい自分をさがし続ける生徒	教科(課題解決的学習)、道徳(エンカウンター、アサーション、自分を見つめる)、特別活動(同年齢集団の中での人間関係)、総合的な学習の時間(ふるさとを考える3カ年計画、プロジェクト型活動)、部活動(縦割り活動を通して人間関係を学ぶ)など、学校生活の中でまんべんなく取り組み、生徒が新しい自分を見つけられるようにしていく。	(県)勤労生産学習 この指定とは別に毎年自主公開をしています。今年は11月4日の予定です。
南巨摩郡	中学校	富河中学校	21世紀を主体的に生きる生徒の育成	評価を生かした授業づくりと道徳心を育む道徳授業の工夫	①自己評価力を高める工夫(自己評価表の工夫・評価規準を生徒と共有する工夫)②生徒への支援の工夫(評価Cの生徒への支援・個に応じた指導の工夫)③道徳的価値の自覚を深める道徳授業の工夫(指導形態の工夫・指導方法の工夫・資料の工夫・生徒の内面に即	心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業
南巨摩郡	中学校	早川中学校	『生きる力を育てる早川中教育の創造』	「表現力を高める指導の工夫」	(1)合唱活動を通して、音声、表情、感情等の生徒の自己表現力をどのように向上させるか。 (2)授業研究を通じ、生徒の表現の場や表現の方法について研究し、どのように生徒の思考	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
韮崎市	小学校	韮崎北東小学校	英語に親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成	～楽しく聞いたり話したりする英語活動を通して～	○聞く・話す英語活動を積極的に取り入れた教育課程の作成 ○聞く・話す英語活動を積極的に取り入れた授業研究 ○聞く・話す場面での評価のあり方  英語活動や国際交流活動のねらいや基本的な考え方を検討し、年間指導計画に基づいた展開案を授業実践し、指導方法の研究を行う。特にコミュニケーション場面での場の工夫、教材教具の活用と評価について調査研究を進める。他にも調査統計を通して子どもの実態や国際理解活動の成果を明らかにしたり、教職員の英語研修を通して、国際理解教育を深	(県)レッツ・チャレンジ小学校英語活動推進事業
韮崎市	小学校	韮崎小学校	生き生きと自ら学ぶ子どもの育成	子どもたちの「確かな学力」の定着を目指して	学習指導要領に示される基礎・基本の学力を確実に定着させるために、一人一人の児童をしっかりと見つけ、その学習状況や理解度を的確に把握し、指導に反映していく研究を行う。また、教員の実践的指導力を向上させるために、教員全員が研究授業を行い、児童の学習意欲向上や知識技能の定着につながる教育技術・教材研究、児童理解の方法等の研修を深	(国)学力向上拠点形成事業
韮崎市	小学校	韮崎北西小学校	「生きる力」を育てる	一豊かな心の育成の要としての道徳の授業を通して一	子どもたちに『生きる力』を育てるためには、その核となる「豊かな心」を育む必要がある。豊かな心の育成のために、要としての道徳の時間を充実させ、子どもたちの心に響く授業を積み重ねていく。まず、児童の実態を把握し、各学年における育てたい児童像を設定する。それを基に道徳の年間指導計画を見直し、修正する。また、ブロック毎に仮説をたて、検証授業を行っていく。12月の授業参観では、全クラス道徳の授業を行い、懇談会では授業を基に子どもたちの心の育ちについて話し合う予定です。	0
韮崎市	小学校	甘利小学校	意欲を持ち、主体的に学習に取り組む子どもの育成	～一人ひとりが学ぶ楽しさを実感できる学習指導の工夫と改善(算数科を通して)～	算数科において、指導計画及び評価計画を立て、座席表を用いた観察・スモールテスト・学習感想などの具体的な評価を生かしながら指導法を工夫・改善すれば、児童に確かな学力が身についていくであろう。そのために、次のような研究を行っている。 ①基礎的・基本的知識や技能の習得をめざした指導法の工夫と教材の開発 朝学習のワークシートづくりと活用法の研究 ②個に応じた指導のための指導方法・学習形態の工夫と改善 ③子どもたちの学力や意識の実態の調査・分析 ④指導と評価の一体化 評価計画を指導	0
韮崎市	小学校	穂坂小学校	自ら学ぶ児童の育成	国語力を身につけさせる指導の工夫	国語の時間において特に「話す・聞く力」を伸ばすための指導の工夫を研究していく。基本的な学習規範はもちろん、国語の時間を中心とした「話す・聞く」力を育てるために、どのような指導が有効であるかを授業で検証していく。その際に、ポートフォリオや自己評価のできる場の設定もして授業に取り入れたい	0
韮崎市	中学校	韮崎西中学校	『人間性豊かな生徒の育成』	「豊かな心を持ち、主体的に自己表現できる生徒の育成」 サブテーマ ～人・地域・社会との関わりを通して～	「総合的な学習の時間」を中心に研究を進め、心に響く授業づくりの可能性を探っていく。また豊かな心を育てるため、学習の中に実践活動をとりいれたり、地域社会の方々との連携も探っていく。 ①学習計画の作成 学習目標の明確化、他領域、教科との関連 ②指導方法の工夫 「自己表現の場の設定」、教材資料の開発、地域人材との連携	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業 7月12日
韮崎市	中学校	韮崎東中学校	「生きる力」をはぐくむ学習活動の研究	・総合的な学習の時間の充実と評価方法について ・確かな学力と伝え合う力を育てる国語力の育成	①昨年度再構成された3年間を見通した総合的な学習の時間のカリキュラムの検証と評価方法の検討をする。 ②「心をたがやす国語力向上推進事業」の2年目として、昨年の成果や課題をもとに確かな学力と伝え合う力を育てる国語力の向上をめざし、学校教育全体に生かされるような効果的な学習活動を考え、学校と家庭が連携して言語環境を整えられるようにする。 ③確かな学力を身につけるための教科等の指導の工夫・改善を図り、より適切な評価ができるように評価規準の検証や見直しをする。	(県)心をたがやす国語力向上推進事業
北杜市	小学校	長坂小学校	よりよく生きようとする力を育む学校づくり 一人との関わりを通して一	0	道徳教育を中心にして、地域や家庭だけでなく子供たちや教師と子どもなど人との関わりを通してよりよく生きようとする力を育めるような研究を進める。 道徳の授業公開を行い、地域や家庭への啓蒙も図る。	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
北杜市	小学校	高根北小学校	自ら考え、生き生きと活動する児童の育成	「伝え合う力」の向上をめざして	昨年度からの内容を継続して取り組む形を取る。児童の力の向上は見られたものの個人差があるため、今年度も続けて研究をし、全体的な底上げをしていきたい。領域は国語の「話す・聞く」をメインにとらえるが、お互いに自由に見合っていくような場面では、他の教科・領域でもかまわない。理論研究を進めて、何のために研究をしていこうとするのか共通理解していく。学級担任だけでなく教務も含めて一人一実践していく。研究授業は国語で行う。各学年の話し方・聞き方の基準となるようなものを作成していく方向で考えていく。	心に元気をはぐむ 道徳教育推進事業
北杜市	小学校	白州小学校	確かな表現力を持った児童の育成	国語科の「話すこと・聞くこと」の指導を中心として	昨年度に引き続き児童の「話すこと・聞くこと」の学習において学習指導の工夫をするとともに、学校生活の中で表現する機会を生かすことを中心に研究を進めていきたいと考える。具体的には ①「話すこと・聞くこと」の具体的客観的評価基準の作成・検討 ②国語科における「話すこと・聞くこと」の授業実践 ・「話すこと・聞くこと」に関わる単元の見直し ・「学習指導の工夫」の検討・検証 ③学校生活の中での場の生かし方 ④児童の実態調査の実施	0
北杜市	小学校	高根清里小学校	「一人ひとりの基礎学力を向上させる学習指導のあり方」	～読み・書き・計算の指導を通して～	本校では、昨年度から「読む力」「書く力」「計算する力」を基礎学力と捉え、それらを確実に身につけるための学習指導の方法を探り、実践することで基礎学力の向上を図ってきた。繰り返し読むことによって音読に親しむこと、漢字を確実に身につけること、百ます計算を行い、計算を速く正確にできるようにすることに取り組んできた。繰り返しを中心とした学習では、集中力や持続力などの学習能力や学習の構え、学習意欲の向上にも効果があるのではないかと考え、実践してきた。その効果については、はっきりとした形に残すことはできない	0
北杜市	小学校	増富小学校	自ら学ぶ子どもの育成	国語科における「確かな学力」を身につけさせるための学習指導のあり方	○児童・保護者の実態を把握し、実態に即した研究を進めると共に、研究推進による児童の変容を検証する。 ○国語科における「基礎」「基本」「確かな学力」について確認し、共通理解を図る。 ○国語科における「確かな学力」を身につけさせるための学習指導のあり方について研究、実践する。 ○授業研究を通して、「確かな学力」を身につけさせるための活動・教材開発を行う。 ○学習の習慣化のための方策を探りながら、児童に主体的な学習習慣の定着を図る。 ○地域や保護者の協力を得るために、学校の教育活動について	0
北杜市	小学校	高根西小学校	自ら学び 豊かな国際感覚を身につけた児童の育成	英語活動の実践を通して	①本校の英語活動に関する指導計画及び授業案を、実践を通して再検証し改善する。次の事柄を保存し、来年度に引き継いでいく。 ○実践日の記録 ○実践を通しての授業案の改善(時間配分・授業の流れ・教材など) ○次年度の参考となる事柄の記入 ○職員相互の授業参観 ○実践を通しての情報交換 ○他学年との指導内容の系統性・関連性の確認 ②国際理解学習(集会)を計画し実施する。 次の事柄を保存し、来年度の参考とする。 ○実施日 ○国際理解学習(集会)の流れ ○講師について(氏名・国籍・講師依	レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業
北杜市	小学校	秋田小学校	よく考える児童の育成	学ぶ楽しさを味わえる授業の創造	1 本校算数科における基礎的学習内容の確認 2 算数的表現力についての理論研究 3 理論的思考力・算数的表現力を高めるための「思考過程の展開」を取り入れた授業づくり	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
北杜市	小学校	泉小学校	自分の思いや考えを伝え合う力を育てるために	国語力向上を目指した国語科「話すこと・聞くこと」の指導を中心として	1 国語力向上に向けた国語科「話すこと・聞くこと」の指導の工夫の研究 (1)身に付けさせたい基礎・基本の力をもとにしたカルテ作成 (2)国語科「話すこと・聞くこと」年間指導計画作成 (3)5つの言語意識を大切に伝え合う言語活動の具現化 ①活動形態(独話・対話・会話) ②指導技術(資料・ワークシート・発問・板書・教具など) ③場の設定(全体・少人数グループ・2人組など)  2 国語力向上を支える基礎・基本および言語環境についての研究  (1)読書活	
北杜市	小学校	須玉小学校	心豊かにたくましく生きる子どもの共育	算数的コミュニケーションを通して「確かな学び」を育てる授業の創造を中心として	◎算数的活動の一つとしての算数的コミュニケーション能力を高めるための指導法についてのモデルを作り、各学年の発達段階に応じた指導の工夫をしていく。これによって、学ぶことの楽しさや充実感を味わわせ、基礎基本の確実な定着をはかるとともに、人との関わり合いの中で学び合い高め合う姿勢を伸ばしていく。 ◎子どもたち一人一人を見取る評価と指導の一体化を図る。昨年度取り組んできた「学習感想」の研究をさらに進めていく。	0
北杜市	小学校	小泉小学校	心豊かな児童の育成	一人一人が進んで伝え合う学習をめざして	研究テーマにせまるため、内容を①道徳の時間における、心を動かすような話し合い活動のあり方②道徳的実践力をはぐくむ授業の創造③発達段階にあった発表の仕方・話の聞き方・話し合いの仕方④全学習活動における豊かなコミュニケーション能力の育成として進めていく。すべての学習活動において、自分なりの考えを発表したり、同時に友達の考えを素直な気持ちで聞いたりする態度の育成を図ったり、また学習過程の中に意図的・効果的に話し合い活動を取り入れたりして進めていく。特に、道徳の授業においては、発達段階にあった	心に元気をはぐくむ 道徳教育推進事業 10月21日
北杜市	小学校	日野春小学校	豊かな心を持ち、主体的に考え、実践する子どもの育成	生きる力を育む授業をめざして	・算数的活動を通して、学ぶことの楽しさや充実感を味わうとともに、確実に基礎、基本を定着させる。 ・子ども同士の関わりを仕組む中で、子どもたちの思考を豊かにし、より確かなものにしていく。 ・自己評価能力を高めることが生きる力を育むために重要な役割を果たすことを考え、評価活動の中に自己評価活動を取り入れていく。 ・自己学習力との関わりを考えながら、自己評価活動に取り組む。	0
北杜市	小学校	須玉小学校	心豊かにたくましく生きる子どもの共育	算数的コミュニケーションを通して「確かな学び」を育てる授業の創造を中心として	・算数的活動の一つとしての算数的コミュニケーション能力を高めるための指導法についてのモデルを作り、各学年の発達段階に応じた工夫をする。 ・算数的コミュニケーション能力の育成を通して、人との関わり合いの中で、学び合い高め合う姿勢を伸ばすとともに、学ぶことの楽しさや充実感を味わわせ、基礎基本の 確実な定	0
北杜市	小学校	武川小学校	自ら学ぶ意欲を高めるための学習指導のあり方	社会科・家庭科の学習を通して	今年度、県から学びの意欲向上推進事業指定校として社会科と家庭科を研究することになりました。そこで、まず〇2教科についての「基礎基本・その教科の本質」についての共通理解を図り〇学習意欲・学力分析から、子供たちにどのような力を身につけさせたいかを明確にする〇子供たちが意欲的に学習をするためのわかる授業作り〇目標に準拠した評価のあり方〇教育課程の見直しを研究することになりました。その他、日常の授業実践・研究授業や実践発表を行い、2年間を通して子供たちの変容などをとらえながら研究を進めていきたいと考	学びの意欲向上推進事業指定校

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
北杜市	小学校	高根東小学校	自ら学び、自ら考え、行動する児童の育成	国語力を高め、生きる力の育成をめざして	(1)児童の実態把握 観察 3学期・・・観察、学力テスト結果  (2)国語科「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」領域指導の授業研究 ひとりー実践  (3)「話す力・聞く力・書く力・読む力」を伸ばすための日常実践の研究  (4)言語環境整備・掲示の工夫 (5)発表の場の検討(かやのみ集会)	1学期・・・ 0
北杜市	小学校	明野小学校	美しい日本語を話す子どもを育てる国語科の指導に関する研究	ルーブリックを活用した指導と学習過程の工夫を通して	1 研究のねらい ・国語科の「話すこと・聞くこと」の指導において、ルーブリックを活用した指導法と学習過程の工夫を通して、美しい日本語を話す子どもを育てる。 2 研究の内容 (1)「話すこと・聞くこと」の授業における伝え合う力を高めるための指導方法・指導過程・教材の工夫 (2)ルーブリックの理論研究 (3)ルーブリックを活用した授業実践 (4)人間関係力、コミュニケーション能力を高められる心の教育の理論研究	0
北杜市	小学校	小淵沢小学校	『主体的に学ぶ児童を育てる「生活科」「総合的な学習の時間」の支援・指導・評価に関する研究』	地域のよさを生かした活動をととして	地域に根ざした活動の展開のために、児童の活動の基盤を地域に定め、地域の施設や人材を生かした活動を「生活科」「総合的な学習の時間」の中で展開していく。そして、児童が主体的に学ぶために、児童の願いや思いと教師の願いを明確にして、児童の要求に応えられるような環境を整え、子どもたちに寄り添ったきめ細やかな支援・指導・評価の一体化を研究	0
北杜市	中学校	須玉中学校	「生きる力」を支える「確かな学力」の向上を目指した学習活動の展開	生徒の実態に応じたきめ細かな指導の工夫と実践を通して	昨年度までの3年間、「学力向上フロンティアスクール」の指定を受け研究を進めてきました。そこで今年度も、昨年度までの研究で得たものを生徒の実態に応じて実践していきながら、研究を深めていくことにしました。個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫と改善、主体的に学ぶ学習指導・支援の工夫と改善が重点です。	0
北杜市	中学校	泉中学校	豊かな人間性をもち、主体的に取り組む生徒の育成	福祉教育を通して、思いやりの気持ちや主体的に他と関わる力を育てる	総合的な学習の時間の「福祉教育」において、障害を持つ人々や地域の高齢者の人々との交流活動を通して、相手を理解しようとコミュニケーションをとることによって、お互いに人間として認め合い、尊重する気持ちや、相手の立場になって考えることができるようになること。さらには、進んでボランティア活動に参加できる生徒を育てたいと考えている。 学習面においても、総合的な学習を中心に課題解決学習を取り入れることによって主体的に学ぶ生徒を育てたいと考えている。 「心に元気をはぐむ道徳教育推進事業」にともない、道徳の授	心に元気をはぐむ道徳教育推進事業
北杜市	中学校	甲陵中学校	中高一貫教育の中での特色ある教育課程編成の研究～指導方法及び評価方法を中心に～	0	確かな学力をもつためには、生徒自身が学習の意味を自覚し、自ら学ぼうとする主体性が必要である。そのためには学習に対する意欲が欠かせない。そこで、基礎・基本を大切に、学習の主体である授業を充実することを目指したい。また、生徒の発達段階に応じた計画的な教育課程を考え、体験的な活動をすることにより、「生きて働く学力」をもつ生徒の育成を図りながら、中高一貫校として特色ある教育をどのようにしていけばよいかを研究する。	0
北杜市	中学校	明野中学校	生徒の学ぶ意欲を高める手だての研究	0	授業の充実と生徒の学習環境の両面から生徒の学ぶ意欲を高めるための方途を研究する。授業については、生徒の興味や関心を高めるための「導入の工夫」や個々の存在感を高める「小グループの活動」を取り入れることを研究する。学習環境の面については、家庭に帰ってからの生徒の生活の実態調査をもとに家庭と連携し生徒の生活の改善を図り、家庭での学習を定着させ、わかる楽しさによる意欲を研究する。	0



地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
北杜市	中学校	長坂中学校	『確かな学力を身につけ、主体的に学ぶ生徒の育成』	学習活動を主体的に展開する効果的指導法の研究を通して	「学ぶ意義を知り、学習の目標と方法を理解すれば、主体的かつ意欲的に学ぶ生徒が育つであろう。」という仮説を立て、次の5つの柱を中心として研究を進める。 【ア】授業ガイダンスを充実させ、学力の質の向上と学習習慣の定着を目指した指導の研究(目標の明確化、評価の内容と方法の提示、家庭学習の方法) 【イ】・少人数指導(英)・TT(英・数)・ガッテン講座の充実(全教科)などの個に応じた指導の充実 【ウ】外部人材の協力による指導の充実と学校現場の活性化(国…俳句・短歌、社…税金、	(国)学力向上拠点形成事業
北杜市	中学校	泉中学校	豊かな人間性を持ち、主体的に取り組む生徒の育成	福祉教育を通して、思いやりの気持ちや主体的に他とかかわる力を育てる	総合的な学習や道徳の時間を活用して、障害を持った方々や高齢者との交流を図り、お互いを人間として認め合い尊重する気持ちを育てていきたい。福祉教育では、福祉講話→障害者・高齢者疑似体験→社会福祉施設・高齢者宅訪問の流れを考えている。これらの体験を通して、更に自らボランティア活動へ参加する生徒を育成したいと考えている。また、体験活動を通して、更に調べてみたいこと等、自分で課題を見つけ調べ学習を行い、学習においても、進んで活動する生徒を育成したいと考えている。 これらの活動を通して、豊かな人間性を持って、進	(県)心に元気をはぐくむ
北杜市	中学校	高根中学校	「学びの意欲を高める、学習指導と評価活動の展開」	～ 教科指導の工夫改善と、総合的な学習の時間のカリキュラムづくりを通して～	1 「学びの意欲向上推進事業」県指定をうけた教科指導の研究 指定教科英語と美術を中心に、生徒の学習意欲向上を目指して全教科10教科の指導法の工夫改善と評価について研究する。 2 総合的な学習のカリキュラムづくりの研究 昨年度までの研究に引き続き、課題設定力や、表現力を高めることを本年度の目標に研究する。評価を実施し、学習の有効性を検証する。 3 全校体勢での初任者研修の取り組み 4 北杜市市長公約「原っぱ教育」の具現化	(英)(美)学びの意欲向上推進事業 公開は来年度の予定
北杜市	中学校	白州中学校	生徒が生き生きと学ぶ授業の創造	感6のある授業創りを通して	・小規模校であり、教員が1人の教科が多い。そこで他教科の教師が授業を見合い、意見の交換や互いの参考となるよう、研究授業を中心に実践研究を行っていく。 ・「感6」とは、「感激」「感嘆」「感興」「感銘」「感服」「実感」を指す。(「感動」の5つの視点と「実感」) ・授業構成を「既有的知識(各自の枠組み)→新たな刺激→自分の枠組みとのすりあわせ→本校の「経営の基本方針」にもある「生きる力をはぐくむ学習指導の充実」を目指し研究を進める。教材の工夫等、教師の授業実践における「生徒の興味・関心を喚起し、自から学ぶ態度を育てる工夫」こそが、生徒の「生きる力」につながるものであると考える。 【研究主題】 教科学習において、育てたい生徒像を明確にし、教材の工夫等、生徒の興味・関心を喚起する教育活動を展開することによって、生徒の自ら学ぶ意欲や態度が育ち、生きる力がはぐくまれるであろう。 【研究内容】 ○各教科における「育てたい生徒像」を明確にする	0
北杜市	中学校	武川中学校	生きる力をはぐくむ学習指導の充実	興味・関心を喚起し、自ら学ぶ意欲や態度を育てる工夫	本校の「経営の基本方針」にもある「生きる力をはぐくむ学習指導の充実」を目指し研究を進める。教材の工夫等、教師の授業実践における「生徒の興味・関心を喚起し、自から学ぶ態度を育てる工夫」こそが、生徒の「生きる力」につながるものであると考える。 【研究主題】 教科学習において、育てたい生徒像を明確にし、教材の工夫等、生徒の興味・関心を喚起する教育活動を展開することによって、生徒の自ら学ぶ意欲や態度が育ち、生きる力がはぐくまれるであろう。 【研究内容】 ○各教科における「育てたい生徒像」を明確にする	0
北杜市	中学校	小淵沢中学校	「生きる力」をはぐくむ学びの場の創造	一人一人の力を引き出すための指導の研究	本校の生徒の実態としてあげられることは、まじめであり、様々なことに対して素直に取り組むが、自分から創造したり、自分の殻を破ろうとする姿勢が弱いことである。また内面的に弱い生徒もいて教育相談のたても考えていく必要がある。 そこで、学びの場をよりよいものにするために、まず実態調査をし、その実態を踏まえうえで、ソーシャルスキルや、話し合いの方法、評価の方法、カウンセリングマインドも含め、一人一人の力を引き出すための授業のあり方の工夫を研究する予定。	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
富士吉田市	小学校	吉田西小学校	一児童の「生きる力」の育成をめざしてー	一児童の「生きる力」の育成をめざしてー	1. 学習意欲を高める 実験・観察や実生活との関連を重視した指導が求められる中で、「楽しく学ぶ」ような授業を、子どもたち自らが自らの学びに対しての効果観や有用感が持てる「分かる」授業を創っていきたい。 2. 授業の改善に迫る 教科の特性をふまえた目標設定や評価が大切になってくる。それは、系統性ともかかわり、或いは授業の進め方にもかかわってくる。少なくとも、この授業で育てたい力は何なのか、と言う視点をしっかりと持ちたい。 3. 評価規準の信頼性を高める	0
富士吉田市	小学校	吉田小学校	自ら学び、考え、「生きる力」を獲得する児童の育成	～伝え合う力を高める国語科の授業づくり～	学習指導要領の見直しにあつたでの検討課題や山梨県学校教育指導重点策定の基本方針にあるように確かな学力と伝え合う力を育てる国語力の向上がうたわれている。また、基礎基本の定着を図り、自ら学び、自ら考える力を育てることもあげられている。よって、これまでの研究をふまえ、今日的な教育課題を加味し、以下の内容で研究を行う。 ①国語科の「話すこと」「聞くこと」の領域に関する理論研究 *「話すこと」「聞くこと」について文献や学習会により共通理解を図る。 ②めざす子ども像の作成 *目標及び具	0
富士吉田市	小学校	富士小学校	「児童の生きる力の育成を目指して」	～国語科「読むこと」の指導を通して～	(1)国語科の「読むこと」の基礎・基本を明らかにし、「読むこと」の単元の教材研究を丁寧に行い、指導法を工夫する。 (2)各ブロックで、授業実践を行う。指導主事を招聘し、指導、助言を頂く。 (3)読書活動の年間の計画を立て、児童の読書の充実を図る。 (4)授業実践の記録と、読書活動の実践の記録をとり、資料として保存し、次年度以降に活用できるようにする。 (5)先進校の視察研究を行ったり、各自の研修により参考になるものを環流報告したりして、本校の研究に参考となるものを活用する。	0
富士吉田市	小学校	明見小学校	豊かな心を持ち、道徳的実践力にあふれた児童の育成	学校・家庭・地域の連携を通して	本年度「心に元気をはぐむ道徳教育推進事業」に指定されたことを受け、上記の研究主題を設定し、全校体制で取り組むことを確認した。主な内容は次の2点である。 1点目は、地域の人材・地域の素材を活用した道徳の授業実践である。校長から示された学校経営方針でも、地域との連携強化の重要性が確認された。そこで地域の人材・素材と関わりながら、子ども達の道徳的価値を高め、それをいかに道徳的実践力にまで結びつけるかを研究していく。	0
富士吉田市	小学校	下吉田第一小学校	意欲的に学ぶ児童の育成をめざして	国語科において「書く力」をはぐむ実践を通して	『国語科の学習において「書く」機会や場の設定、支援の仕方を工夫すれば「書く力」をはぐむことができ、意欲的に書くことができる子どもたちを育成することができるであろう』を研究仮説として1. 書く機会や場の設定を工夫する。2. 書くことへの支援の仕方を工夫する。3. 書くことにおける実態を把握し指導する。との3つの手だてを設定した。研究内容として、①『「書くこと」領域について理論研究をする。②「書くこと」領域の指導法について理論研究をする。③「書くこと」における実態を把握し、学年ごと仮説を立てる。④授業実践を通して	0
富士吉田市	小学校	下吉田東小学校	「確かな学力」を育む国語教育の研究	語彙力を育てる指導を通して	国語の基礎学力の根底にある、言葉の力を育てていくことにより、思考力・判断力・表現力などの国語力が高まっていくと考え、「語彙力」を豊かにする活動を授業計画の中に取り入れていく。理論研究で共通理解を図る中で、授業実践を中心に研究を進め仮説の検証を行っ	(県)心に元気を育む道徳教育推進事業 10月22日(土)
富士吉田市	小学校	下吉田第二小学校	生きる力を育む学習活動の創造	国語科「書くこと」の指導法の工夫を通して	(1)理論研究を進める。 ①文献、資料等を参考にしながら、理論研究を進め、全職員の共通理解を図る。 ・子どもの文章の何を見取っていくのか学ぶ。評価(自己評価・相互評価など)について、評価規準も含めながら研究していく。 ・発段階に応じた学年の「伝える」「伝え合う」という部分の指導法を工夫する。 ・子どもたちの思いを引き出す学習指導法を工夫する。特に、一斉授業の中で、「書くこと」を苦手とする児童への支援の仕方について研究していく。  (2)昨年度の研究を生かし、	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内 容	公開日
富士吉田市	中学校	明見中学校	自己のあり方を見つめ、より良く生きようとする生徒の育成	道徳的実践活動の見直しと道徳の授業の充実を通して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳実態調査を実施して、本校の生徒の道徳心の実態を明らかにする。</li> <li>・日常的に行われている活動を必要に応じて道徳的視点で再構築する。</li> <li>・道徳的視点で再構築された実践活動を日常の道徳の授業に生かす。</li> <li>・家庭、地域の連携の視点で有益な活動を洗い出し、活動を再構築する。</li> <li>・研究授業や学年単位、学校全体での取り組みなどを実践しながら、研究していく。</li> </ul>	心に元気をはぐくむ 道徳教育推進事業1 0月12日の予定
富士吉田市	中学校	下吉田中学校	「自ら学び、考え、活動する生徒の育成」	～地域連携と学級組織の活性化をめざして～	本年度の校内研究は、生徒指導総合連携推進事業との兼ね合いで、「あいさつ・声かけ運動」を活動の柱に位置づけ、地域の自治体・警察・小学校と児生連活動などの各機関と連携して運動を推進していくこと。そしてその「あいさつ・声かけ運動」を通して日常生活の中で自ら進んであいさつのできる生徒の育成をめざして、各学級での取り組みを活性化させて、生徒たちが組織的に動く力を伸ばしていきたいと考えている。	生徒指導総合連携 推進事業
富士吉田市	中学校	富士見台中学校	意欲をもって学校生活をおくる生徒の育成	道徳教育を通して	全職員が関わり、様々な人の生き方や考え方にふれることのできる道徳教育を通して、意欲をもって学校生活をおくる生徒を育てていきたい。 《研究のポイント》 a. 本校生徒に必要と考える道徳性について考える b. 「生徒指導」「学級学年づくり」「生徒会指導」を通じて規範意識を高める c. 保護者、地域との連携を視野において研究を進める	0
富士吉田市	中学校	吉田中学校	「授業の中でともに学び合い、ともに高めあえる学級集団作り」	学級としての学習規律を作り上げる話し合い活動を通して	これまで、教師側からの働きかけで授業規律を考えてきている。今年度は生徒自身が自分たちのクラスの学習規律を作っていく活動を活発に行う。そのなかで、各学級の課題点を明らかにする。これら、学級の世論作りの仕方、生徒同士の関わり方、などを全体で学習して	なし
都留市	小学校	宝小学校	自ら学ぶ子どもの育成 ～算数科における基礎・基本の定着を図る指導と評価について	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度学力調査を行い、児童の実態をつかむ。その結果を基に基礎・基本の時間の設定を考える。</li> <li>・効果的なTT指導の研究として、年間計画の作成ときめ細か担当教師との打ち合せ時間の調整をする。</li> <li>・基礎基本の定着の時間の計画とプリント作りをし、いつでも使えるようにしておく。</li> </ul>	0
都留市	小学校	禾生第一小学校	夢と楽しさをはぐくむ教育活動の展開	0	研究主題にせまるために、①教科を中心とした学習指導②道徳・生徒指導・特別支援教育を中心とする心を育てる教育③体力づくりの推進等健やかな体を育てる教育④情報モラル・活用能力を育成する情報教育の4つの柱をもうけ、全員が4つの部会に分かれて研究を進める。特に①は昨年までの3年間の研究である学力向上フロンティアスクールとしての研究継続を行い、全校での習熟度別授業を様々な教科で行っていく予定でいる。また②から④に関しても、その部会に所属の人の研究に終わらないよう定期的に、部会主催研修会並びに提	0
都留市	小学校	谷村第一小学校	算数科における基礎・基本を定着させる指導法の工夫(3年次)	～児童一人ひとりの習熟の程度に応じた指導法のより一層の充実～	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「習熟の程度に応じた指導」のあり方について、研究の初期段階において講師招請または文献の読み合わせ等により理論研究を行い、共通認識を図る。</li> <li>2. 学年・学級の実態に応じた少人数グループの指導体制のあり方を探る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級を分解しないTTによる指導体制(1C1T・1C2T)</li> <li>・習熟の程度に応じたクラス編成(3C3T・4C4T・4C5T)</li> </ul> </li> </ol>	0
都留市	小学校	都留文科大学附属小学校	基礎基本の力の定着をはかる学習指導	算数科の学習を通して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度のNRTの結果分析をもとに、本校児童に身につけさせたい基礎、基本の力の共通理解を図る。</li> <li>・数と計算領域において、伸び切れない学習内容についての指導法を学び合い、工夫改善を図る。</li> <li>・個に応じた学習指導の一環として、継続的な指導の実践をする。</li> </ul>	0
都留市	小学校	東桂小学校	自ら学ぶ子どもの育成	基礎・基本を身につけさせる指導法の工夫	<ol style="list-style-type: none"> <li>①算数科の身につけさせたい基礎基本の力の共通理解</li> <li>②全国標準診断学力検査(NRT)の実施(2年から6年)と結果の分析</li> <li>③落ち込みの見られる学習内容の指導法の工夫改善</li> <li>④工夫した指導法の授業実践</li> <li>⑤算数科の指導法の学習会(文献など)</li> <li>⑥パソコン研修</li> <li>⑦外部講師による学習会</li> </ol>	心に元気をはぐくむ 道徳教育

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
都留市	小学校	禾生第二小学校	自ら学ぶ児童の育成をめざして	算数科における指導と評価の一体化の工夫改善について	平成15年度に行った算数科の研究をもとに、授業実践を通して、昨年度作成した評価基準表の検証を行う。授業の目標である評価基準を実現するため、学習における計画・実践・評価をうまく機能させ、学習指導法や評価の工夫について研究し、どの子にもわかり確かな学力がつく授業実践ができるようにしたい。子どもたちに基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を実現するために、子どもの学習状況を適切に評価し、その評価の結果によって後の指導を改善し、さらに新しい指導の結果を再度評価するというような指導と評価	0
都留市	小学校	谷村第二小学校	「勉強って楽しい！」「もっと勉強したい！」子どもたちの喜びの声が聞こえる授業の創造	算数的表現力を育てる授業	筋道を立てて考え、表現できる力を高める授業を創造・実践し、子どもたちに問題解決の喜びを実感させ、学ぶ意欲を持つ子供を育てるため、以下の内容について取り組んでいく。 ①到達度テストで子どもたちの実態を把握し、昨年度の取り組みの成果と今年度取り組む課題について確認する。 ②算数的表現力についての学習を行い、共通理解を図り、谷二小としてのとらえ方について確認する。 ③到達度テスト(国語・算数)の結果を元に、基礎・基本の定着のための取り組みを各学年の実態に応じて考える。 ④授業実践を行う。(低・中・	0
都留市	小学校	谷村第二小学校	「勉強って楽しい！」「もっと勉強したい！」子どもたちの喜びの声が聞こえる授業の創造	算数的表現力を育てる授業	筋道を立てて考え、表現できる力を高める授業を創造・実践し、子どもたちに問題解決の喜びを実感させ、学ぶ意欲を持つ子供を育てるため、以下の内容について取り組んでいく。 ①到達度テストで子どもたちの実態を把握し、昨年度の取り組みの成果と今年度取り組む課題について確認する。 ②算数的表現力についての学習を行い、共通理解を図り、谷二小としてのとらえ方について確認する。 ③到達度テスト(国語・算数)の結果を元に、基礎・基本の定着のための取り組みを各学年の実態に応じて考える。 ④授業実践を行う。(低・中・	0
都留市	小学校	旭小学校	『心豊かに生きる力』を獲得させるための教育課程の創造	確かな学力を身につけさせる、指導と評価を一体化した授業づくり	本校では、平成13年度から3年間、『心豊かに生きる力』を育成することをテーマに取り組んできた。昨年度は、新学習指導要領に基づく「評価規準表」の作成に取り組み、何を指導し、どう評価するかという共通理解を図った。本年度は、昨年度の継続研究を一步進め、授業の実践を通して評価規準表の検証・修正を行い、「生きる力」を育成する指導と評価の一体化を図るための研究をさらに深めていく。評価活動を取り入れた授業研究を、一人一実践行い、B規準に達しない児童への手だてを考えたり、評価についての理論研究を行い、講師	0
都留市	小学校	旭小学校	『心豊かに生きる力』を獲得させるための教育課程の創造	確かな学力を身につけさせる、指導と評価を一体化した授業づくり	本校では、平成13年度から3年間、『心豊かに生きる力』を育成することをテーマに取り組んできた。昨年度は、新学習指導要領に基づく「評価規準表」の作成に取り組み、何を指導し、どう評価するかという共通理解を図った。本年度は、昨年度の継続研究を一步進め、授業の実践を通して評価規準表の検証・修正を行い、「生きる力」を育成する指導と評価の一体化を図るための研究をさらに深めていく。評価活動を取り入れた授業研究を、一人一実践行い、B規準に達しない児童への手だてを考えたり、評価についての理論研究を行い、講師	0
都留市	中学校	都留第一中学校	『自ら考え、たくましく生きる生徒の育成』 ～心に響く道徳教育を目指して～	0	本年度の研究の柱は、次の3つである。 ① 外部講師による研究授業の実施(全学級)・・・家庭や地域の参加 ② 日常の活動の実践発表(学び合う)・・・道徳資料集め ③ 学習会の実施(教師の力量を高める)・・・講師を招いて ①外部講師による研究授業の実施 道徳教育は学校教育の中だけではなく、家庭や地域など日常のあらゆる機会でも行われる。家庭や地域の協力を得ることは、たいへん大切なことである。また、地域の 人々とふれ合うことで、豊かな人間性が育まれることにもつなが	0

地 区	校 種	学校名	主 題	副主題	内 容	公開日
都留市	中学校	東桂中学校	視野を広げ、生きる力を育て高める指導の充実	道徳及び各教科指導の工夫・改善とSAT事業・総合的な学習等における外部講師の活用	視野を広げ、生きる力を持った生徒の育成を図るため、下記の(1)～(4)のことについて、実践に重点をおき、研究を推進する。 (1)生徒の実態を踏まえた重点項目を設定し、生徒の内面にはたらきかける道徳指導を意図的・計画的に推進するための研究。 (2)基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の工夫と改善、家庭学習習慣の定着を図るための教科指導の研究。 (3)SAT(学生アシスタントティーチャー)事業における学生の効果的活用に向けての研究。 (4)これまでの成果を踏まえた、総合的な学習への取り組みと、外部講師	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業
都留市	中学校	都留第二中学校	保護者や地域から信用・信頼される、特色ある学校づくり	Q-Uの実施・分析・評価を基にした教育実践を通して	Q-Uによる生徒の満足度(数値)を上げ、所属感や連帯感を持って学校生活を送ることができるように、これまでの本校の教育実践のよさや効果を整理し、各校務分掌を連携させ、日常の教育活動の質とレベルをさらに高める教育実践を研究する。 1)学級満足度調査Q-Uの持つ意味と意義の理解。 2)Q-Uの実施・分析・評価(年3回) 3)Q-Uによって客観的に生徒の実態を把握した上での、教育実践のための研修(教師の力量 向上)と教育実践。 ①授業力の向上(道徳を含み、授業と生徒指導の関係についても扱う。)	0
南都留郡	小学校	忍野小学校	豊かな人間性と限りなき可能性を追究する忍野の子の育成	個に応じた確かな学力の定着を図る学習をめざして	○基礎・基本の確実な定着、及び個に応じた指導を実践するための「指導形態」「指導方法」「教材開発の工夫」 *特に「指導形態」では低学年における「T、T学習」、高学年における「習熟度別学習」の形態について授業を通しての研究を深める。 ○評価規準表の修正(国語、社会、算数、理科)と作成(図工、音楽、体育、家庭科) ○「心をはぐくむ道徳教育」を通して豊かな心を育成を図る。	(県)心を元気にはぐくむ道徳教育推進事業
南都留郡	小学校	秋山小学校	心身の健康づくりに、自ら取り組む子どもの育成	業間体育と健康教育の取り組みを通して	2年目の研究だが、子どもたちの心身の健康づくり教育ができるよう研究を深めていく。具体的には、業間体育部会と健康教育部会を2つの大きな柱として、健康づくりに取り組む。業間体育においては、6つほどの場を設け、縦割り子どもたちが体力づくりに励む。昨年度までは関心意欲面での成長を中心に子どもたちの様子を見つめたので、今年度は体力面での成長がどれくらいあるかということも探していきたい。また健康教育部会では、アンケート結果をふまえながら、本校児童にとって最も必要な健康教育の分野は何であるかを検討してい	0
南都留郡	小学校	西浜小学校	心豊かで生き生きと主体的に活動する子どもの育成	伝え合う力を育てる授業の工夫	・児童の実態および関係資料や文献をもとに、「話すこと・聞くこと」について学習し、共通理解を図る。 ・発達段階に応じた、学年の系統性を図る。 ・テーマを意識し、授業実践をする。また情報交換もする。 ・低学年・高学年の二つのブロックを作り、ブロックごとに具体的仮説を設定し、研究 授業をしていく。 ・その他の研究として、コンピューターなどの教育機器の操作の学習会や、地域の素材 や人材の充実を図る。 ・今年度の研究の成果と課題をまとめ、冊子にする。	0

地 区	校 種	学校名	主 題	副主題	内 容	公開日
南都留郡	小学校	鳴沢小学校	国際社会に生きる心豊かな児童の育成	英語活動・異文化交流を通して	【英語活動】 ・理論研究をする。 小学校英語活動の基本的な考え方、英語活動の目標など ・指導方法と活動の工夫の研究をする。 授業づくり、授業の構造など ・全学年(6学級)で提案授業をする。 ・教育課程に英語活動をいかす方策の検討をする。 インターナショナル集会の実施 職員研修 年間計画の作成 ・英語活動の環境作り 今月の英語の歌 A、A、Goの掲示板 図書室の英語コーナー 【評価】 ・育てたい力の作成 各学年の英語活動に対する関心・意欲・態	(県)レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業
南都留郡	小学校	大嵐小学校	自ら考え 自ら実践できる大嵐っ子の育成	豊かな表現力の育成をめざした授業の創造(2年次)	①物語文を児童がどのように理解していくのか認知心理学の立場から検証し、共通理解を図る。 ②現行の教材について、その意図と問題点の研究を行う。 ③児童の実態をふまえ、基礎・基本の定着から表現力の育成に至る授業を行い、変化を見取る。	0
南都留郡	小学校	東小学校	自ら学び、自ら考え、生き生きと表現する子どもの育成	国語科「話すこと」「聞くこと」の指導を通して	(1)理論研究を進める。 ・国語科の各領域の基礎基本について ・話す力、聞く力を伸ばすための指導法 ・評価のあり方について (2)授業実践に取り組み、仮説を検証していく。 ・国語科「話すこと・聞くこと」の年間指導計画に沿った授業実践を行う。 ・日常の取り組みとの関連を図る。	0
南都留郡	小学校	東小学校	自ら学び、自ら考え、生き生きと表現する子どもの育成	国語科「話すこと」「聞くこと」の指導を通して	(1)理論研究を進める。 ・国語科の各領域の基礎基本について ・話す力、聞く力を伸ばすための指導法 ・評価のあり方について (2)授業実践に取り組み、仮説を検証していく。 ・国語科「話すこと・聞くこと」の年間指導計画に沿った授業実践を行う。 ・日常の取り組みとの関連を図る。	0
南都留郡	小学校	船津小学校	心豊かに生き生きと学ぶ児童の育成	「確かな学力」の向上を図る指導の研究	○「確かな学力」の向上を目指して、個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫・教材の開発・主体的な学習習慣の確立のための指導等の研究。 ○教員の自主的研修や研究の推進を行い、校内の研修・研究体制を工夫や改善することによって児童の学習意欲や知識・技能を活用する力等の今日的な課題に対応できる 実践的指導力の向上のための研究。	(国)学力向上拠点形成事業
南都留郡	小学校	小立小学校	「子どもたちの基礎学力を向上させるための研究」 ～「話すこと・聞くこと」の指導を通して～	0	①国語科についての理論研究を行う。(講師を招請する。) ②本校の子どもたちの「話すこと・聞くこと」についての実態を調べ、めざす子ども像を明らかにしていく。 ③指導方法、教材開発、スキル開発など、「話すこと・聞くこと」にかかわる力を高める様々な手だてを、方法を明らかにする。 ④授業で検証を行う。	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
南都留郡	小学校	大石小学校	自ら学び、自ら考え、生き生きと表現する子どもの育成	国語科を通して読む力を育てる指導方法の工夫	①国語科の「読むこと」の領域についての基礎的基本的な学力とは何かを明確にする。②「読むこと」活動に関わっての児童の実態の把握。③「読むこと」活動の各学年の単元の洗い出し、及び、その単元で身につけさせたい力を明確にする。④「読むこと」活動に関わって、基礎的基本的な力を育てていくための指導方法の工夫についての研究し、授業実践を行う	0
南都留郡	小学校	山中小学校	自ら学び、心豊かに生きる子どもの育成	「きく力」「はなす力」を高め、伝え合う力を育む指導を通して	心を豊かにし、他者とのかかわり合いの中でコミュニケーション能力を高めることを目指し、昨年度に引き続き、「伝え合う力」を育むための研究に取り組む。①児童の「話す力」「聞く力」の実態を把握し、実態を踏まえた研究に取り組む。②昨年度作成した【「話すこと」「聞くこと」学年発達系統表】【「基本聴型」「基本話型」】を『学びの手引き』として児童に示せるよう見直し、より確かに「聞く力」「話す力」を高める。③「伝え合う力」を育むための指導法について、実践を通して研究を深める。「形式」「量・回数」から「内容」「質」を	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業 11月10日
南都留郡	小学校	西桂小学校	ゆたかな人間性が育つ国語教育の研究	「読書活動」の充実と「文学作品」の指導の工夫を通して	(1)国語力の構造と、ゆたかな人間性についての理論研究 (2)読書活動を充実させることの意義と、文学作品の指導の重要性の意義についての理論研究 (3)西桂小の国語力の実態把握 ①NRT検査の実施(2～6年) ②「読書活動」についての実態調査 ③「読むこと」についての実態調査 (4)「読書活動」を充実させること、「文学作品」の指導に関する実践研究 ①研究授業を行う。 ②推進委員会から全体像を提案。その後、各ブロックで研究し、全体研究会で検討。	(県)心をたがやす国語力向上推進事業 11月18日
南都留郡	小学校	河口小学校	生き生きと学び合う子どもの育成	個を生かす支援の工夫を通して	特別支援教育体制推進事業にともなって、特別支援教育体制作りに向けての研修をし、本校としての取り組みを共通理解する中で、「生き生きと学び合う子ども」の姿を目指し研究していく。 具体的な研究内容 1. 校内委員会等の特別支援教育体制をつくる。 2. 講師を招聘する等、研修し教職員間の共通理解を図る。 3. 実態調査(学力面、生活面)をし特別に支援を必要とする子への支援方法を探る。 5. ケース会議の方法を研究し有効な指導について検討していく。	0
南都留郡	小学校	勝山小学校	自ら学ぶ児童の育成	「聞くこと・話すこと」の指導に中心をおいて、伝え合う力を育てる	(1)学年ごとに、本校の「聞くこと・話すこと評価規準一覧表」に照らし合わせた年間学習活動計画を作成する。 (2)昨年度作成した「聞くこと・話すこと評価規準一覧表」を更新し、さらに本校の実態にあった使いやすいものにしていく。 (3)国語科において「聞くこと・話すこと」の力を高めるための指導内容について検討し、授業で検証する。 (4)ほかの教科や領域の学習の中でも、「聞くこと・話すこと」に支店を当てた指導を試みる (5)学校の言語環境を整え、全職員で「聞くこと・話すこと」を意識した指	0
南都留郡	中学校	忍野中学校	集団とのかかわりの中で、自ら学び、考え、進んで行動する生徒の育成	「基本単位としての学級」の活性化	昨年度の研究を引き継ぎ、今年度も「学級づくり」に取り組む。学級運営には様々な取り組みがあるが、その中でも「学活による活性化」、「行事による活性化」、「組織を利用した活性化」の三点に着目し、実践を重ねる中で、より系統的な研究になるようにする。	0
南都留郡	中学校	道志中学校	自主性を高め、進んで学習する生徒の育成	思考力・表現力を高める指導を通して	今年度は教科指導を中心に研究を進めていく。特に本校の生徒の実態から課題となっている「思考力」「表現力」を高める指導の研究・実践を各教科ごとに行っていき、生徒の主体的に学習する意欲を育成することを目指している。	0

地 区	校 種	学校名	主 題	副主題	内 容	公開日
南都留郡	中学校	勝山中学校	生徒が主体的に活動できる「わかる授業」の工夫と実践	一人一人に確かな学力を身につけさせる、基礎・基本を重視した指導法の工夫・改善	①教師一人一人がそれぞれの教科指導の中で、基礎・基本の定着を中心に据えた授業研究を進める。(一人1実践) ②研修会、公開授業などへの積極的な参加 ③各学年ごとに学活や道徳の授業、総合的な学習の時間において生徒の考える力が高まるような工夫をする。 ④正しい話し言葉、正しい日本語がつかえるよう国語力の向上を進める。(漢字力、読書)	0
南都留郡	中学校	山中湖中学校	一人ひとりの人間としての豊かな成長を目指して	基礎基本の定着と自ら学び自ら考える力の育成、自治的活動を基本に据え自治能力を高める生徒指導へ	研究の柱 ① 自ら学び自ら考える力の育成 ② 自治能力を高めながら、よりよい生活を営める力の育成 具体的な内容 ・ 教科部会で、担当教科ごとに生徒の学力に対する実態を把握し、その即した教材研究を行う時間を確保する。 ・ 負担になりすぎない、可能な範囲で授業研究を行い、より生徒にとってわかりやすい授業づくりを検討する。(本年度は授業研究を4回実施する) ・ 個人、学級、学年の生徒について情報交換を行い、正しい生徒理解につなげる。 ・ 常に生徒の現状での課題点を把握し、よりよい生活が営めるようになるには	0
南都留郡	中学校	西桂中学校	確かな学力と伝え合う力を育てる	細やかに表現して心を通い合わせる生徒	確かな学力を育てるための研究 ①国語科における「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習が、確かな学力として育つ実践を、教育課程全体を生かして、試みる。 ②各教科や総合的な学習の時間において確かな学力を育てる実践を試みる。 ③確かな学力の一例として「漢字能力」に焦点をあてた取り組みを行う。 ④ネットワーク学習ソフトによる確かな学力の育て方について見極める。 国語力向上の拠点校として研究 ①国語科で習得した基礎基本のより確かな定着を図るとともに、その力を学校の教育全体計画の中に具体的な	国語力向上推進事業拠点校
南都留郡	中学校	西浜中学校	自ら学び、自ら表現し、進んで実行できる生徒の育成	生徒が生きる授業の工夫を通して	各授業において、以下の要素を取り入れた授業を工夫・創造・実践していく。また、研究会を通して同僚性を高めると共に、学びによる学校教育目標の達成を目指す。 ○授業に取り組む要素 ○具体的には次の4点を工夫しながら授業をデザインしていく	0
南都留郡	中学校	河口湖北中学校	「基礎・基本」を重視した授業づくり	「確かな学力」の育成を目指して	(1)各教科の学習指導要領の内容と評価の観点との関連を考える。 ・各教科のテーマ設定 ・教えるべき内容と評価の観点の関連について考える。 (2)学習内容と評価規準への流れについて考える。 ・単元の指導内容や目標を確認する。 ・学習指導要領の解説書より、教えるべき内容を洗い出し、評価の規準の検討する (3)学習内容の明確化→見取りの工夫→評価を入れた学習指導案の作成を行う。 ・学習指導要領や解説書に示されている教えるべき内容を明記する。 ・指導内容を実現するための授業の	0
大月市	小学校	下和田小学校	心躍り、瞳輝き、その子らしさが生きる授業の創造	学びを編むための国語力の育成	(1)学びを編むための「国語力」の内容を深く検討し、国語力を意識した授業を展開する。 (2)「座席表授業案」の内容を深く検討し、実践する。 (3)下和田学びプランに基づいた授業の具現化を図る。 (4)支援的評価プランの一般化と充実を図る。 学びノートの見直しをする。 学びノートの有効性を認め、引き続き活用する。 カルテの情報をつなぎ、カルテタイムのいっそうの有効活用を図る。	0
大月市	小学校	浅利小学校	明日に生きる、確かな力を育てる授業の創造	考える算数、わかる算数、できる算数	(1)学力・基礎・基本をどのように共通理解するか、子どもが能動的に動く授業、ドリル学習などについて、共通資料を読みあい、本校における学力、基礎、基本の概念についての共通理解を図る。 (2)算数科において、基礎・基本の力をつけ、時間をおいても剥落しない確かな学力とするための授業のあり方について、授業研究する。	0



地 区	校 種	学校名	主 題	副主題	内 容	公開日
大月市	小学校	強瀬小学校	「教師と子どもで創る授業」のあり方に関する研究	「聴き合う」関係づくりを意識した具体的な指導方法に着目して	学級における、教師と子ども、及び子ども同士の中に「聴き合う」関係をつくり出すための教師の働きかけ(指導方法)について研究する。 教材の選択や、教師の関わりが子どもの「聴く」という姿勢をどのように創っていったかを研究の中心に据える。	0
大月市	小学校	猿橋小学校	豊かに伝え合い、磨き合う授業の創造	国語科・算数科を中心として	(1)伝え合う力を育てるための授業研究及び検証 (2)日々の実践を通しての児童理解と、授業研究における検証 (3)国語力を育てていくための授業研究及び検証	0
大月市	小学校	畑倉小学校	「伝え合う力を育てよう」	0	・「伝え合う力」について学習する。 ・畑倉小学校の子どもたちに育てたい「伝え合う力」を考える。 ・畑倉小学校の子どもたちに育てたい「伝え合う力」を学年の系統を考えながら設定する。 ・「伝え合う力を育てるための方法(手だて)」について考え、各自実践する。 ・「伝え合う力を育てるための方法(手だて)」を取り入れた授業をし、研究する。	0
大月市	小学校	上和田小学校	「よく考え、思いをよりよく伝える子どもたち」	～伝える力を高めるための指導法～	※スピーチ活動 給食時や集会、始業式や終業式などでスピーチする。給食時のスピーチにおいては、発表内容はそれぞれ話したい話題を自分で選ぶ。スピーチメモを作り、それぞれ自由な方法でスピーチする。発表後には、互いに質問し「話し手」と「聞き手」の交流を行う。  ※授業実践 各教科、道徳、特別活動などで各学年スピーチを生かした授業実践をして、それぞれの実践を報告し合う。	0
大月市	小学校	七保小学校	意欲的・主体的に取り組む児童の育成	生きる力を育む「聞く・話す力」の育成	この研究内容での取り組みは3年目を迎える。2年間の成果として、子ども達が学習活動に対して意欲的・主体的に取り組めるようになってきていると同時に、コミュニケーション能力の基本である「聞く・話す」ことの大切さを感じられるようになってきていることが挙げられる。そこでこれまでの研究を活かしつつ、「聞く・話す力」に焦点を当て、教科・道徳・領域の学習を充実させ、指導・支援内容の発展を目指す。 (ア)聞く・話す力を育成するための方途を、教科・道徳・領域の各方面から探る。 (イ)聞く・話す力を高めるための学級集団作り	0
大月市	小学校	大月東小学校	主体的に学び、生き生きと活動する子どもの育成	友達と関わりながら、学びを深める子どもをめざして	研究主題「主体的に学び、生き生きと活動する子どもの育成」に今年度は、『友達と関わりながら、学びを深める』ことを通して迫っていく。まず、「友達と関わる」こと「学びを深めること」について共通認識を深めるために理論研究を行う。そのために、指導主事や研修主事の先生方を招聘し、関わりやコミュニケーション、学びの集団等について研究を深め、本校なりの「関わり」についての捉えを確立していく。理論研究を進め、児童の実態を分析していく中で、今年度の研究内容や方向性がさらに焦点化されてくるのではないかと思う。 また、それ	0
大月市	小学校	大月西小学校	確かな学力の育成をめざして	国語科における「伝え合う力」を高める授業の実践を通して	(1)理論学習(確かな学力、国語科における「伝え合う力」について) (2)研究授業(低・中・高のブロックで提案、全員が授業をし研究集録に載せる)	0
大月市	小学校	初狩小学校	学ぶ楽しさを実感できる授業の創造	～国語科「話すこと・聞くこと」の指導方法の工夫を通して～	・資料や文献などで理論研究をすることにより、共通理解を図る。 ・話すこと・聞くことについての実態調査を6月上旬と12月上旬に行い、児童の実態を把握して変容をみる。 ・話すこと・聞くことについて本校の児童につけたい力を検討し、指導内容の明確化と系統性をはかる。 ・話すこと・聞くことに関する国語科の指導方法の工夫を研究し、全体授業研究を低学年・高学年で一つずつ行う。 ・一人一授業を提供し、全員で参観し合う。	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
大月市	小学校	瀬戸小学校	表現力・思考力を育てる授業の創造	～算数科の授業実践を通して～	昨年度に引き続き、「算数科で育つ表現力・思考力」に焦点を当て、算数科ではどのような思考力・表現力を育てることが出来るかを理論研究で明らかにし、その実現のために、授業の組み方等について研究し、授業研究を行う。 (1)理論研究 ・算数科における表現力・思考力について ・算数科における基礎・基本につて (2)実践研究 ・授業研究 ・評価について	心に元気をはぐくむ 道徳教育推進校
大月市	小学校	鳥沢小学校	地域の人々とのふれあいを通し、道徳的価値を身につけた実践的活動のできる児童の育成	0	地域の人々とのふれあい活動の中に、道徳的な心情を培い、道徳的実践力を高めることを研究の中心とします。本校のとらえる「ふれあい」とは、単に一緒に時間を過ごすのではなく、共感し高めあう関係をさします。地域講師の方は、何度も学校を訪れる方ですから、子どもたちとは顔なじみの関係にもあります。つまり、活動の指導を受けるだけでなく、地域講師との出会いやふれあい、その語らいや人となりも含めて丸ごとの研究になります。人がいろいろな人と出会いふれ合う過程は、学びの過程です。授業やふれあい活動を通して、ひろく	(国)平成16・17年度 児童生徒の心に響く道徳教育推進事業 11月18日
大月市	小学校	宮谷小学校	『自ら学ぶ子どもの育成』	～国語科における『話す・聞く』の基礎・基本の定着をめざして～	(1)国語科における『話す・聞く』の基礎・基本についての理論研究をし、本校なりにまとめる。(指導一評価一支援) (2)『話す・聞く』の領域を中心に、昨年度作成した各学年の「具体的な目標」について再検討する。 (3)各学年の『話す・聞く』の領域にふさわしい基礎的基本的学習内容を吟味・検討する。(新教育課程からの洗い出しと見直し) (4)基礎・基本が定着する効果的な指導法や教材・教具の工夫について実践的研究を	0
大月市	小学校	笹子小学校	確かな学力の向上をめざして	～基礎・基本を充実させるための支援～	本校では、基礎基本を提示しているのが「学習指導要領」とし、学習指導要領における目標や内容を理解し、その上で、子ども達にどのような内容を身に付けさせ、どのような資質や能力を高めさせていくか具体的に考えていくことが大切であるという共通理解にたつて研究を進めていく。算数部会と国語部会に分かれ、算数部会では「数学的な考え方」国語部会では「読むこと」の分野で研究を進めていく。2学期には、指導主事の先生にきていただいて、算数・国語で研究授業を1つずつする。その他、一人一実践をする。	0
大月市	小学校	富浜中学校	自ら学び、自ら考える生徒の育成	生徒一人一人の「生きる力」を育てるキャリア教育の指導の工夫	①学校における全教育活動との関連の下に、目標及び内容、育てようとする資質や能力及び態度、事前指導、事後指導を含む活動、指導方法や指導体制、活動の評価の計画についてなどの全体計画の作成の研究。 ②全体計画にもとづいて各学年の年間計画作成の研究。 ③学年で、研究の内容を絞って研究する・1. 3年生は、年間計画にそって個に応じた授業展開をめざした道徳・特別活動・総合的な時間における授業研究。・2年生は、年間計画にそって個に応じた職場体験学習の指導の研究。 ④生徒自ら課題を見つけ、その解決を図るための総合的な	キャリア教育推進地域 キャリアスタートウィーク
大月市	中学校	大月第一中学校	生き生きと主体的に活動する生徒の育成	道徳の授業の充実を通して	過去3年間にわたる評価に関する研究と、教師・生徒のメディア活用に関する研究はかなりの成果を上げてきた。今年度は、昨年度までの研究成果生かしつつ、生徒たちの新たな面を開き、伸ばしていくための模索を始めるために、昨年度の反省を元に本校生徒に必要なものについて考え、今年度は道徳の授業を充実させることとなった。 年間指導計画に基づき道徳の授業研究をできるだけ多くの回数、できるだけ多くのメンバーによって仕組んでみることにした。	0
大月市	中学校	梁川中学校	自主的・主体的な生徒の育成	自ら意欲的に取り組める授業の展開の工夫	一人一実践を基本に、研究授業および授業に関する研究を行う。またグループに分かれ、指導案検討を行う。グループでの研究は、昨年度の生徒の実態で浮かび上がった不足している力(受け身がちで、課題をより深く追求していこうとする意欲。公の場で意見を述べる力。)を補充できるような課題を設定して授業を仕組んでいくようにする。お互いに授業を見せ合うことによって、生徒の活動を検証したり、指導技術を磨きあっていくことを基本に研究	0

地 区	校 種	学校名	主 題	副主題	内 容	公開日
大月市	中学校	猿橋中学校	学習に意欲的に取り組む生徒の育成を目指して	基礎学力の定着を図るための指導方法の工夫	1. 基礎学力の定着を目指した指導法や教材の研究 2. 基礎学力の定着を目指した評価方法の研究 3. 生徒が成就感や達成感を感じられるような指導法の教材の研究 4. 研究により得たものを実践に生かし、その効果を検証する。	(国)キャリアスタートウィーク推進地域事業
大月市	中学校	七保中学校	「自ら学び行動する、心豊かな生徒の育成」	～自分に自信を持ち、望ましい人間関係を培う道徳教育の充実を通して～	①年度始めと終わりに道徳教育アンケートを実施し、生徒の道徳性の実態把握と事後検証の資料とする。②年度始めに道徳性適性検査を実施し、生徒の道徳性について客観的な資料とする。③①と②の結果を受け、より実態に即した内容の指導計画を作成する。④どんな生徒を育てたいのか、めざす生徒の姿を明らかにしていく。⑤様々な場面で、各教師がそれぞれの立場でどう取り組んでいったらよいかの具体的な手立てを洗い出し検討していく。⑥道徳の研究授業を行い、検証の場とする。⑦道徳教育に関連するレポート報告をする。⑧	(県)「心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業」平成17年10月28日(金)
大月市	中学校	大月東中学校	確かな学力の向上をはかる(学力向上拠点形成事業の指定を受け・・・仮)		学力向上拠点形成事業の指定を受け、3つの柱(生徒の学力向上、教師の指導力向上、拠点校としての役)を中心に、生徒の実態から課題を明らかにし、テーマを設定し3つの柱から課題に迫っていく。授業での取り組みを中心に置く。	(国)学力向上拠点形成事業 11月22日(10年研・授業参観を含める)
北都留郡	小学校	沢松小学校	豊かな心をもち、よりよく生きようとする児童の育成をめざして	地域・家庭と連携し、体験的な活動を大切に道徳教育を通して	(1)学校における道徳教育の充実と道徳の授業の公開 ①道徳の授業を保護者・地域に公開する。 ②日常の道徳の授業の充実を図り、心のノートを架け橋とした家庭・地域・学校の連携について実践する。 ③地域人材の・地域素材・県教育委員会作成資料の効果的な活用を図る。 (2)家庭・地域と連携し、心に元気をはぐくむ道徳実践活動を推進する。 ①学校・家庭・地域が連携した道徳教育に関する環境を整える。 ②学校の特色を生かした道徳実践活動を実践し、日常の道徳活動と関連させる。	(県)心に元気をはぐくむ道徳教育推進事業
北都留郡	小学校	大目小学校	生き生きと学習する児童の育成	国語・算数科の基礎基本の定着を通して	「基礎基本が定着している児童」「基礎基本が定着することで、わかる・できる喜びを感じ、生き生きと学習する児童」を目指す児童象とし、基礎基本の定着を図るための研究を行う。教科を国語・算数に限定し、この教科の中でも特に本校児童に定着していない基礎基本の項目を取り上げ、全校体制で取り組む項目と、個々の学年で取り組む項目を決め、授業実践の研究を主として行っていく。年度末には学力検査を行い、本年度の研究と児童の実態につ	0
北都留郡	小学校	甲東小学校	意欲的に学ぶ児童の育成	国際理解教育の実践を通して	小学生英語活動推進事業の指定を受け2年目、昨年度の実践を踏まえて、自分自身や自分たちの文化についても見つめ直し、海外との交流活動や調べ学習、インターネットなどの情報発信など外国との生活や文化に慣れ親しむ体験的な活動を積み重ねていく。 ・英語活動を通して低中高学年で育てたい子どもの姿を明確にしていく。 ・異文化理解を深めるための手立て ・英語活動を通じた、コミュニケーション能力を高める手立て ・総合的な学習の時間の中での取り組みとしての実践 ・英語活動年間指導計画の見直し ・研究授業による検証	(県)レッツ・チャレンジ小学生英語活動推進事業
北都留郡	小学校	上野原小学校	目標をもち、生き生きと学ぶ子どもの育成	ねらいと評価を明確にした国語科・体育科の授業作り	国語科、体育科における学びの意欲向上につながる学習指導や教材教具・評価の工夫、また、ねらいを明確にした授業作りを行う。	学びの意欲向上推進事業
北都留郡	小学校	丹波小学校	心豊かで自ら行動できる子どもの育成をめざして	家庭・地域と連携し、心に響く道徳の授業づくりを通して	○「心豊かで自ら行動できる子ども」を育成するための道徳の授業のあり方の研究。 ・子どもの道徳の実態把握。 ・地域の人材や組織と連携した授業づくり(連携の方法)。 ・今年度行う教科・特活の中から道徳実践活動として授業に生かせる活動の見直し(学年ごとの実態・目標に合わせて)。	心に元気を育む道徳教育推進事業 11月23日

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
北都留郡	小学校	島田小学校	自ら学ぶ児童の育成をめざして	基礎・基本を重視した授業の工夫(音読の指導を通して)	本校の子どもたちは、日常生活の場面では活発によく話ができる子ども、目的や相手に応じて適切に話すことは苦手で、高学年になるほど発言する子が少ないなどという実態があげられた。そこで、昨年度は、国語力の基礎基本の一つである音読に焦点を絞り、音読指導を通して国語力を高めるとともに表現力・コミュニケーション力を高めるべく研究を進めてきた。今年度は昨年度の積み重ねの基にテーマに「音読を通して」と明確化し、「子どもの実態の把握」「国語の授業における音読指導のあり方」「授業の実践」、「他教科や領域における	0
北都留郡	小学校	小菅小学校	自ら学び、自ら考える児童の育成をめざして	～学意欲を高める評価(ルーブリック)を通して～	①評価についての理論研究 昨年度教科や総合的な学習の時間にルーブリック評価を取り入れて、全ての授業で成果が認められた。今年度は、さらに評価の理論研究を深め、ルーブリックについても改善を重ね研究 主題に迫りたい。 ②授業実践および検証 授業は低・中・高学年の各ブロック1回提案する。研究授業にはルーブリック評価を取り入れる。 ③総合的な学習の時間の共通理解 各学年の「すげのこの時間」の内容や評価について職員全体で検討する。 ④教育課程の見直し	0
北都留郡	小学校	大鶴小学校	表現力豊かな児童の育成をめざして	国語科における、音読の力を身につけさせるための指導と評価の工夫	国語科の研究3年目として、今までの研究成果を元に、音読の力の定着を図る。まず、児童の実態調査を行い、音読の力の定着度を測る。そこから、欠けている部分について、さらに力をつけ、定着させていくための指導法を工夫していく。また、指導と評価の一体化をめざし、授業実践を通して、評価方法の研究を行っていく。年度の終わりには2回目の実態調査を行い、児童にどのくらい力がついたか、検証する。	0
北都留郡	小学校	四方津小学校	自ら学び 自ら考える児童の育成	話し合い 学びを深め合う活動を通して	・各ブロックにおいて、発達段階に応じた目指す子ども像を設定する。 ・その目指す子ども像に迫るために、「話し合い 学びを深め合う」活動をどのように 取り入れていくのかを探る。 ・「話し合い 学びを深め合う」活動を取り入れた授業を実践する。	0
北都留郡	小学校	柵原小学校	自ら学び、生き生きと活動する児童の育成	表現力や思考力を育てる授業の創造	昨年度までの研究の成果である児童の「学ぶ力」をさらに高め、多くの学習活動において自ら学ぼうとする意欲を持つことができるような授業を作り上げて生きたい。児童の実態から感じられる課題である、表現活動への受け身的な様子を自信を持って表現できるようにさせたい。そのためにもまず、児童の表現活動に必要な基礎的な学力について確認したり、児童のコミュニケーション能力にかかわる実態について、理解を深める。児童への手立てとしては、教科の基礎・基本の定着をはかり、児童に学習への自信をつけさせる。さらに、学んだことを元	0
北都留郡	中学校	西原中学校	主体的に学ぶことのできる生徒の育成	評価を生かす指導方法の改善	①指導方法の改善(各教科で、観点別評価の4つの観点のそれぞれについてどんな場面でどんな評価をしているか実践検討、授業実践を行うなかで、教科の指導法、指導内容の工夫、教科の特性を生かした授業形態の工夫についての研究を推進する、一人一実践を目指す) ②評価基準表の更なる充実(評価基準表の見直し、評価方法についての学習会、授業を通して評価の方法に対する理論・手段の検討、指導と評価の一体化を図る)していく。	0

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
北都留郡	中学校	上野原中学校	「確かな学力」を身につけさせる指導のあり方	学習意欲を喚起する指導形態・指導方法の工夫	(1)「確かな学力」の定義づけ ①職員全体での共通理解 (2)生徒の実態把握 ①学習意欲や生活習慣に関する実態把握 ②単元や題材にかかわる実態把握(レディネス調査、単元テスト等) (3)個に応じた指導の工夫 ①指導形態・体制の見直し(選択教科の内容・習熟度別学習の形態・TTの工夫) ②教材・教具の工夫と開発(補充・発展的学習の教材開発、視聴覚・情報機器の活用) ③学習意欲を高める個人目標の設定 (4)評価の工夫 ①通信表や指導要録に対応した評価基準作り	0
北都留郡	中学校	巖中学校	豊かな心を持ち、生き生きと主体的に学ぶ生徒の育成	「確かな学力」の向上に向けた取組	本校では、文部科学省より平成15・16年度に研究指定を受け取り組んできた「一枚ポートフォリオ評価法」(山梨大学人間教育科学部 部長 堀 哲夫先生考案)の取り組みを今年度も継続して研究することとした。また 本年度、初任者研修授業実習校となったことから、初任者の教科(数学・理科・音楽・体育)と道徳・学活の授業研究を中心に実践的な研究を行うことを全職員で確認した。 さらに生徒指導に関わる問題への対応について、スクールカウンセラーから講義及び指	初任者研修授業実習校
北都留郡	中学校	秋山中学校	「意欲的に学習する生徒の育成をめざして」	「学力向上を中心に」	①学力向上に関する理論研究 昨年度から踏襲している研究だが、「学力」というキーワードを本校の研究会では、「知識・技能」という意味で捉えて研究することにした。今年度も本校の生徒の実態をデータから読み取ると共に、学力についての様々な資料を収集して全体研究会で理論研究を進めたい。 ②ブロックごとの研究実践 全体研究会で「国語力」に注目した。そこで全体を3つのブロックに分けて、実践的な研究を一年を通して行っていく。「漢字コンテストブロック」「読書ブロック」「テスト期間質問タイム	0
北都留郡	中学校	平和中学校	心豊かな生徒の育成を目指した道徳の時間に関する研究	地域人材や体験活動を生かした実践を通して	○道徳の時間の充実を図り、教師の実践力を向上させる ・日常の道徳の時間の研究 ・道徳的実践活動を生かした授業の研究 ・地域と連動した道徳的実践活動や、地域人材による外部講師の招聘を 広く行い、道徳授業の実践を行う ・1学期から保護者や地域の方への授業公開を行う ○家庭・地域を巻き込んだ活動を展開する ・「心の教育懇談会」を行う ・心のノートを架け橋とした家庭との連携を考えた授業実践 ・道徳に関連した講演会もしくはワークショップの開催	心に元気をはぐむ道徳教育推進事業
北都留郡	中学校	古菅中学校	生徒の生きる力を育む教育課程の確立を目指して	学習活動における生徒の基礎基本の向上を目指した実践の工夫	本校でのこれまでの研究の継続発展にあたり、生きる力を身につけた生徒を育成するために以下の内容で研究を進めていく。(1)基礎基本の定着と向上を目指しての各教科の研究授業の実践(2)豊かな心の育成をめざしての道徳指導の工夫と実践(3)日本新聞教育文化財団の指定を受けてのNIE活用実践(4)特別支援についての学習会(5)その他、選択授業・朝読書・総合的な学習の取り組み・情報交換・確認	日本新聞教育文化財団指定 NIE実践校
北都留郡	中学校	丹波中学校	「主体的に学習する生徒の育成」	～主体性を育む指導について～	各教科において、授業改善と適切な評価を行い、生徒の自ら学ぼうとする学習意欲を喚起することで、主体的に活動する生徒が育成されるであろうという研究仮説を立てた。授業改善を図るために、ルーブリック評価を基本とした「個人カルテ」を作成する。個人カルテを作成し、授業内に反映させたり活用させたりしながら、個々の生徒を考えた学習指導を工夫していくとともに、生徒一人一人の成長を記録することにより、複数の教師間で共通理解を図りながらそれぞれの生徒に応じたきめの細かい個別指導につなげるようにしていく。また、評価	0

地 区	校 種	学校名	主 題	副主題	内 容	公開日
北都留郡	中学校	島田中学校	自ら学び、主体的に活動する生徒の育成	意欲的に学習に取り組む生徒・学習集団を育てる指導法の工夫	①自ら学ぼうとする学習態度の育成 1)生徒の意識調査により、生徒個人・学習集団・個と集団の現状を把握する 2)現状を考察し、意欲的に学ぼうとする学習態度の向上を図るための指導法を探る ②基礎基本の確実な定着を図る 学習指導における基礎・基本事項の確認 ・指導法の工夫 ・TTによる指導、繰り返しの指導など個に応じた指導の充実を図る 指導方法や教材教具を工夫し、生徒の知的好奇心をそそる授業を展開する	0
北都留郡	中学校	桐原中学校	人と社会との関わりの中で、自ら進んで学び、自分を表現できる生徒の育成	総合的な学習の時間を通して	総合的な学習の時間を通して、人や社会との関わりを大切に学習を展開し、生徒一人一人の多様な表現力を育てる。検証の解釈と処理については、ルーブリック評価の設定と、それに基づく自己評価を行い、ふりかえりシートへの記述による評価を行う。	0
北都留郡	中学校	西原中学校	主体的に学ぶことのできる生徒の育成	～評価を生かす指導方法の改善～	各教科でどんな場面でどんな評価をしているか実践検討していく。一人一実践を目標とし、授業をお互いに見せ合いながら授業研究を行う。 また、評価規準表の見直しと確認をし、本校の生徒の実態をさらに反映したものを作りたい。夏休みには評価方法についての学習会を開く。また、授業を通して評価の方法に対する理論・手段の検討をし、指導と評価の一体化を図る。	0
県立・市立	高等学校	甲府商業高校	自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる能力の育成	1激変する国際、経済情勢に対応できる基礎学力を身につけさせるための指導法の研究 2生徒の個性を生かして生徒自らが学ぶ意欲の育成とわかる授業の展開 3やる気を育てる評価方法の研究	1 各教科では各教科の研究課題と研究方針をたてる。その際に目標に準拠した指導評価の推進に留意する。 2 各個人は方針にしたがって授業改善の研究と実践を推進する。校内校外研修に参加する。 3 係りでは授業アンケートを実施して授業改善の取り組みの参考にする。	0
県立・市立	高等学校	甲府昭和高等学校	「生徒の家庭学習の習慣化の定着」に向けての取り組み	本校では「確かな学力の向上」に向けて取り組むために、「分かる授業の展開」と「個に応じた指導」、さらに「学校体制の点検・確立」に努めるが、その効果をより高めるためには、教師間の努力ばかりでなく、生徒の側にも「家庭学習の習慣化を定着させる」ことが必要不可欠であるとの観点から、研究、実践	知のパイオニア推進事業モデル校としての指定を受けた昨年度は、校内組織体制及び実践内容の点検・検討を行った。各学年、各教科、各分掌が今までの教育内容をそれぞれ見直し、平成17年度からの取り組み計画を練り上げてきた。今年度はその実践の1年目となる。	知のパイオニア推進事業モデル校
県立・市立	高等学校	山梨園芸高校	主体的な学習態度や「生きる力」を育成するための指導のあり方	0	①本校の学習プロジェクト4(安全文化の確立、芸術教育、インターンシップ、国際交流)を通して、「生きる力」を育成させるための授業や特別活動等の指導の工夫 ②「総合的な学習の時間」の効果的な運営方法の研究 ③基礎・基本の習得を目指した学習シラバスおよび評価規準の作成と、それを活用した指導方法・評価方法の研究	(国)豊かな体験活動推進事業
県立・市立	高等学校	峡南高校	より実行性のある評価基準の作成	授業改善に結びつく評価基準の作成	0	みんなの専門高校プロジェクト推進事

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
県立・市立	高等学校	北杜高校	基礎学力向上のために	①習熟の度合いに応じた指導と主体的な学習態度育成の工夫	①公開授業を年間3回実施し、保護者の参加を促進すると同時に教員間の見学を促し1人3回の見学を達成する。 ②教科会議日を設定し、授業の検証、検討の機会を増やす。 ③生活実態アンケートを2回実施し、過年度、年度内での比較検証を行う。 ④シラバスの内容を検討し、普通科・理数科での利用を促進する。 ⑤昨年度準備した評価規準を実際に運用、検証し、次年度に向けての準備を進める。	(国)学力向上フロンティアハイスクール推進事業 公開なし
県立・市立	高等学校	甲府工業高等学校	『生徒の生きる力を育むために、 ①基礎的・基本的な学力を確実に定着させる。 ②主体的な学習態度を育成する。 ③人間性豊かな工業人を育成する。』	0	初年度立てた通年の研究主題の①と②についてはある程度の検証も得られた。だが「③人間性豊かな工業人を育成する。」に関してはまだ検討が不十分で、手付かずの状況にあるように思われる。職業高校として本校がF.H.S.の指定校として選定された課題として「職業高校での生徒の学力向上」について重点をおいた研究することがあげられる。	(国)学力向上フロンティア事業
県立・市立	高等学校	甲府西高等学校	65分授業の効果的な運用について	0	本年度から導入された65分授業。これを効果的に運用するために、各教科内での指導法・教材についての研究、及び、公開授業等による教科間の情報交換、さらに、教師と生徒に対するアンケート調査を行い、適切なフィードバックを行う。	0
県立・市立	高等学校	上野原高校	各教科による総合的な学力調査の実施	各教科・科目の目標や内容に照らした学習の実現状況の把握 (目標に準拠した観点別評価による実現状況調査)	平成15年度より本校研究テーマとして、「教科による総合的な学力調査の実施」として研究してきた。平成15・16年度の2年間は、観点別評価を実施することについて研究を進め、その結果シラバスの中に生徒自己評価・各単元の目標・評価規準を入れ本校ホームページに記載し、一般公開することにした。 平成17年度は、各教科・科目の目標や内容に照らした学習の実現状況の把握(目標に準拠した観点別評価による実現状況調査)を行い、観点別評価の状況や、定期試験による評価について研究することになった。これらの資料をもとに、学校規程	(国)全国かつ総合的な学力調査の実施に係わる研究指定校事業
県立・市立	高等学校	富士北稜高等学校	評価規準に沿ったシラバスの開発	0	各教科科目の評価規準を明確にし、それに沿った生徒向けのシラバスを開発する。	0
県立・市立	高等学校	ひばりが丘高校	個性・創造性・自律心に富む心豊かな人づくりのための学校づくりの研究	一人一人の生徒の可能性を引き出すための教育	本校において、個性・創造性・自律心に富む心豊かな人づくりのためには、生徒の実態に即した本校独自の教育環境の整備が必要不可欠である。生徒の自律心を育み、落ち着いた学校生活を送れるような授業環境と学校行事などの整備について研究する。	0
県立・市立	高等学校	桂高校	命を大切にしている教育について	0	昨年6月に長崎県佐世保市で発生した女子児童の同級生殺害事件等に見られるように、「子供たちによる重大事件の相次ぐ発生は、社会全体に大きな衝撃を与え、学校教育においては原点に立ち返った早急かつ根本的な対応が求められている状況にある」(文部科学省「児童生徒の問題行動対策重点プログラム」より)。 この問題を受け、本校高校生が、かけがえのない自他の生命を大切にすることを再認識させるための教育を展開し、その効果や教育の方向性について研究を行う。具体的な取り組みとしては、生徒の問題行動解決についての教師の意識調査や	「命を大切に学ぶ体験活動」研究推進校
県立・市立	高等学校	都留高校	「確かな学力」の向上を図る事で生徒一人一人の進路希望を実現する。	ほとんどの生徒が進学を目指して学習している本校において、今まで行ってきた様々な学習指導・進路指導を有機的に結びつける事で円滑化、効率化を図る。そのために昨年度の実践をふまえ、それに基づく改善策の研究と実践を行う。	I・わかる授業を推進するための取り組み ①家庭学習の充実の研究 ②シラバス及び観点別評価法の工夫改善 ③年次間の各教科における指導の共通理解の確立 ④学力コンテストを通して、学習到達度分析 II・個に応じた指導のあり方の研究実践 ①昨年度の学習研究委員の報告書を基に、その課題に取り組む III・学校の指導体制のあり方について研究実践 ①生徒の学習意欲を喚起させる工夫 ②キャリアガイダンスの実施 ③カリキュラムの検討	(県)知のパイオニア推進事業

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
県立・市立	高等学校	谷村工業高校 定時制	基礎学力の定着を促す総合学習への取り組み	ドリル教材の作成とその活用を通して	複数教科において、それぞれ定着させるべき基礎的な学習事項を検討し、総合学習の時間に、それら基礎的な知識・技能を反復学習させることにより、本校生徒に不足しがちな基礎学力の定着を図る。	0
県立・市立	高等学校	谷村工業高校	体験的な活動を通して課題解決能力を高める教育活動の研究	0	・情報機器を用いたプレゼンテーション技術の向上 ・課題研究における生徒の主体性を育てる教育支援の在り方 ・物作り教育の推進 ・地域におけるボランティア活動の推進	0
県立・市立	高等学校	大月短期大学 附属高等学校	自ら学び、自ら考える力を育成する指導のあり方に関する研究	0	各教科・科目の学習指導を通して、以下のような研究を行う。 1)生徒の興味・関心・能力などの実態を把握する調査・研究 2)各教科・科目での必須項目の明確化と、これらの項目の完全習得を目指す指導方法の研究 3)観点別評価を織り込んで、生徒の自主的・主体的な学習を評価する方法の研究	0
県立・市立	高等学校	甲府城西高校	特にきめていない	特になし	特にきめていない	0
県立・市立	高等学校	吉田商業高校	自ら学ぶ意欲ある生徒の育成を目指して	主体的な学習態度の育成と進路実現に向けて必要な力の育成を目指す	自主的・主体的に学ぶ姿勢や学ぶ喜びが感得できるように、教科の指導内容や指導方法の工夫改善をする。また、生徒が自己の進路実現に向けて意欲的に取り組み、基本的な力を身につけられるよう、生徒一人一人の実態にあった的確な指導の実践を目指す。	0
県立・市立	高等学校	甲府第一高校	進路意識と学習意欲の向上を図る指導と評価の研究	進路選択を意識させる各教科の授業をととして	「学力の低下」はここ数年盛んに叫ばれ、問題視されている実態である。この問題を簡単に解決する方法など当然無いが、「自分は将来何がしたいか」「その実現のためには今何をしなければならないか」という意識を高めさせ、それに基づいて努力をさせるといった一つの有効な方法と考えられる。 本年度はこのような観点の下、各教科の授業をととして生徒の進路意識と学習意欲を高めさせ、その結果として確かな学力を定着させる方法を探る。教科指導においては、どうしてもその専門的な内容の理解と習熟のみを目標にしたものになりやすい。社	0
県立・市立	高等学校	韭崎高校	主体的な学びを通して、生きる力を育む指導のあり方	NIE等を活用した、思考力・判断力・表現力の育成	自ら意欲的・主体的に学び、考え、判断し、さらにコミュニケーションをするための表現力や実践力など生きる力を育成するために、問題解決学習や体験的学習を重視した教育活動を展開する。基礎的・基本的学力の定着を図るために、学習内容を精選するとともに教材や指導法を開発工夫することにより、評価のあり方を探り、評価規準の作成と授業展開を通して評価の実際を試みる。新聞を学校教育に積極的に取り入れてNIE推進を行い、授業や特別活動で活用することにより、活字に慣れ親しむことから学習習慣の確立をし、授業等の活性	(国・県以外)NIE推進実践校 10月25日(火)
県立・市立	高等学校	甲府南高校	新しい時代を切り開く道筋としての南高活性化	新教育課程完成年度における授業の工夫と教育活動の充実	新教育課程完成年度において、今後に起き得る事態を想定し、諸課題を検討し、生徒の個に応じた教育を踏まえ、教育活動を充実させる為の研究を行う。 教科においては、シラバスの作成は、教師生徒共に活用できる内容に留意し、評価について研究を行う。	SSH指定校。サイエンスフロンティアフォーラムとして、一般に公演を公開している。5/16.5/23.6/2.7/4.7/8.7/15.8/30.9/7.9/16.9/24.10/19.12/未定。1/未定。その他SSH中間報告会が2/8に予定
県立・市立	高等学校	日川高校	生徒一人ひとりの進路実現のための学力向上の指導法、及び指導体制の在り方の研究	なし	生徒一人ひとりの進路実現を図るために必要な基礎学力を的確に捉え、それを定着するための指導のあり方を確立させることを目的として研究を進める。根幹となる指導の改善、指導形態、指導体制、指導目標と評価の関係、進路ガイダンスの在り方、優れた能力を有する生徒の発展的な学習指導等について、研究を深めていく。また、教育方針である文武両道をいかに達成するかという観点から適切な部活動の在り方を考えていきたい。この研究を通して、校内の学習指導体制を確立し、単位制の基盤作りを目指すこととする。	(国)学力向上フロンティア事業



地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
県立・市立	高等学校	身延高校	評価規準の作成とそれに即した指導法の研究	0	平成18年度に実施するすべての科目の評価規準を作成すること、評価規準に即した指導法(評価方法も含む)の研究をする。指導法については、全教科共通の観点を対象とするか、どの観点について実践・研究するかを現在検討中である。	0
県立・市立	高等学校	山梨高校	「各教科における評価計画と評価方法の研究」	0	本校では、これまで「学習シラバス」の研究とその学習指導実践を行ってきた。これらの取り組みの課題として、各単元ごとに設定した到達目標や行動目標の達成状況(学習評価による検証)の研究が不十分であった。昨年度から各教科において、評価方法と評価の実際を検証する研究を進めている。今年度はさらに具体的な評価の実践例について、シラバスの作成と評価方法を連動させた研究を各教科で進めている。	0
県立・市立	高等学校	韮崎工業高校	「確かな学力」を育成するための取り組み	0	「分かる授業」推進のために、指導方法、教材、指導形態の工夫と改善に努める。また、生徒一人一人の進路希望実現と、そのために必要な学力を獲得するための「個に応じた指導」のあり方を研究する。	(国)
県立・市立	高等学校	白根高校	確かな学力をつける指導のあり方	家庭学習課題の工夫、目標に準拠した評価の工夫、インターンシップ等の取り組みにより、生徒の学習動機付けと学習習慣の定着をはかる	一人一人の生徒の実態と希望に即した進路希望をかなえるために、生徒自らの学習意欲を高め、望ましい学習態度を育成する必要がある。授業改善に努めるとともに、課外授業やその他の進路指導においても、この目的のために具体的な研究実践を行っていききたい。昨年度に引き続き、①家庭学習課題 ②評価 ③使えるシラバス ④インターンシップの推進等の課題に取り組む予定である。	「知のパイオニア」
県立・市立	高等学校	吉田高校	授業力向上を目指しての取り組み	生徒の特性等に応じた指導方法の工夫と授業の充実	生徒にとって「分かる授業」「魅力ある授業」を目指して、個々に抱えている授業展開での問題点や改善点を探り、 ・授業展開の在り方や評価の方法についての研究 ・個性を生かす多様な指導法の工夫 ・生徒および教師がともに活用できるシラバスの作成を、教科の枠を超えて進めていく。	0
県立・市立	高等学校	富士河口湖高校	分かる授業・効果的な授業の推進	分かりやすいシラバスや評価基準を通じて	各教科・分掌・学年と連携をはかり、共通理解をもって、分かる授業・効果的な授業を研究し推進する。そのため生徒が有効活用できる教材の研究を行い、生徒にとって分かりやすいシラバスの作成につとめる。さらに評価基準を研究し、授業に取り入れることを心がけていく。また効果的な課題を作成し、家庭学習の習慣化・基礎学力の定着をはかる。	0
県立・市立	高等学校	韮崎工業高校	「確かな学力」を育成するための取り組み	0	「分かる授業」推進のために、指導方法、教材、指導形態などの工夫と改善に努める。また、生徒一人一人の進路希望の実現と、そのために必要な学力を獲得するための「個に応じた指導」のあり方を研究する。	(国)サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業、(国)豊かな体験活動推進事業、(県)知のパイオニア(確かな学力向上推進事業)
県立・市立	高等学校	市川高校	分かる授業、個に応じた指導による確かな学力の育成 学力向上に向けた指導体制の確立	0	①「確かな学力」を身につけさせるための、生徒の基本的な生活習慣の確立 学習習慣や生活習慣が確立されて初めて進路学習の動機づけが成り立つ。 ②「分かる授業」の推進 授業の改善と教材の在り方。教師相互の授業公開(参観)と研究協議 ③家庭学習習慣の確立 そのための「課題」内容の研究と提供の方法 ④個に応じた指導のあり方 習熟別生徒への対応のあり方 ⑤学習シラバスの作成と生徒への提示 ⑥到達目標とそれに準拠した評価の実践 ⑦土曜講座の充実と活用法	知のパイオニア推進事業
県立・市立	高等学校	甲府東高校	基礎・基本の確実な習得を図る指導の研究	個に応じた指導としての到達度学習の工夫とシラバスの活用	学力向上フロンティアハイスクール事業の最終年として、まとめの年であることを念頭に置き、生徒の学力向上の方策の研究と、教員のさらなる授業力向上を目指す。また、評価の面からも様々な検討を加える。	(国)学力向上フロンティア事業

地区	校種	学校名	主題	副主題	内容	公開日
県立・市立	高等学校	峽南高校	より実行性のある評価基準の作成	授業改善に結びつく評価基準の作成	昨年度各教科で作成された評価基準を見直し、授業改善に結びつき、より実行性のあるものに変えていく。具体的には授業形態や生徒の実態に即した評価基準を再考するとともに、評価方法・評価材の研究を行う。	(国)みんなの専門高校プロジェクト推進事業、(県)進路指導研究推進事業
県立・市立	高等学校	農林高校	「農林高校をステップアップするための生徒・生徒の改革」文科省学力向上フロンティアハイスクール推進事業研究指定校、「本校各学科の特質を生かしたデュアルシステムの効果的な導入展開の方法」文科省日本版デュアルシステム推進事業研究指定校	0	1 学力向上フロンティアハイスクール推進事業研究項目 ①シラバス、年間指導計画に基づく授業実践と評価の具体的方法 ②公開研究授業の展開 ③学習教材の開発 ④教務規程の改定(評価規準を取り入れた成績処理の在り方等)、生徒指導規程の改定等諸規定の見直しと改定 ⑤生徒実態の把握と学習意欲の喚起方法 2 日本版デュアルシステム推進事業研究項目 ① 1年次における学校内指導方法(職業観勤労観、専門意識の高揚) ② 2年次インターンシップの成果とデュアルシステムへの継続 ③	0
県立・市立	高等学校	増穂商業高等学校	確かな学力の定着を目指して	0	新学習指導要領のねらいを踏まえ、「基礎学力」「確かな学力」の定着化を図るとともに、生徒に豊かな人間性や自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育成することを目指した研究。本年度の具体的な取り組みとしては、全教科において全科目を対象に評価規準の作成をして、指導方法と評価方法の確立を目指したい。	学力向上フロンティアハイスクール事業
県立・市立	高等学校	巨摩高校	生徒の自主性・主体性を高めるための指導法の研究	①基礎・基本の定着と学習意欲を高め、さらに学力を高める授業の展開 ②自ら考え、自覚的に生活基準を確立できる生徒の育成	研究主題及び副題に則り、各教科・分掌で各研究委員を中心に生徒の実態を踏まえ、本年度の研究主題を設定し、第一回全体研修会の折りに、説明をおこなう。授業については公開授業等を利用し、教科の枠を越えて指導法の実践を実施する。第3回全体研修会で中間報告をおこない、最終報告を研究集録にまとめる。	0
県立・市立	高等学校	石和高等学校	豊かな学力を持った心豊かな人間の育成	0	1 朝の読書 → 落ち着いた学びの環境から1日をスタート 2「授業公開」「学校評価」→ 地域や保護者の意見を反映した学校運営 3「シラバス」→ 目標を持った学習習慣と学習成果の自己評価の習慣化 4「土曜学習会」→ 自己実現を目指し、自らの能力をより伸ばす機会の確保 5「海外高校生との交流事業」→ 国際的視野をもち国際社会で活躍する人材の育成 6「部活動の奨励」→ 豊かな人間性や社会性を持った自立した人間の育成 7「教育相談員の活用」→ 一人一人を大切にしたい心のケアの充実 8「早朝登校指導」	(英語)(体育)平成17年度全国のかつ総合的な学力調査の実施に係る研究指定校(高等学校)
県立・市立	特殊教育諸学校	県立盲学校	特別支援教育への移行を検討する(2年次)	各学部の活動を通して	本研究は、特別支援教育について学校全体で学び共通理解を図るため昨年度より3カ年計画でスタートした。この研究を通して本校のセンター的機能の在り方を検討していきたいと考える。昨年度は、3カ年計画の初年度ということもあり「特別支援教育」が意図するものは何かという大きな課題に迫るため多くの講演会を開き、全職員で学習した。その結果、本校が「特別支援教育」を実施するために必要と考えられる項目が確認された。その中でも上位を占めたものは「専門性の強化」「他機関との連携」「体制作り」の3点であった。本年度は、こ	0
県立・市立	特殊教育諸学校	かえで養護学校	「一人一人の力を伸ばす支援のあり方」	0	本校は障害の多様化、重度重複化が著しく子どもたちの教育課題も非常に様々なものになっている。それだけに、一人一人の子どもたちの障害の程度や能力、教育的ニーズに応じた教育活動や支援を行い、一人一人の発達の可能性を伸ばすことが求められている。そこで、研究主題に「一人一人の力を伸ばす支援のあり方」を掲げ研究に取り組むことになった。今年度も学部毎に副主題(学部テーマ)を設け研究を進める。小学部では、①自閉症の子どもの理解と支援のあり方 ②コミュニケーションの力を育てるための支援の仕方 ③重度または重複障害の	0

地 区	校 種	学校名	主 題	副主題	内 容	公開日
県立・市立	特殊教育諸学校	県立ろう学校	確かな言語力を育むために	0	今年度は、言語力に視点をあて、各学部、寄宿舎がそれぞれの子どものそれぞれの発達段階を意識し、言語的な課題を明らかにして、授業実践、生活実践を積み重ね、指導の内容や方法の工夫を図る。このような授業、生活から出発し、授業、生活に戻る研究活動を進めていきたいと考える。確かな言語力を育てることが、社会の中で生きていくための力、自己実現を果たすことにつながるであろう。また、「長年の聾教育の中で培われてきた専門性を拡散させないためには、聾学校の授業研究、実践研究が、これまで以上に重要な意味を持つ	0
県立・市立	特殊教育諸学校	あけぼの養護	個々の児童生徒の実態に応じたより良い教育支援のあり方を探る～自立活動に焦点をあてて～	小学部「一人ひとりのより良い自立活動の指導をめざして」、中学部「より良い学習内容と指導方法を探る」、高等部 検討中	昨年度の研究成果の上にたち、今年度は学習の基盤である自立活動に焦点をあて、個々の実態に応じた支援のあり方を探っていくことで、さらに子どもの指導について深く見つめていけるのではないかと考えた。自分たちの行った研究が実践や個別の指導計画をたてる上で反映できるようにしていくとともに、学校全体で自立活動について共通理解を図ってきたい。研究を通して教育の質を高め、教師の専門性を向上させていくことが特別支援教育の基盤を担っていくことになると考える。各学部(小・中・高)毎に研究グループ(パート)を組	0
県立・市立	特殊教育諸学校	やまびこ養護学校	小中高等部および寄宿舎における指導のあり方	一 小中高等部においては教科の系統性や特性を探り、寄宿舎においては生徒の自立を研究の糸口と	昨年度からの継続研究を念頭におきながら、小中高等部における教科学習を中心とした指導の系統性や強化の特性を生かした指導のあり方・専門性を追求するとともに、寄宿舎においては、生徒の自立をめざした昨年度の指導の成果を踏襲する。	0
県立・市立	特殊教育諸学校	ふじざくら養護学校	児童生徒一人ひとりの教育的ニーズにこたえる個別の指導計画の作成と活用	児童生徒の障害や特性に応じた支援の在り方	「個別の指導計画の作成と活用」について昨年度の研究成果と明らかにされた課題を踏まえ、継続して研究を進める。特に、個別の教育支援計画との関連を踏まえ、個別の指導計画の作成の手順、盛り込むべき内容、形式等について様々な角度から見直しを行い充実と改善を図りたい。 また、今年度、小学部から高等部の入学生の実態を概観すると、これまで本校が対象としてきた3つの障害に加え、感覚障害等、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の実態が	0
県立・市立	特殊教育諸学校	わかば養護学校	教育課程の検討～実践を柱として～	小学部:子ども一人一人が生きて活動できる授業作りを目指して 中学部:国語・算数の指導について 高等部:生徒自ら主体的に取り組む作業学習～地域社会とのつながりを意識して～ 寄宿舎:友達とのかかわりの中で楽しく豊かな寄宿舎生活を送るために 保健室:基本的生活習慣の確立を目指して～アン	小学部では、実践を通して図画工作の捉え方やねらいについて検討し、一人一人あるいはグループに適した題材や指導内容、指導方法を考える。中学部では実践研究を通して国語・数学に関する課題を探り、共通理解し合う。実態に応じた学習を実施するためには、どのような配慮が必要かを検討し、整理する。高等部では、作業班での実践を通して、昨年度の研究で課題として残された事柄について検討し、改善を図る。また、生徒一人一人が働くために必要な力を身につけることができる授業のあり方や実態に応じた支援・手だてを探る。寄宿舎では、個々の二一	0
県立・市立	特殊教育諸学校	富士見養護学校旭分校	心理的発達の視点による事例の分析から支援方法を考える	0	在籍児童生徒の全てが過去不登校であった小中学生であり、心身症・集団不応等々で医療を受診してきている。このような子ども達一人ひとりが育てるような援助の手がかりを見つけ、教員自身が肯定的に子どもの現在をとらえることをねらって研究を進める。子ども達の実例をもとに心理的な発達と発達課題を学びその視点から個々の子ども達の支援について考えたい。具体的にはカウンセリングマインドや発達の学習会を行って子どもを受容する基礎を研修し、その後事例研究の中で一人ひとりの子ども達について全職員で発達課題と支	0